

凌 泳

表紙題字 藤井正太郎 先生

【今年こそ100周年大会】 長谷川会長 …………… 3	西澤翔…………… 38 【応援されるチーム】 玉川智嗣…………… 39
【総会報告】 上田幹事長 …………… 4	【会員からのお便り】 …………… 41
【現役部員寄稿Ⅰ】 幹部決意表明 主将 徳山 元太 …… 6 主務 野崎 智仁 …… 7 競泳主任 松島 優太 …… 8 水球主任 新保 空 …… 9	【全神大活動記録】 …………… 43
【マスターズ活動記録】 …………… 10	【神戸大学ボロの始まり】 …………… 49
【世界新記録樹立！！】 井上隆史…………… 20	【卒部の辞】 松阪 竜希 …………… 53 石田 絢子 …………… 54 谷垣 悠 …………… 55 三宅 翔 …………… 56 廣澤 彩香 …………… 57 熱田 希弘 …………… 58 飯室 舞 …………… 59 小山 純 …………… 60 寺石 友紀 …………… 61 友定 佳那 …………… 62 野中 清音 …………… 63 増田 夢菜 …………… 64 向山 翔希 …………… 65 村尾 知紀 …………… 66 森本 熱海 …………… 67 六川 瑞樹 …………… 68
【マスターズ世界新記録樹立の背景 と思い】 玉川智嗣…………… 22	【現役部員寄稿Ⅱ】 現役部員紹介 凡例 …………… 69 4回生 …………… 70 3回生 …………… 73 2回生 …………… 79 現役部員寄稿 伊藤 路人(2回生) …… 85 清川 翔紀(3回生)…………… 86
【特別寄稿 水泳部の思い出】 井上隆史…………… 25 山田貴彦…………… 26 米田啓祐…………… 29 岡田重義…………… 31 酒井正人…………… 32 酒井正人…………… 33	
【会員寄稿】 【関東凌泳会ゴルフ会】 武政英幸…………… 35 【2022水球関西リーグ観戦記】 西澤翔…………… 35 【2022水球インカレ観戦記】	

水球面企画 水泳部流行語大賞	87
競泳面企画 水泳部〇〇ランキング	88
【2022年度 水泳部活動報告】	
■年間競技カレンダー	89
■主要大会総合成績	91
【競泳】	
関西学生春季短水路公認記録会	92
関西学生夏季公認記録会	93
関西学生チャンピオンシップ 水泳競技大会	94
関西国公立大学選手権 水泳競技大会	96
関西学生選手権水泳競技大会	98
全国国公立大学選手権 水泳競技大会	101
関西学生夏季長水路公認記録会	103
日本学生選手権水泳競技大会	104
大阪公立大学・神戸大学定期戦	105
関西学生冬季公認記録会	106
春季選手権	108
春季京都選手権	109
関西選手権	110
関西学生選手権水球競技大会	111
日本学生選手権水球競技大会	112
大阪公立大学・神戸大学定期戦	113
秋季京都選手権	114
秋季水球競技大会	115
全国国公立大学選手権	116
兵庫県選手権	117
なみはやカップ	117
ウインターリーグ	118
【リレーエッセイ】	
説明	120
須波 涼(平31)	122

【活動レビューと計画】	
前年度活動レビュー &今年度目標設定と実施計画	124
現役活動レビュー	126
現役目標設定と実施計画	128
【歴代記録】	
歴代10傑(競泳男子)	131
歴代10傑(競泳女子)	134
水球歴代戦績	137
令和4年度凌泳総会議事録・ 令和3年度凌泳会決算報告 及び令和4年度凌泳会予算案 令和3年度 決算報告 及び令和4年度予算案	
	139
	141
	142
第96回日本学生選手権 水泳競技大会決算報告	
	144
【お願いします】	
	145
【SNS紹介】	
	146
【凌泳会100周年記念第8回 全国大会開催のお知らせ】	
	147
■編集後記	
	148

今年こそ100周年大会

会長 長谷川 健

昭和49年卒の長谷川です。会員の皆様には日頃より大変お世話になり、また水泳部並びに凌泳会に対し多大なるご支援を賜り、誠に有難うございます。皆様にはお変わりございませんか。コロナに翻弄されること三年余、まだ油断はできませんがようやく出口が見えてきた様です。今シーズンこそコロナ以前の姿にと願うのみです。

この一年もコロナの影響が続き、現役諸君との直接の交流の機会の大半が消失してしまいました。かかる状況下、ポロでは関西学生リーグで第三位そしてインカレ出場の朗報が届きました。インカレでは初戦で日体大との対戦となり結果は厳しいものでしたが、我がチームのゴールシーンには感動しました。

またインカレ出場を機に会員の皆様の多大なるご協力の下、ガウンを新調することが出来ました。このガウンをまとった選手諸君の整列のシーンにも感動させられました。ご協力ありがとうございました。この場を借り改めて御礼申し上げます。

競泳も関西国公立、男子3位、女子3位と共に全国国公立への団体出場を果たし、全国国公立では男女共に入賞と、当初の目標を達成しました。競泳ポロ共に今年の更なる飛躍を期待しています。

コロナによる日程変更など紆余曲折はあったものの、伝統の市大戦が、大阪公立大戦とその名も変え、無観客とはいえ第103回大会

として開催されました。現役部員諸君のこのままでは伝統の大会が消滅してしまうとの思いが開催につながったと聞き、胸に熱いものを感じました。一方残念ながら三商大戦は三年続いての中止となってしまいました。

凌泳会関連行事も大半が中止を余儀なくされ活動は停滞してしまいましたが、総会だけはオンラインとはいえ開催できたことはよかったと思っています。また会員の皆様による世界新記録達成のニュースが2件も届きました。詳細は記事に譲りますが快挙達成でした。

昨今のコロナの状況より二年遅れにはなりますが、今年こそ凌泳100周年記念大会を開催したいと思っています。すでに実行委員会の準備活動はコロナの制約にもかかわらず昨年春から定期的に行ってきており、記念大会や記念事業の概要も固まりつつあります。本稿がお手元に届くころには具体的なお案内が出来ていると思います。会員の皆様には是非ともこぞって六甲台にご参集賜りますようお願いいたします。

最後にお願いです。毎年のお願いで恐縮ですが、今年も、同期やその前後の会員に、「会費払ったか、払っているか」の一声運動を、お願いします。皆様からの会費は現役部員の活動費に直結しています。かかる状況下恐縮ですが、本年も会員の皆様には、神戸大学水泳部と凌泳会へのご支援を宜しく願いいたします。

2022年度凌泳会総会 感想記

上田 剛弘（昭和 56 年卒）

2022年 5 月 29 日(日)、Web 開催を余儀なくされた。ただ、令和 5 年秋に開催予定の凌泳会 100 周年記念大会の準備も進めねばならず、総会と 100 周年記念大会実行委員会を同日開催することとした。つまり、実行委員会は少人数開催なので、委員は金監督の会社「アクアティック㈱」に個々のPCをもって集合し、そこで総会に参加。そのあと、引き続き、実行委員会に移るという流れとした。

当日、天候にも恵まれ、阪神福島駅から地上に出た瞬間、心地よい日差しを浴びる。愚息が社会人として一人暮らしをしている住居がアクアティックとは目と鼻の先で、私にとってこの辺りは通い慣れており、迷う心配はない。

開会 1 時間前の 12 時に集合。金監督は勿論、長谷川会長、現役生の岡崎主務、矢迫副主務、野崎副主務も到着して総会の準備に取り掛かっていた。4 階の大会議室に口の字にセッティングされた机に、3 階のコピー機で複写した総会のシナリオをセッティング。ほどなく酒井副会長、桑本副会長も到着し、参加者は勢ぞろい。シナリオに基づき、会長、副会長、岡崎主務と進行並びに説明者の割り振りを確認。金監督にも一言を念押しする。長谷川会長、酒井・桑本副会長が横一列に並び、右手には現役生 3 名、左手に金監督。私は会長の対面に着席。私以外の参加者は皆PCでの参加に対して、私はスマホ。画面が小さく、会議には不向きだが、自分のPCにはカメラが付いてい

ないため使えない。自宅でスマホを見ながらでは、とても進行役は務まらないことが分かった。

開会まであと 15 分。岡崎主務に Zoom による参加者の名前を確認。書き出された名前と名簿を見比べて大急ぎで年齢順に並べ替える。今日の参加者は 15 名。最年長は昭和 41 年卒の山口幸郎先輩。柳田前部長、本間部長も参加いただいている。これで出席者の確認完了。

13 時。いよいよ開会。第一声は私。「ゆっくりゆっくり」と言い聞かせて、参加者の名前を読み上げる。そのあと長谷川会長と本間部長に挨拶を。

亡くなられた会員 3 名の黙とうを 1 分。議事は会長が議長のため、進行役を会長にバトンタッチ。4 つの議題の審議が粛々と進む中、自分の原稿をチェック。議題はすべて承認され、予算執行ができることとなった。今年度も活動開始だ。

議事終了とともに、進行役を会長から引継ぎ、報告事項へ。金監督の兵庫水連からの功労者表彰受賞と凌泳会 100 周年記念大会実行委員会の活動を紹介。金監督からの一言は、いつもながら聞き手の心をグッとつかむ。そして現役部員からの水泳部の予算・決算、活動計画等の報告。

締めは、参加いただいた皆様から一言ご挨拶。皆さんの短い挨拶の中に込められた凌泳

会に対する思いがひしひしと感じ取ることができた。ご参加いただいた諸先輩の皆様には、この場をお借りして、心からお礼申し上げます。また、今年の役員人事で新たに幹事になった呉竹正人(凌泳マスターズ担当、昭和59年卒)が難聴のハンデがあるにも関わらず幹事就任を快諾してくれたこと、いつも船中からLINEのやりとりをしている西澤 翔(凌泳編集担当、平成21年卒)が、今日は家族と移動中の車の中から総会に参加してくれたことには、改めて感謝します。さらに、参加してくれた同輩、後輩は本当にありがとう。

14時30分、閉会。無事終了した。

ここで今年の総会を振り返れば、web開催の一長一短が見えてきた。カメラ付きのPCが必要、参加手続きがわかりにくい、途中で切れる、場の空気が読めず、意見が出にくいなどのデメリットは確かにあるが、その反面、顔が見れる、遠距離でも手軽に参加できる、どこからでも自由に参加・退席ができるなどのメリットもある。特に、昨今関東地区の凌泳会の会員が増え、関西地区の会員が相対的に少なくなっている中、関東地区の会員にも参加してもらいやすい方法として有効だと思う。それは、東京在住の山口先輩にご参加いただいたことで強く感じた。私は山口先輩とは初めてのお顔合わせだったが、お互いの顔を見ながら、話をし、話を聞く事は一体感・共有感を持つこと

ができる。来年度以降、コロナが終息し、神戸大学で総会を開催する場合には、ネットも参加手法の一つとして残す事も必要ではないかなと感じた。

15時。凌泳会100周年記念大会実行委員会の開催。総会では発言を控えていたのか、実行委員会では委員の活発な意見が交わされた。今回のメインは、100周年記念大会全国大会の開催日を令和5年9月17日(日)と決めたことだろう。これでゴールが決まったので、いつまでにどう動けばいいか、何が必要か、全体スケジュールが薄らと見えてきた。次回は9月4日(日)10時からと決め、16時30分。実行委員会終了。ご苦労様でした。

17時。会場をアクアティックの向かいの中華料理「眠眠」に変えて懇親会に。やはりこれがないと何事も始まらない。矢迫さん、野崎くんは初参加。酔いが回るにつれて、お武勇伝の数々、女性部員誕生秘話、思い出のエピソード、はてや本日のダービーの結果報告、ウクライナ情勢、ネットでの掘り出し物探しなど、硬軟織り交ざった話が飛び交い、ヒートアップするも、コロナ禍、1時間を過ぎた時点で閉会に。

実行委員会の委員の皆さん、半日間にわたり、お付き合いいただき、ありがとうございました。

【現役部員寄稿Ⅰ】幹部決意表明

主将として



今シーズン、神戸大学体育会水泳部の主将を務めさせていただきます、徳山元太です。

私自身は華々しい成績などもなく、上手くチームをまとめることができるかプレッシャーもありますが、精一杯尽力して参りますので何卒よろしく願いいたします。

まずはじめにチームを引っ張っていくにあたり、大切にしたいことは全員が「水泳を楽しむ」ということです。

孔子や刃牙の言葉にもあるように「努力するものは楽しむものに勝てない」と考えており、自分の過去もその通りであったと思います。また、この「勝つ」とは具体的な相手ではなくそれぞれ自分自身だと私は思っております。水泳を純粹に楽しんでいる時にこそ結果はしっかりついてくる、ということです。

そして全ての部員が水泳を楽しむことによって練習でも試合でもチーム全体の雰囲気は

主将 徳山 元太・農4回

最高なものになると考えており、そのようなチームを目指します。

また今シーズン、競泳・水球ともに高い目標を掲げており、その目標を達成するために、各自の課題を競泳ミーティングなどを通して詳細に部員間で共有することを考えております。そうすることで他の部員が練習中に何を考えて泳いでいるのか、どのような課題を解決したいのか、など理解でき、部員同士でアドバイスをし合うことができると考えました。さらに練習意義がより明確になり、限られた練習環境、練習時間の中でトレーニングの最大限の効率化へもつながると考えられます。そしてマネージャーも選手の考えをより理解しやすくなり、選手と違った目線からコメントをすることができるとも考えられます。このような様々な工夫を凝らし、選手・マネージャー一丸となって進んで行くと思っております。

最後になりましたが、凌泳会の皆様、日頃から多大なるご支援、ご指導を賜りまして本当にありがとうございます。今シーズンもSNSを通して結果をご報告させていただきます。今後、情勢が変わり、試合会場に足を運んでいただけるようになりましたら、是非よろしく願いいたします。部員一同精進して参りますので今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

主務として

主務 野崎智仁・理3回



本年度、主務を務めさせていただきます。
野崎智仁と申します。

私は昨年度、副務として主務の業務のサポートをしました。また、前主務の下で与えられた業務をこなすと同時に、部を運営する立場である幹部の一員としての重要性を感じていました。主務となった今、自発的に動かなければならないことが多く、副務として過ごした昨年度よりも大変であることは目に見えてわかってきました。

また、主務を務めさせていただいて、今の私たちの活動は多くの支援によって成り立っていることを改めて感じています。凌泳会の方々をはじめ、学生支援課の方々、育友会や海神会の方々など、金銭面だけでなく様々な面で支援を頂いていることを深く実感しています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、私は主務として活動する一年で二つの事柄に注力したいと思っています。

一つ目は、これまでOBOGの方々との交流の機会となっていた凌泳総会や月見の宴などの主要行事を対面で実施することです。昨年度の四回生が対面で開催していた最後の世代となり、その世代が引退した今、対面での開催が何もわからず不安に思っていますが尽力を尽くしたいと考えています。また、本年度の月見の宴は凌泳会 100 周年記念全国大会として開催される予定です。凌泳会の長い歴史の大きな節目となるこの全国大会を運営し成功させることが、本年度主務を務める私にとって大きな業務だと考えています。

二つ目は、現役部員の活動のサポートです。活動の制限が緩和されつつあり、現役部員の練習の環境を今までよりもより良くできると考えています。具体的には、夏の試合に向けて長水路での練習場所の確保、夏の海事プールの練習環境や冬の陸上トレーニングの練習環境の改善などが挙げられます。練習環境を改め、現役部員の活躍の助けとなるように努めていきたいと考えています。

最後になりましたが、活動の制限が緩和され始めた今、できるだけ円滑な活動ができるように努めて参ります。これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

競泳主任として



今シーズン競泳主任を務めさせていただき
ます、松島優太です。歴代の偉大な先輩方が
務めてこられた主任という立場を任せていた
だいたことは大変光栄なことでもあります。私も
後輩からそう思われるような存在になるために
尽力して参りますので何卒よろしくお願い致し
ます。

さて、私の今シーズンの競泳主任としての
目標は最強、最高のチームを作り上げ、シー
ズン目標を達成することです。今シーズ
ンの競泳面の目標は

男子: 全国国公立 3 位(シード権獲得)、関国
優勝、全員生涯ベスト更新

女子: 関カレ全種目ベスト率 100%

としております。男子に関しては最大値を設定
したつもりです。夢物語に聞こえるかもしれま
せん。私自身 2 年前の湊覇シーズンで初めて
全国公に出場したときから神戸大学がシード
権を獲得している景色を見たいと願っておりました。全員が同じ方向を向いて懸命に努力すれば決して叶えられないものではないと考えております。女子に関しても他大の選手も入部し、切磋琢磨して全員で 1 つの試合をター

競泳主任 松島 優太・国人 4 回

ゲットにタイムを出そう

ということでこの目標を設定しました。この目標
達成のために、私は以下 2 つの取り組みを行
います。

まず 1 つ目は、練習効果最大化です。限ら
れた場所、時間の中でただ練習をこなすだけ
では成長し続けることは難しいという経験則か
ら、1 回の練習の中で、目標や仮説を立て、実
行し、反省するといったことを繰り返せるよう
意識づくりを促します。メニュー説明の際には
それぞれの意図を明確にし、こういう気持ちで
取り組んでほしいということを伝え、メニューに
対する理解度や目的意識を高めます。そうす
ることで、練習の質が上がり、良い試合結果に
繋がってくると考えております。

2 つ目は、雰囲気づくりです。先輩後輩、速
い遅いに関係なく意見を言い合える雰囲気をつ
くることで競技理解の活性化を目指します。
また、各々の目標や課題を部員間で共有する
機会を設け、選手とマネージャーが積極的に
関わり合えるようにします。日々の練習を楽し
みながら頑張り、一つの目標に向かって一致
団結して進んでいくようなチームをつくりま
す。

最後になりましたが、凌泳会員の皆様には
日頃より多大なるご支援、ご指導をしていただ
きありがとうございます。皆様のご期待に応え
られるよう部員一同精進して参りますので、こ
れからも変わらぬご支援の程お願い致します。

水球主任として

水球主任 新保 空・経済4回



今シーズン水球主任を務めさせていただきます。新保空です。歴史ある神戸大学体育会水泳部において水球主任という立場を任されたことに大変嬉しく思います。

昨シーズンはコロナ禍から少しずつ脱却し、多くの大会に参加することができました。また、新入生が選手5人、マネージャー2人が入部を決めてくれました。関西学生選手権(学生リーグ)では、1部3位という結果を収めることができ、インカレという素晴らしい舞台を経験することができました。

これを踏まえた上で私たち水球面は今シーズンの目標を「インカレ出場」と掲げました。インカレ出場枠が1つ減ったこともあり、非常に高い目標ではありますが、部員皆が一つの目標に向かって一丸となり、惜しみない努力を続けていけば決して果たせない目標ではないと考えています。

そしてこの目標を達成するために私が水球主任としてこだわりたいことは「常に考え、目的を持って行動する」ことです。

練習メニューに対して、何のための練習なのか、試合のどの場面で使うのかを考え、一つ一つの練習に目的を持って取り組む。試合中は、どのような意図を持ってパスを出すのか、ディフェンスをするのか、攻撃を仕掛けるのか、常に考えてプレーする。日々の練習、一つのプレーに対して思考を重ね、最善の選択を取る。全員がこの意識を持って取り組み、技術を向上させ、水球への理解を深めることで、チームの強化につながると考えています。

最後の1年、歴代最強のチームを築き、最高の結果で引退していきます。頼りない主任ですが、ついてきてくれると嬉しいです。最後になりましたが、凌泳会員の皆様、多大なるご支援、ご指導本当にありがとうございます。皆様の期待にお応えできるよう部員一同精進してまいりますので、今度ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

マスターズ活動記録(令和4年1月~12月)

このページは『河童天国』からの編集です。

氏名	年齢 区分	種目	ランク	タイム
----	----------	----	-----	-----

新春マスターズ 2022 大阪

1/22,23 東和薬品 RACTAB ドーム S

安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	④	47-92
〃	[〃]	100M平泳ぎ	③	1-47-17
小南裕明	[50]	100M蝶泳	③	1-06-98

第26回神奈川マスターズ

3/13 さがみはらグリーンプール

武政英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	45-36
〃	[〃]	100M個メ	②	1-44-84
福知 武	[80]	50M自由形	③	42-09
井上隆史	[80]	50M自由形	④	42-28
〃	[〃]	200M自由形	①	3-24-60
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	④	48-53
〃	[〃]	100M平泳ぎ	①	1-47-68
浦野敏明	[60]	100M蝶泳	②	1-26-27
〃	[〃]	100M個メ	②	1-24-82
井上・福知・ 安茂・武政	[320]	200Mフリー リレー	①	2-46-97

第26回 神奈川マスターズ

みんなそれぞれの全力

井上隆史・昭37

伝統ある神奈マショート大会が3月13日相模原グリーンプールで開催されました。

コロナ禍で大会の中止が相継ぎ、東京組には今年初めての大会でした。神戸から安茂さんは日帰りの参加で、打ち上げに参加も出来ずの慌ただしさでした。2週間前からの検温検査、当日の入場時の下足・上履き・手指の消毒、男女別に分けての開催、人数制限、座席の指定とクラスターを絶対に出さないと言う取り組みを経て開催されました。

凌泳会メンバーは全員コロナ禍でも元気に参加し、メダルラッシュでした。昨年12月に福知

兄 25MFr で私の記録を抜きましたが、今回は半 Fr.で隣のレーンでの勝負となりました。

よもやの結果で福知兄③42.09、井上④42.28でした。

日頃から、500グラムのおもりを持ってウォーキングしている馬力に負けてしまい、がっくりとじていましたが、最後の+320歳の4*50のFr.R.のレースで私は第1泳者で41.28を記録し、少し面目を保ったところです。

福知兄は2泳者で41.81と、どんどん伸びてくるので、リレーメンバーの編成はこれから悩みそうな嬉しい悲鳴ですね。

今回はJ.Masters shortno 川崎で元気にお会いしようかと散会しました。

尚、昨年 HP で活躍されていた濱出憲一郎君が退社して、ハマデスポーツとして登録しています。

今回濱出くんは欠席でしたが、2名の方がハマデスポーツで参加していました。これからまた、華麗な泳ぎを見ることが出来るかと楽しみにしております。写真を添付しますので、ご笑納ください。次回、川崎で元気な顔をお見せください。



安茂弘・昭和39

早速、写真を送って頂きありがとうございました。200mFR のタイム(2分46秒)は昨年のワールドトップ10の2位の記録(2分44秒)とほぼ同等でした。私のタイムが悪く、あと3秒位は短縮できると思います。平泳ぎの直後で流しすぎました。つぎの機会には頑張りたいと思います。

武政英幸・昭39

井上さん早速写真をありがとうございます。久しぶりの打ち上げも楽しい時間でした。安茂さん、時間がなくて残念でした。川崎でまたお会いしましょう。

浦野敏明・昭60

井上さん写真ご送付ありがとうございます。皆様 大変おつかれさまでした。川崎でもよろしく願います。

福知武・昭37

安茂さん 長旅と競泳ご苦労様でした。50mFr を 40s 切るべく努力します。次回を楽しみにしています。

呉竹正人・昭和59

井上さん写真を送って頂き、ありがとうございます。皆さま、お疲れさまでした。安茂さんにお知らせ頂いた、200リレーが昨年のワールドトップ10の2位同等は本当に素晴らしいです。

2022 年日本マスターズ短水路大会 4/3 深谷グリーンパークアクアパラダイス

武政英幸	[80]	50M自由形	①	38-02
"	["]	100M個メ	①	1-45-13

松山会場

4/3 松山中央公園プール

安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	②	48-74
"	["]	200M平泳ぎ	①	4-08-36

尼崎会場

4/17 尼崎スポーツの森

安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	②	48-67
"	["]	100M平泳ぎ	②	1-48-75
山野和則	[60]	50M平泳ぎ	④	40-32
"	["]	100M平泳ぎ	④	1-31-63
小南裕明	[50]	50M蝶泳	②	30-50
"	["]	100M蝶泳	①	1-07-31
濱出憲一郎	[45]	100M自由形	②	59-27
"	["]	400M自由形	④	4-47-71

京都会場

5/1 京都アクアリーナ

安茂 弘	[80]	25M平泳ぎ	②	21-89
"	["]	100M平泳ぎ	①	1-48-53
小南裕明	[50]	25M蝶泳	①	13-66
"	["]	200M蝶泳	①	2-32-73

江東会場

5/5 辰巳国際水泳場

井上隆史	[80]	50M自由形	②	42-11
"	["]	100M自由形	②	1-34-79
浦野敏明	[60]	100M自由形	⑧	1-13-72



江東会場参加の記

井上隆史・昭37

5月5日 Japan M.短水路大会が東京辰巳Pで開催され、凌泳会から浦野さんと井上の2名が参加しました。私は久しぶりの辰巳Pなので、少し早めに出て、東京アクアティクスセンターを見てきました。

あいにく、観客席を15000席から5000席に削減する工事のため、フェンスで周りを囲ん

でおり、近づくことは出来ませんでした。しかし、50M*10 レーンの主プール、サブプール、飛び込みプール、観客席 15000 人の建物(延べ面積 56000 m²)は巨大で圧倒されました。速く泳いでみたいですね。

辰巳のプールはトイレのペンキだけを塗り替えていましたが、プールサイドの待機場所のデッキは塗装がはげたままでしたね。地下鉄の辰巳駅は改装後きれいになったかと思いましたが、以前と変わらずでした。都心部の改装だけで一杯だったのでしょかね。スマホがないので、落としたか、忘れてきたかで家に電話しようとしたが、プール、新木場の駅でも公衆電話がなく結局家に着いて忘れて出発したことを確認するまで、不安でしょうがなかったですね。

門真会場

5/7,8 東和薬品

安茂 弘	[80]	200M平泳ぎ	③	4-07-19
------	------	---------	---	---------

門真会場参加の記

安茂弘・昭39

最近では 200m のレースがだんだんしんどくなり、200m 一本にしぼって出場しましたが、結果はよくありませんでした。

80 歳代万歳です

米田啓祐・昭和37

最近の凌泳会マスターズでは、安茂さんをはじめ 80 歳代の頑張りがすごいです。現役卒業後 60 年程、ひたすら水を求めて泳いでいる姿には刺激を受けております。

川崎大会

5/22 川崎市多摩スポーツセンター

武政英幸	[80]	25M背泳ぎ	②	20-87
"	["]	50M背泳ぎ	①	40-12
福知 武	[80]	25M自由形	①	18-91
"	["]	50M自由形	③	42-47
井上隆史	[80]	200M自由形	②	3-27-99
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	①	48-52
前田和秀	[80]	25M背泳ぎ	③	24-76
"	["]	100M背泳ぎ	③	2-08-33
呉竹正人	[60]	50M自由形	②	33-80
浦野敏明	[60]	200M自由形	②	2-44-59
"	["]	200M個人メド	④	3-07-31
井上・前田・安茂・武政	[320]	200Mフリーリレー	①	2-54-70
福知・安茂・浦野・呉竹	[280]	200Mメドレーリレー	①	2-47-43



川崎大会参加の記

井上隆史・昭37

短水路大会川崎大会が 5/22 川崎多摩センター体育館で行われ、凌泳会から福知武、武政英幸、安茂弘、前田和秀、浦野敏明、呉竹正人、井上隆史の 7 名が参加しました。コロナ禍で大会中止が多い中で、対策を十分にして開催されました。朝、7:00 からのアップ、8:45 からの試合開始で、18:30 までレースがありましたので、打ち上げも 19:00 からと遅い開始となりました。しかし、久しぶりの大勢での再会で盛り上がりましたね。

今回は神奈マスロングか Japan M. の大阪大会で出場したいものですね。Japan M は大阪

で開催されるので嶋田陽子さんが参加意欲を示しています。佐敷さんがリレーに加わると+320歳で記録が狙えるのではないかと計算していますね。

今回関西から遠征の安茂さんは半 Br.で優勝し貫禄を見せました。そのほかの優勝者は半 Ba.の武政さん、25MFr.の福知さん、4×50Fr.R.の+320歳区分(井上、前田、安茂、武政)、4×50M.R.の+280歳区分(福知、安茂、浦野、呉竹)でした。注目するところは福知さんが半 Fr.(42.47)で、井上のリレーの第1泳者の記録(42.99)より良かったこととメドレーの第1泳者で(47.68)、武政さんの半 Ba.(46.12)に肉薄したことです。ゴルフも上手くなるし水泳も早くなるし、まだまだ発展途上ですね。次回が楽しみです。

呉竹正人・昭59

井上さん、皆さま、昨日は、お世話になりありがとうございました。久々にお会いできて嬉しかったです。先輩方の好タイムのお話も励みになりますし、レースをじかに観戦して応援できるようにすることを楽しみにしております。

浦野敏明・昭60

井上さん、皆様昨日は本当にいい一日お疲れ様でした。今回はコロナ化の感染状況改善しぜひYoutubeではなく実際に泳いでいるところを応援したいものです。次回また宜しくお願い致します。

武政英幸・昭39

井上さん、皆様昨日は長い一日でお疲れ様でした。早速写真をありがとうございました。朝7時から競技終了が18:30ではあまりに長すぎでした。運営当事者には休憩時間の短縮とか回数減らすとか、改善を期待したいです

ね。

ところで、皆さんと分かれて帰宅までにドジなことをやりました。JR南武線で乗換駅を4駅ほど乗り過ごしてしまいました。そのせいで帰宅時間が10時半過ぎになりました。皆さんには適量でも私は飲み過ぎだったようですね。色々お世話になりました。

安茂弘・昭39

井上さん、皆さん長い一日大変お疲れさまでした。井上さん、早速写真を送って頂きありがとうございました。短水路大会も残り3試合になりました。200mメドレーリレー(280歳区分)は宇都宮MECの記録を2秒上まわりTOPに立ちました。おそらく最終的にランク1位になると思います。800mフリーリレー(320歳区分)は現在ランク2位ですが、昨年の世界ランク3位相当の好記録です。私は最近のリレーで皆さんの足を引っ張り続けていますが皆さんの頑張りのお陰です。10月7日～9日に盛岡でイトハープマスターズ(短水路)が開催されます。この大会はすべてのリレー種目、100～800のフリーリレー、100～400のメドレーリレーが実施されます。未だ開催要項は公表されていませんが、佐敷さんはじめ皆さんの日程が合えば日本記録に挑戦しませんか。200MR、400MRは可能性があり、特に400MRは有望です。

福知武・昭39

井上さん、写真を有り難うございました。皆さん、一昨日の楽しい打ち上げは、久しぶりに楽しく飲みかつ喋れてコロナを忘れさせてくれました。有り難うございました。今回のマスターズは待機ばかりで泳いだ記憶ほぼありません。右手首から甲に掛けての赤アザがマスターズ

の思い出です。今日はセントラルでピラティス体操をして、1000m 泳いで来ました。次回を楽しみにしています。

熱海会場

5/27~29 マリンスパあたま

岡見晴児	[85]	25M背泳ぎ	①	25-84
------	------	--------	---	-------

岡見晴児・昭33

熱海大会に参加しました。大衆温泉リゾートに25Mプールが併設された会場で、辰巳や横浜といった競技水泳の会場とは全く異なったのどかな雰囲気ではありました。流れるプール、温泉のジャグジーや風呂でのんびり出来ます。いささか緊張感に欠けますが、久しぶりにレースを楽しんできました。私が出た25メートル背泳ぎは皆さまご存じの神谷氏90歳と

85歳区分の3人の4名が同じ組で、私が接戦を制することができました。タイムは25秒84でした。25秒を切るつもりでしたが及ばず、この目標は次回に取っておくことにします。同じ組で老人たちが競うのも楽しいものだ実感した大会でした。(岡見晴児記)

安茂弘・昭39

岡見さんが出場されました。久々の出場です。短水路大会はまだ札幌会場が残っていますが、凌泳会からの出場はありませんのでこれで終わりだと思います。20傑ランキング出来たら、発表します。(安茂弘記)

KANSAI MASTERS 2022

7/10 東和薬品ラクタドーム S

安茂弘	[80]	50M平泳ぎ	①	49-91
"	[//]	100M平泳ぎ	③	1-50-19

OSAKA MASTERS OPEN 2022

7/31 大阪プール L

安茂弘	[80]	50M平泳ぎ	①	49-87
-----	------	--------	---	-------

安茂弘記・昭39

大阪府のコロナ対策として、高齢者の外出自粛要請もあり100平は棄権して、50平だけ出場してすぐに帰りまし

た。

200m メドレーリレーに岩本光司 TOTODC が、平泳ぎの第一人者新貝勝さんをトレードし、2-45-28の世界新に挑戦しました。結果は2-45-94で、0.66秒及びませんでした。ジャパンマスターズでも、このメンバーで再度挑戦するそうです。また、320歳区分のリレー4種目の日本新記録をもつ強敵 SPL 可児も出場予定で320歳区分のリレーは賑やかになりそうで、楽しみです。

2022年日本マスターズ水泳短水路大会 20傑入賞おめでとうございます (2022年4~6月分凌泳会関係)

岡見晴児	[85]	25M背泳ぎ	④	25-84
武政英幸	[80]	50M自由形	⑭	38-02
"	[//]	25M背泳ぎ	⑤	20-87
"	[//]	50M背泳ぎ	⑥	46-12
"	[//]	100M個メ	⑩	1-45-13
井上隆史	[80]	100M自由形	⑨	1-34-79
"	[//]	200M自由形	⑦	3-27-99
安茂弘	[80]	25M平泳ぎ	⑨	21-89
"	[//]	50M平泳ぎ	⑩	48-52
"	[//]	100M平泳ぎ	⑧	1-48-53
"	[//]	200M平泳ぎ	⑥	4-07-19
前田和秀	[80]	25M背泳ぎ	⑯	24-76
"	[//]	100M背泳ぎ	⑭	2-08-33
浦野敏明	[60]	200M自由形	⑰	2-44-59
"	[//]	200M個メ	⑮	3-07-31
小南裕明	[50]	25M蝶泳	⑦	13-66
"	[//]	50M蝶泳	⑲	30-50
"	[//]	100M蝶泳	⑦	1-07-31
"	[//]	200M蝶泳	①	2-32-73
濱出憲一郎	[45]	100M自由形	⑳	59-27
"	[//]	200M自由形	⑨	2-12-12
"	[//]	400M自由形	⑤	4-41-11
"	[//]	100M個メ	⑳	1-10-35
井上・前田・安茂・武政	[320]	200Mフリーリレー	③	2-54-70
福知・安茂・浦野・呉竹	[280]	200Mメドレーリレー	①	2-47-43

第 30 回神奈川マスターズ長水路

9/11 横浜国際プール L

岡見 晴児	[85]	50M背泳ぎ	①	1-02-05
福知 武	[80]	50M自由形	②	41-64
〃	[〃]	50M背泳ぎ	②	48-28
井上 隆史	[80]	50M自由形	③	42-37
〃	[〃]	200M個メ	②	4-28-45
前田 和秀	[80]	50M背泳ぎ	④	1-01-35
〃	[〃]	100M背泳ぎ	②	2-25-65

神奈川マスターズ参戦記

井上隆史・昭37

女子は午前中、男子は午後と分けて、参加人数も絞っての大会でした。

50m 自由形で、私は馬力のある福知さんの後塵を拝したのはこれで 2 回目で困ったものですね。

ウォーキングでは、錘を持って体操しながら歩くのか、錘を足に付けて歩くのか、筋トレをしている効果が出ていますね。それにしても長水路のバタフライ 50M は遠かったですね。

第 37 回ジャパンマスターズ

9/28~10/2 丸善インテック大阪プール L

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	⑤	46-90
井上 隆史	[80]	50M自由形	⑬	42-41
〃	[〃]	200M個メ	⑤	4-17-19
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	⑭	51-47
佐敷 定雄	[70]	100M自由形	⑥	1-16-19
〃	[〃]	200M自由形	③	2-48-48
〃	[〃]	50Mバタフラ	③	35-07
小南 裕明	[50]	50Mバタフラ	⑦	30-28
〃	[〃]	100Mバタフラ	④	1-08-22
〃	[〃]	200M蝶泳	②	2-43-11
濱出憲一郎	[45]	200M平泳ぎ	⑨	3-04-21
〃	[〃]	50M蝶泳	④	31-74

ジャパンマスターズ参戦記

井上隆史・昭37

Japan Masters. の 4*50 +320 歳区分のメドレーリレーにおいて、引き継ぎ違反のため失格となりました。

45.60、1.35.53(49.93)、2.10.15(34.62)と順調に記録しながら、小生の飛び込みが早く、失格となりました。慚愧に堪えません。スタート台には、いつもは左足が前で、ブロックに右足を置くのですが、両足をそろえた方が力が入るだろうと思って、両足そろえて立ったのが敗因でした。通常は、前に倒れかけて、左足は残っていることを確認しながら、タッチを見て飛び込むのですが、今回はタッチを見る前に飛び込んだんですね。

リレーのために武政さんもゴルフ会幹事の前日に参加し、安茂君は体調不良を押して出場し、佐敷君は大阪滞在を延ばして参加したのに大変申し訳ありませんでした。私のリレーの引き継ぎ失敗は 2 回目となりました。

次回アテナの時は日本記録を狙うので、是非樹立したいと思っています。

懲りずに挑戦しましょう。

深くお詫び申し上げます。

佐敷定雄・昭49

本日夕方に大阪より戻ってきました。皆様ご苦勞様でした。

3 年ぶりに多くのマスターズ委員会の連中と会いまして、アップができないくらい話し込んでおりました。コロナで水泳をやめる人も多く、新しいチームを組んで記録アップをするチームが増えてきたと言っていました。

リレーの小さいミスでしたが、世界新記録で泳いだチームと 3 秒しか違いませんでした。

チャンスを狙いましょう。体調に気を付けて楽しい泳ぎをしたいと思っています。

安茂弘・昭39

皆様ご苦勞様でした。失格したのは残念ですが、お互い様ですので気にしないでください。

武政さんの 45-60、佐敷さんの 34-62、井上さんの記録も 38 秒台だと思います。いずれも立派な記録で、トータル 2 分 48 秒台は短水路の日本記録 2-50-63 を上回っています。

次のアテナは 200mメドレーリレーで日本記録に挑戦しましょう。

呉竹正人・昭59

井上さんご連絡をありがとうございます。
出場された皆さま、大変お疲れさまでした。
次回のアテナも応援しております。

2022 年第 37 回アテナマスターズ

11/6 アテナアクアメイツスイミングクラブ S

武政英幸	[80]	25M背泳ぎ	①	20-73
井上隆史	[80]	50M自由形	②	42-90
〃	[〃]	100M自由形	②	1-34-47
安茂弘	[80]	25M平泳ぎ	①	21-91
佐敷定雄	[70]	100M自由形	①	1-13-13
武政・安茂・佐敷・井上	[320]	400Mメドレーリレー	①	6-28-71
泳者ラップ(50mと100m)		武政	49-22	1-44-88
世界新・日本新		安茂	51-00	1-48-55
		佐敷	39-55	1-23-63
		井上	43-04	1-31-65



世界新記録達成の記

井上 隆史・昭37

2021 年、22 年はコロナ禍で水泳マスターズの大会が中止になったり、密を避けるため、出場人数制限をしている状況です。

「凌泳会メンバーなら、世界記録を狙える大会があるので、是非出場しませんか?」と安茂君から提案が有り、武政、佐敷、井上に参加することになりました。

2022 年 11 月 6 日(日)第 37 回アテナマスターズ大会の 4*100 メドレーリレー+320～359 歳区分です。

世界記録に挑戦するために、武政英幸、安茂弘、佐敷定雄、井上隆史の順番は即決まり、目標タイムのコミットメントがありました。

手の届かないと諦めるタイムでは無く、なんとかするのは無いと思わせる目標タイムでした。

武政 1.47, 安茂 1.48, 佐敷 1.26, 井上 1.34=6.35.00 です。大会が少ないので、最近のタイムが不明なのが困りましたね。

会社を卒業してから、久しぶりの予算を背負うことになり、練習にも身が入りましたね。

大会は半自動計測なので、世界新承認申請には、パスポートの写しか、住民票が必要なことを呉竹さんが確認してくれ、半信半疑で各人が当日に持参していました。

泳ぎ終わって、タイムは世界新記録と言っているのですが、本当にホッとして、嬉しかったですね。

個人種目ではメダルを貰うのも難しくなっているのですが、リレーでメダルを狙っていますが、世界新記録は初めてですね。

個人種目の世界新記録保持者でも、リレーでは4人の仲間が必要です。しかも、+320歳ということは平均80歳の水泳の仲間がいると言うことです。

「リレー区分は+320歳ですよ」と言う皆さん「ウエー」と言って大変喜んでくれますね。元気な仲間がいることは大いなる誇りです。

次の世代が更なる高みを目指して研鑽して欲しいと期待しております。

日本記録に挑戦していたが世界新記録 安茂 弘・昭39

さいたま市のアテナマスターズに出場しました。今まで参加したことのない大会でしたが、武政・安茂・佐敷・井上のメンバーで320才区分400mメドレーリレーの日本記録に挑戦するため、参加しました。

皆さん非常に調子がよく、従来の日本記録を25秒28、世界記録を6秒63上回ることができました。



この写真はレース後、主催者のアテナアクアメイツが撮影してくれた

おめでとう

岡見晴児・昭33

4×100メドレーリレーの皆さん：

世界新記録、日本新記録達成おめでとうございます。平均年齢80歳以上、しかも1人が100メートル泳ぐ400のメドレーリレーでの快挙、年甲斐もなく快さを叫びました。イヤーお見事です。

これを励みに小生ももう少しマスターズを続けます。結果を見て嬉しくて、メールを打っていますが皆さん今頃は乾杯でしょうか…

取り急ぎお祝いまで 佐敷さんのアドレス分からないのでメールできません。彼にもよろしくお伝えください。

井上隆史・昭37

早速のご祝辞有り難うございます。

10月2日に大阪まで出かけ4*100M.R.+320歳の日本新記録に挑戦しましたが、武政、安茂、佐敷と順調に来て、残るは50MのFreeと言うことになり、懸命に私も泳いだのですが、Flyingになり、幻の日本新記録でした。

調度1ヶ月後に安茂さんが4*100短水路のメドレーリレーが有るので、挑戦しようと今度是世界記録も視野に入れながら、各自の予算

タイムが設定されました。私としては何とかリベンジしたいと言うことで、100MFreeを毎日何本か泳ぎ備えていました。セントラルのコーチも、「どうしたの？」と聞くので、「新記録を+320歳で狙う」と言うことにしていたら、「世界新記録を狙っている」と話した人がいるので、評判になり、二人のコーチから「明日は頑張ってくださいね」と激励されました。

100M、50Mの個人種目も予算タイムには届かず半ば諦めていましたが、皆さんが頑張っていて、最後の最後で世界新記録が出ました。呉竹さんも応援に来てくれたので、本当に良かったですね。幻の日本記録から、世界新記録が生まれました。

祝杯のビールは美味しかったですね！！有り難うございました。

呉竹正人・昭59

武政さん、安茂さん、佐敷さん、井上さん、世界新記録、誠におめでとうございます！武政さんと安茂さんの安定感のあるスピード、佐敷さんのさすがのパワフルさ、井上さんの速くて、しっかりキャッチされていたプル、素晴らしかったです。

レース前に日本記録の6分53秒だけ頭にあったのですが、世界記録は6分35秒でしたね。世界を7秒も更新されて、もう感動するばかりです。ありがとうございました。

佐敷定雄・昭49

素晴らしい「5匹のおっさん」の喜びに参加できました。チーム責任者で応援に来てくれて有難う御座いました。呉竹君の登場で、弱気の私も諦めました。

100バタは2年半泳いでいなかったのに、完泳出来るか不安いっぱいでした。

頑張らずに何とか完泳をと、目をつぶってリズムのみ気を付けて泳いでました。

タイムも今年のジャパンマスターズの優勝者と変わらないタイムだったので、驚いております。

今日はたつぷりとスイミングクラブでダウンしてきました。

大先輩に引っ張られながら、泳ぎを楽しもうと思っております。

浦野敏明・昭60

武政さん、安茂さん、佐敷さん、井上さんおめでとうございます。快挙ですね！！素晴らしい。

世界に凌泳会の名がとどろきますね。

すごいです。賛辞が止まらん・・・

福知武・昭37

武政さん 安茂さん 佐敷さん 井上さん

400mメドレーリレー世界記録達成おめでとうございます。日本のジイサンタチは素晴らしく誇りに思います。

米田啓祐・昭37

メンバーのみなさんおめでとうございます。

目標を達成されましたね。

「世界」というのはすごいです。「日本」でも、今はとてもとてもレベルが高いのに

「世界」に挑戦されて見事「新記録」夢は幾歳になっても持てて、達成できますね。

桑本 万里・昭55

世界新記録樹立、おめでとうございます。

素晴らしい先輩方の偉業、憧れます。

遠く及びませんが、凌泳の伝統を引き継いでいけるよう精進していきたいです。

**第9回 秋葉山マスターズ
12/4 秋葉山公園県民水泳場 L**

安茂 弘	[80]	100M平泳ぎ	①	1-53-25
濱出憲一郎	[45]	200M個メ	①	2-39-40
〃	〃	400M個メ	①	5-47-30

参加報告

安茂 弘・昭39

私はジャパンマスターズでは、体調不良のため棄権した100平に出場しました。

タイムは昨年とほとんど同じでした。凌泳会関係では濱出さんが参加していました。

**第7回神奈川マスターズスプリント
12/11 さがみはらグリーンプール S**

岡見晴児	[85]	25M背泳ぎ	②	27-42
〃	〃	50M背泳ぎ	①	1-00-90
武政英幸	[80]	25M背泳ぎ	①	20-06
〃	〃	100M個人メ	①	1-48-62
福知 武	[80]	25M背泳ぎ	②	21-19
〃	〃	50M自由形	③	41-94
井上隆史	[80]	25M背泳ぎ	④	23-66
〃	〃	100M個人メ	②	1-56-91
前田和秀	[80]	25M背泳ぎ	⑤	26-32
〃	〃	50M背泳ぎ	①	59-95

参加報告

武政英幸・昭39

昨日は相模原グリーンプールで凌泳会メンバー5人が25m背泳ぎで同じ組で泳ぐといはじめての体験をすることができました。ありがとうございました。橋本駅前ガストの打ち上げも楽しい時間でした。いい心持ちで電車で揺られて中央線と武蔵野線で2度乗り過ぎて随分帰りが遅くなってしまいました。

井上隆史・昭37

昨日レースで25Mバックの1組目+85歳と+80歳区分の出場者8人のうち、5人までが凌泳会関係者でした。まさに、ゲームジャックでし

た。写真を岡見さんのご友人の久保田紀之さんが撮影し送信して頂きました。楽しい思い出として、ご覧下さい。

岡見さんお会いになったときにはよろしくお伝え下さい。



世界新記録樹立！！

井上隆史・昭37(1962)

六甲山の湧き水を引き込んだ夏でも冷たい六甲台のプールが私たちの学生時代の居場所でした。

40年弱前に、大先輩の故小山賢之助(S7)氏がマスターズ水泳の設立にご尽力され、「代々木のオリンピックプールでの試合に出場出来るよ」と推奨されたので、後輩は水泳を再開することになり、大会に集うようになりました。

今では約6000人の選手が競う国内有数の競技会となりました。

コロナ禍で大会が中止になったり、入場制限したりとこの2年間は大会が急減し、寂しい思いをし、現在自分は何秒で泳げるのか分からない状態での世界新記録への挑戦でした。

武政英幸(S39)、安茂弘(S39)、佐敷定雄(S49)、井上隆史(S37)のメンバーが2022年11月6日(日)第37回アテナマスターズ320歳～359歳区分の4×100Mのメドレーリレーに出場し、見事に世界新記録を樹立しました。

「継続は力なり」を示すことが出来ましたし、泳ぎ続けた平均年齢80歳の「健康な仲間がいる」ことは幸せだし、大いなる誇りです。

東大の東水会、京大の京水会も若い人の個人種目では参加がありますが、リレーにエントリー出来る神大の凌泳会には及ばない状況ですね。

我々は、次は+360～399歳区分のリレーを目指すので、凌泳会の若手は男子2名女子

名の4名で参加の混合リレーの世界新記録を目指してほしいものです。

凌泳会 井上隆史(S37)



世界新記録表彰状
2022.11.6



世界新記録立！！
2022.11.6
成人病を乗り越えた！

どうする成人病術後！

加齢による体調の不具合は、「歯、眼、〇」以外にも膝、足、腰、肩、等々の痛み、しびれ、に悩まされることが多くなり、また成人病は油断できません。

今回のメンバーは平均年齢 80 歳でバック、ブレスト、バタフライ、フリーを 100M ずつ泳ぐことが必須条件です。

今回のメンバーは

2002.1 胃がんで胃の全摘手術をした人、

2012.12 前立腺がんの手術をした人、

2016.7 冠動脈狭窄症でカテーテルステント手術をした人と 3 人までが成人病の手術経験者です。

成人病の術後経過観察は 3 ヶ月～半年毎にされますが、Dr.との診察時は「体調はどうですか？」と聞かれます。

「お陰様でマスターズ水泳の世界新記録を出しました」と報告すると Dr.は拍手をして祝福してくれました。通常では、「普通の生活に戻れば良い」、「泳げるようになれば良い」と考えます。それがなんと、世界新記録を樹立したのです。仲間にも、「エッ、ウッソー、、、、。ホントデスカ？おめでとうございます」しばらくは、信じて貰えない状況でした。しかし、凌泳スイマーはやはり水泳が好きなのでですね。手術後の気持ちは「泳げるようになれば良い」⇒⇒「試合に出られるように泳ぎたい」⇒⇒⇒「速く泳ぎたい」となり、高じて世界新記録になったわけです。「泳ぐことをアキラメナイ」という往生際の悪いところが新記録達成の原因ですね。

こんな人生もまた可なりですね

井上隆史

マスターズ世界新記録樹立の背景と思い

玉川智嗣・2016 卒

2016 年卒の玉川智嗣です。

2022 年 10 月 30 日(日)に開催された日本マスターズ水泳長距離大会で、119 歳以下区分男子 4×100mメドレーリレーで世界新記録(※)を樹立することができました。

神戸大学とは離れた組織での活動でしたが、凌泳会でも取り上げていただけることになり、大変光栄に存じます。僭越ながら世界新記録樹立のことについて紹介させていただきます。

(※)

所属:IBIS

メンバー:金子雅哉 山下雄大

横川誠次 玉川智嗣

記録:3:55.10

(28:26-58:52-1:27:67-2:01:61-2:28:50-3:00:16-3:26:64-3:55:10)

「Project World Record」と題して私の所属するチーム「IBIS」の世界記録への挑戦が始まったのは 2021 年の夏まで遡ります。前世界記録を保持していた他チームのメンバーである金子さんが IBIS 会長である河合東人さんと親交があったこともあり、金子さんから「IBIS で世界記録に挑戦したい」と提案を受けて始まりました。

まず挑戦するメンバー選定を行ったのですが、専門種目と年齢制限の関係でクロール以外が確定し、クロールを河合さんか私どちらにするかという話し合いになりました。前年度の実績では両者とも同タイムで泳いでいたこともあり、決定打がなく話し合いは数回行われ難

航しましたが、最終的に河合さんが泳ぐことになりました。そして 2021 年 10 月の一発勝負で臨んだ結果、前世界記録 3:58.90 を更新する 3:56.38 の記録を出して無事 IBIS は世界記録保持チームとなりました。

2022 年になって河合さんと私が交代する形であれば 119 歳以下になることから、今度は自

チームが持つ世界記録に挑戦することとなりました。前年に出場できなかった悔しさを胸に抱えて必死にトレーニングに励みます。

一回目の挑戦は 2022 年 3 月の FIA マスターズ千葉大会、結果は 3:56.53 でわずか 0.15 秒足りず挑戦失敗となりました。社会人になって水泳で涙を流すことになるとは…。タッチしてから役員に退水を促されるまで動けないほどショックで固まっていました。レース後メンバーで話し合い、「どこか慢心があったのではないか。世界記録挑戦は甘くない。」と再度気を引き締めて、7 月の大阪マスターズでのリベンジを誓います。

しかしその後肩の故障で泳げない期間が発生し、仕事の繁忙期とも重なりモチベーション維持が難しく苦しい時期を過ごします。社会人水泳は誰かに強制されることもなければ、泳げない言い訳をいくらでもすることができます。その中で努力を続けるためには楽しむ気持ちや確固たる目標への執着心が必要になります。自分の場合は「他のメンバーは既に記録を持っているのに自分だけが持っていない。誰よりも自分が頑張る姿勢を見せないと他のメ

ンバーへの示しが見つからない。」という責任感だけで当時は何とかプールへ足を運んでいたように思います。

そして迎えた大阪マスターズ…のはずが、金子さんがご家庭の事情で急遽参加できなくなり、2 日前に背泳ぎを河合さんが泳ぐことになりました。社会人で水泳をしているとこれもよくある話で、逆に言えばそれだけリレーで何かを目指すということは難しいと思われ知らされず。

それでも全員が最大限のパフォーマンスを発揮出来れば記録更新の可能性もあったため果敢に攻めていきましたが、結果は 3:56.68 でわずか 0.30 秒足りずまたしても挑戦失敗となりました。全員が好タイムを出すことは奇跡に近く、改めてリレーは 4 人で支え合って結果を出すものだと痛感しました。今回も涙を流すことになりましたが、9 月の名古屋レインボーマスターズで再度挑戦することを決めます。

しかしその後、新型コロナウイルスは第 7 波のピークに突入します。その影響は我々にも波及し、9 月は出場することさえ叶いませんでした。しかもその大会で私たちが目指していた世界記録が他チームによって破られることになり、その記録は従来の記録を大幅に更新するもので、現実的に私たちが世界記録保持者となる可能性は潰えることになりました。

心が大きく揺さぶられることになりましたが、「保持者になれなくても樹立者になることはできる(公認時期の関係で期間中に突破すれば樹立者として認定される)。せっかくここまで頑張ってきたのだから最後まで挑戦しよう。」と励まし合い、ラストチャンスである 10 月の日本マ

スターズ水泳長距離大会への出場を決めます。

大会までの 1 ヶ月強はとにかく必死でした。社会人で水泳を始めてから一番キツイ練習をこなし、身体のケアを十分にして、技術研究にも時間を割きました。絶対に諦めたくない、絶対に世界記録を出したいという強い思いが自分を突き動かします。

そして運命の大会当日、これまでの挑戦時は朝から緊張が止まらず不安な気持ちが先行していたのですが、この日は不思議と自信に満ち溢れていました。

またこの試合は参加者も少なく私たちのレースも他チームの参加はなかったため、会場全体が私たちを応援してくれるという状況で泳ぐチャレンジレースさながらの雰囲気でしたが、大学 3 年生の現役時代を思い返せばメドレーリレーでインカレまで 0.3 秒足りず天理チャレンジに出場し、チャレンジレースまでいってインカレ出場を決めたときと今回が重なり、感慨深い気持ちになるとともに勇気がわいてきました。

そしてレースです。メンバーで円陣を組み士気を高めます。全員いい表情をしています。よし、大丈夫。

私は第 4 泳者であるため途中まで記録を見ることができませんが、自分の泳ぎに集中するため一切見ることなく引き継ぎました。泳いでいる最中は意外と冷静で、さすがに最後の 15m は苦しくなりましたがこれまで苦勞してきたことやチームメイトの顔が頭に浮かびノーブレスで踏ん張りタッチしました。結果は…、3:55.10。ようやく、ようやく世界新記録樹立です。すぐに樹立のコールが会場に響きます。とにかく

喜びの感情が爆発しました。雄たけびを上げ、何度も何度もガッツポーズ。メンバーと強い握手を交わします。「立ち止まることもあったが仲間のおかげで最後まで戦い抜くことができた。その仲間と一緒に喜び合えることができてよかった。」また一つ、水泳を通して、IBISを通して人生の宝物が増えました。そして次の宝物を探して歩み続けようと思っています。以上が世界新記録樹立の背景や私の思いです。こうして今も元気に水泳をしています、神戸大学水泳部での楽しく、ときに苦しく、でも最高に熱い日々を過ごした経験があったからこそ、今も水泳をしているのだと思います。



現役時代に支えてくださった凌泳会の皆様に改めて感謝いたします。

また現役部員の皆様は今全力で部活に打ち込める環境があることに感謝して、カッコ悪くてもいいので泥臭く頑張っしてほしいと思います。泳ぐことだけでなくチーム運営もですが、ここで頑張った経験は一生の宝物になるはずです。コロナ禍もいよいよ収束の方向に向かい、目一杯取り組める環境が整ってきているはずです、悔いのない水泳部生活を送れることを祈りながら締めたいと思います。

ありがとうございました。



特別寄稿 【水泳部の思い出】

凌泳 100 周年特別寄稿のお題として、
「水泳部の思い出」をテーマにご寄稿頂きました。

2021 年 100 周年記念大会が昨今の事情で開催できず、
また現役と凌泳会の関りが難しい日々を 3 年余りも過ごしました。

神戸大学水泳部の歴史とは？先輩方の時代の思い出は？
いつも応援していること、見守っていること、機会さえあれば助力したいこと、
老若問わず、上の世代から下の世代へ伝えられない日々でした。

何十年経っても同じなんだ！水泳で繋がる、先輩と後輩なんだ！
そして皆、神戸大学体育会水泳部で青春を過ごしたんだ

そんな思いを今の現役の皆さんにもいて欲しい。
語り継がれる場、交流する機会も少なくなっておりますが
だからこそ、この機会に記録として残せたらと思います。

凌泳会員名簿を遡ること 100 余年
1921 年から、準会員含め総勢 700 名超の会員が
神戸大学体育会水泳部から巣立ち、凌泳会員となりました。

苦楽を共にした青春、
熱い思いを傾けた競技者生活、
競技以外での記録に残せない記憶だけの部活動の思い出。

世代を超え共有される思いや、語るに落ちる秘話など、
今しか残せない皆様からの熱く楽しいお話を肴に、
また集える日を心待ちにしておりますが、ひとまず凌泳誌で。

それでは、次ページよりどうぞ。

水泳部の思い出～鴨島合宿～

井上隆史・昭 37

昭和 33 年(1958)水泳部に入部、37 年(1962)卒業しました。

60 年安保で国会議事堂に乱入した女子学生が死亡する事件があり、騒然とした時代でした。

その頃の水泳部は教養課程(1～2 年生)の姫路プールと六甲台プールがありましたが、屋外プールなので、水中での練習は4月後半から8月末くらいでした。

試合は6月第1週の京阪神3大学、最終週の市大戦、7月中旬の関西国公立戦、最終週の3商大戦、8月末の関西インカレ(中旬に全国国公立戦)、9月の兵庫インカレでした。

今に比べれば、短期決戦で、重要な試合に備えて合宿をしました。

①春合宿:伊豆の峰温泉プール:3月末～4月ころ

②姫路合宿:1年生は市大戦が初戦と位置づけ、顔合わせのため六甲台の部員が姫路分校に来て、6月中旬に1泊の合同練習をした。

③六甲合宿:夏休みに入って直ぐ、六甲台のプール、集会所に宿泊、生協で食事、冷房がないので、バルサンを毎夜焚いていた。囲碁、将棋が盛んでした。

④地方合宿:鴨島合宿 8月下旬(徳島県鴨島町) または:長谷合宿 〃 (兵庫県長谷町)

合宿して、幾日か「同じ釜の飯を食う」ことは非常に大事で、育ちや考え方が異なる面々が集まり、一緒に悩み励まし合うことで、解決策を見だし、仲間が増えました。

特に、地方合宿は新体制に変わったところで、新鮮味と開放感があり、楽しい合宿でした。

鴨島は吉野川の、長谷は市川の清流を引き込み 50M のプールを作っていました。

今の町おこしですね。

4～5 コース位にコースロープを張ってくれて、午前午後と5～6時間プールを使わせて貰いました。

町民の人も学生を大事にしてくれて、苦情は無かったですね。

鴨島プールのすぐ側を吉野川が流れていて、余りにもきれいな川なので、泳いでみようと思いましたが、冷たくて10分間入っただけで出来ませんでした。

鴨島合宿も2年目になると、慣れてきて、夜は阿波踊りの練習に出かけ、時には電車で1時間の徳島市まで出張した強者もいました。

宿でも、お手伝いさんから手ほどきがあり、毎晩特訓をしたものです。

手の指先・足のかかとの動かし方とリズム感が大事で広場で地元の小学生の踊りに驚いたものでした。

旅館の浴衣がビショビショになりましたが、毎晩新しい浴衣をサービスしてくれました。

神戸へ出発の前夜に、近所の広場で練習会に出場したら、いっばしの河童連になっており、岡村司さん、野田浩志さんは地元踊り手に引けを取らなかったですね。

深夜まで踊りの練習をしましたね。

よき時代でした。合宿の写真を添付します。

1959.5.10 姫路合同合宿
ふんどし姿が懐かしいですね



1960.8.23 鴨島プール(徳島県鴨島町)
「ポロで一ツ橋に勝つ！」の誓いは
この合宿から始まりました



1961.4 峰温泉プール(静岡県河津町) 古林元学長も駆けつけてくださいました。



1961.7:三商大戦

(扇町大阪プールにて)
競泳、ポロとも、優勝しました！



赤ふんの思い出

米田啓祐 教育学部 昭・37 (1962)

大学に入学してすぐに、新入生へのガイダンスが講堂であった。その終わりに、先輩による部活動の紹介があった。あれは多分二年生の野田さんだったと思うが、水泳部の紹介をされた。赤いいわゆる六尺ふんどしをみんなに見せて

「これは赤ふんどしです。赤ふんと呼んでいます。水泳部はこれ一本あれば、活動できます」というような紹介をされた。他にはユニホームもいない、いろんな道具もいないということだった。

私が大学に入ったのは昭和 33 年。その頃の神戸大学は、学舎はまだあちこちに散らばっていた。教養課程の 1 年半の期間は、姫路分校と御影分校の半分ずつに分けられ学ぶことになっていた。私は姫路分校に行くことになった。姫路分校は旧制姫路高等学校の校舎が使われていた。古いが寮も並び、広い運動場もあった。その運動場の端に土が盛り上げられ 25m プールが作られていた。山あいであった私は、プールというものを見たのはそれが初めてだった。

私は水泳部に入部した。一緒に入部した一年生は六、七人。御影分校でも五、六人は入部していたので、私たちの学年の水泳部員は合わせて十人を超えていた。一年先輩の二年生は酒井さん、野田さんの二人だけだった。そのことを思うと私たちの学年は人数も多く、いろんな人がいて水泳初歩の私ものにぎやかに

楽しく過ごすことができた。大学に行った意義は、この時のものが大きい。

私は赤ふんを締めるのは初めてだった。教えてもらいながらなんとか、きりと巻けるようになり、何だか男らしくなったような気がした。この赤ふんは日々の練習用であって、競技会などではきちんと水着を身につけた。

赤ふんは、プールの柵などに引っかけて乾かすこともあった。風が吹くとひらひらとたなびいていた。そこは女子寮からもよく見えるところだったので、ある女子学生から「あれは、鯉のぼりの吹き流しみたいできれいですね」と言われたことがある。

私たちは一、二年生の間は姫路プールで練習していた。夏の合宿などでは六甲台のプールで泳いだ。

私の二年生の時の写真がある。プールサイドの藤棚の下で、プールに向かって姫路にいた一、二年生二十人ほどが、水着姿で二列に並んでいる。それをみると、もう赤ふんの人は一人も写っていない。みんな水泳パンツを身につけている。戦後は終わったと言われるような時代で、物も豊かになってきたせいかもしれない。私の赤ふん姿の写真は一枚もなく、私の思い出の中だけにある。

昭和 34 年姫路の 1・2 年



昭和 34 年姫路のプール



昭和 35 年春峰温泉合宿



昭和 36 年 4 年生 11 人



神戸大学姫路分校プールの想いで

山田貴彦・昭37(1962)

私が神戸大学に入学した 1958 年当時は、教養課程が姫路分校と御影分校に分かれていた。姫路分校は旧制姫路高校を継承したもので、学生 350 名が起居できる白陵寮があり、地方から進学してきた学生はここを生活の拠点としていた。学校の周囲はポツポツと人家がある程度で、周りは一田んぼが広がって、入学した時には蛙の合唱が賑やかな田園風景だった。

学生時代には身体を鍛えたいと考え、何かの運動部に入りたいと思った。

入学後、校内のアチコチを巡って運動部の活動を覗き歩くと、広い陸上競技グラウンドの隅に小さな土手で囲われたプールが目に入った。

何気なく近づくと、真っ黒に日焼けした先輩が二人、私にギョロっと目を向けて、

「お前、泳げるんか？」、

「ハア、平泳ぎだけですわが…。」

「ヨシ、水泳部に入れたる。これ買え」

と渡されたのが真っ赤な晒を半幅に切った長さ 2 米程のアカフン！

「50 円で良いわ」と手渡された。

でも、どう締めるかも分らずウロウロしていると、「ナンヤ、締め方知らんのか？」

一人の先輩が立ち上がると、締めていた自分の褌をスルスル解いて、

「一方を口に咥えて、もう一方で大事な所をシッカリ包んで、こうして後ろに回して……」と、クルッと背中を向けて後ろの締め方も教えてくれた。

「ホレ、やってみい！」

と言われてもそう簡単には覚えられない。

それより褌を外して背中を見せてくれた先輩の真っ黒なお尻に、褌の跡だけが真っ白く T 字となってクッキリ浮き上がっているのに見惚れていた。それを見て、これなら身体はきつと鍛えられると思った。

こうして私の水泳部生活が始まった。ターンの度にプールの排水溝に掴まってゼイゼイやっていると「バカ！ ハヨイケ！」と、上から竹箒を逆さにして突つつく先輩の愛の鞭(?)にも耐え、何とか四種目が泳げるようになった。

お陰で基礎体力にも自信が持てるようになり、その後の長い人生の荒波を乗り切り、傘寿を過ぎても病気もせずコロナにも掛からず元気である。これも姫路プールに始まった水泳のお陰であると確信している。

姫路分校は、その後、姫路工業大学となり建物も増え、我が青春のシンボルであったプールも今は無くなってしまったが、そこで巡り逢った酒井・野田両先輩と同期の井上・高岡・米田の三君には心から感謝している。

プールで築かれた友情は今も変わらず、多分あの世まで続いていく、と思う今日この頃である。(了)

水球競技の思い出

岡田重義・昭37(1962)

水泳部に入部した頃(昭 33 年)の水球練習は、審判の眼に付かないように蹴ったり掴んで沈めたりしてマークする相手を弱らせることが主な目的だったように記憶しています。

8 回生の宇賀さんが出身高校の先輩だった 植中耕一さん(慶応義塾大学 OB でメルボルンオリンピック出場チームのゴールキーパーで、当時は大阪梅田の阪神ビル南隣にあった梅田ビル副社長)にコーチを頼みに行かれたら快諾して貰えました。

六甲台プールでの練習時刻が近づくと、植中さんご自身が白いヒルマンを運転して、プール下の坂道を登って来られました。植中さんの指導を受けて、練習方法は一変しました。

当時はまだ縫い目があった水球ボールの正しい持ち方から始まり、肘を水から挙げるパスやドリブル、泳ぐ方向を鋭角に曲げるターンなど、基本技術から始まって、フォーメーションやいろいろなシュートの打ち方など、現在の水球競技に繋がる基本技術を教えて貰ったり、伊豆での慶応大学の春季合宿に参加させて貰ったりもしました。

プール内での練習だけではなく教則本も紹介してもらい、当時の水球強国だったハンガリーの Raji(ライキ)が書いた英文の水球教則本を大阪梅田の紀伊国屋書店に頼んで取り寄せて、バラした本を(コピーすることが当時は非常に高額だった)全員が手分けして(合宿所で強力香取線香「バルサン」の煙にむせびながらと言うこともあった)読んだ結果を持ち寄り、

プールの水の中で実際にヤッテミルことを繰り返したものです。

「相手ゴールを目指して前を泳ぐ味方に後方からパスを送る場合、ボールを左前方(右利きの場合)に投げてやり、前を泳ぐプレーヤーはターン(Turn)して右手でボールを捉える」とあったのですが、プールで泳いでいる我々には「Turn」と言えばは折り返すことでしたから、前にボールを投げて貰って「折り返す」と、敵陣にボールだけが漂っている結果になってしまい、この場合の「Turn」は「ひっくり返る」で、ひっくりかえってボールを捉えると言うことが判るまで、冷たいプールの水の中で首を捻りながら繰り返し「引き返しを」続けたものでした。練習の効果があって 4 年の時(昭和 36 年)の「三商大戦」では、競泳で完全優勝に近いボロ勝ちした上に、水球でも永年の念願だった強敵一ツ橋を抑えて「完全優勝」することが出来て、観戦に来られた大勢の先輩と一緒に派手な祝杯を挙げさせて貰いましたが、先輩に連れて行って貰った「オカマバー(メケメケ)で呑みつけない高級なアルコールをご馳走になり、悪酔いして酔いつぶれてしまいました。

また、何年前でしたか、NHK が取材してテレビ放映したので話題になったびわこ成蹊スポーツ大学の女子水球部が、常勝の日本女子体育大学水球部を抑えて全国優勝を目指すため、女子チームでありながら関西学生水球リーグに参加することになり、神戸大学はその年のシーズン初戦にこともあろうにそのびわこ成蹊スポーツ大学女子水泳部と戦うことにな

りました。シーズン初戦なのでオールド OB のわたしも観戦させて貰おうと、寝不足ながら大阪府立大学のプールへ行きました。選手の頭数を揃えるのに苦労する当方とは違い、身体つきは中学生かとも見える小柄な選手も居ましたが、選手の数も多く好く訓練された試合は女子チームに、考えもしなかった苦杯をなめさせられました。

試合の内容結果は兎も角として、初戦で女子チームに負けた神戸大学の選手諸君が「ニコニコ笑いながら(そのように見えた)水から上がって来た」のを見て、老OBのわたしは頭に血がのぼり、選手諸君に悪態の限りをついてスタンドへ駆け上がった途端に、意識が薄

れてひっくり返り、首の後ろをスタンドの階段に打ち付けました。意識はすぐに戻ったのでしつこく断ったのですが、水泳連盟の役員さんたちが救急車を呼んでしまい最寄りの救急病院へ運び込まれました。

検査の結果、子供の頃に木登りをした枝が折れて落下して首を打ち、傷めた頸骨の古傷が再発して手の指先などにシビレが残ってしまい、未だに年寄りの老化を促進してくれて居ます。

このような水球競技の思い出は、六甲台プールの冷たい水の記憶とともに、わたしの「タカラモノ」です。(駄文容赦)

—一心に残る 7 月 17 日—

S53 卒 酒井 正人 専門 背泳ぎ

卒業以来大切に手元に置いていた 4 年生の時の練習日誌。45 年も昔に書いたものである。今までも、そして今でも時々開いて懐かしむ。コロナ禍で途切れたとはいえ、今も週 3～4 日はフィットネスで泳いでいて、マスターズの大会にも参加している私は、いまだにその練習日誌を開いて参考にしている。

今の私があるのは、間違いなく泳友(とも)とともに切磋琢磨し、水泳に打ち込んだ日々があつてのことだ。短い 4 年間であつたが、勝負の厳しさ、敗北のくやしき、記録が伸びる喜び、そして勝った時の達成感。喜怒哀楽が凝縮された 4 年間であつた。

下は 4 年間の水泳人生で一番心に残っている「関西国公立」第 2 日の日誌である。引用したい。

7 月 17 日(日)曇り時々晴れ(大府大)

「神戸大は 800mリレーの前までで阪大と並んで 45 点で 3 位と接戦であつた。阪大に勝つこと、すなわち全国公出場権獲得ということで必死であつた。問題の 800mリレーは僕が 3 番手で・・・？最後は杉山、見事に阪大を押さえ 49 対 48 で全国大会へ男女とも 3 位で出場権獲得。バンザイ！！

帰りは難波の高島屋で祝杯。僕は大ジョッキで 3 杯も飲まされダウン。でも、今日は本当にいい 1 日であつた。

実は前年、神戸大は私と 2 回生の慈幸との個人参加であつた。悔しい思いを引きずりながら、くしくも団体出場を果たした阪大と合流させてもらい熊本へ向かつた。それが翌年はそ

の阪大をpushし、ついに男女そろっての団体出場。喜びはひとしおである。

二度と帰ってこない青春の日々、私はいつの間にか還暦を過ぎてしまった。でもあのころ

の熱い思いは、今でも私の心にあって時折顔をのぞかせる。

年齢は単なる数字だ。

・・・誰かが言っていたな。

月	スイングクラブ 7月16日 11:00~	クラブ	7:30~9:30 家庭教師
火	遊楽部 会系経営 B403	遊楽部系 物事 B301	クラブ
水	研習部	遊楽部系 物事 B303	クラブ
木	スイングクラブ 7月16日 11:00~	クラブ	7:30~9:30 家庭教師
金	研習部	遊楽部系 物事 B303	ゼミ
土		クラブ	クラブ

・今シーズンのクラブ目標
1 全国公立団体出場
2 関西インカレ1部昇格

・個人目標
- 100 背泳 長水路 1分10秒突破①
- 200 背泳 長水路 2分40秒突破 → 短水路 2分20秒突破②
- 全国公立入賞 → 優勝③

練習日誌
5月 5月~8月11日
1977年
神戸大学水泳部特
酒井正人

・50x8 フック
・50x8 フィル

↑ にまで 61分 3200m

ゼミの件
800 (1FIL4) , 100 Fr, 100 Ba 計 4200m

5月28日(土)
本日は記録会
200 Ba 100 Ba

50 35-25	50 37.4
100 1-15-3 (97.5)	100 1-23-0
150 1-54-8 (127.4)	
200 2-35-2 (60.4)	

5月29日(日)
10:00 ~ 凌泳総会
1:00 ~ 古林先生追悼ピクニック 4時終了

参加OB数 19名 会長 小山(和), 副会長 山田(尚)

Asahi 田口 選手と話をした。
- 泳スイングの泳ビフィルをよ(めて)感じもつかぬところが大切

【会員寄稿】

「関東凌泳会懇親ゴルフ会」

武政英幸・昭 39(1964)

1. はじまり

関東凌泳会の会合で、ゴルフ会を始めようという話がまとまり、小山賢之助さん(1932 卒)のホームコースだった青梅ゴルフ倶楽部でスタートしました。第1回(1989 年)幹事役は鈴木正弥さん(1964 年卒)が努めました。小山さんはマスターズ水泳でも先駆者で、海外の世界マスターズ水泳大会(ブリスベン、1988 年)にも出場されています。

2. 開催ゴルフ場

第3回までは青梅ゴルフ倶楽部、その後、2 年続けて厚木国際 CC、勝田 GC、厚木国際 GC、扶桑 GC、平塚富士見 CC を経て、第 10 回からは入間 CC に移り昨年で 58 回開催してきました。当初は年 1 回でしたが、入間 CC に定着してからは年 2 回となりました。

3. 参加者など

これまでの参加者は 32 名(1932～1985 年卒)。仕事の現役が参加しやすいようにと、土日開催でしたが、リタイア組が多数になったことから、平日開催に移行、今日に至っています。組数は 2～3 組です。会費はダブルペリア方式の順位賞と全ショートホールニアピン賞に充当しています。入間 CC になってからの幹事は、ここを職場としていたことから、私が努めてきました。

4. これから

楽しくラウンドを重ねてきましたが、参加者の平均年齢が 80 才超となり先行きが危ぶまれています。ゴルフを楽しんでおられる関東在住の皆さん、皆さんのホームコースで、お好きなやり方でコンペを引継いで下さいませんか？期待しております。

幹事:武政英幸(1964 年卒)

2022 水球関西リーグ観戦記

西澤 翔・平 21(2009)

ライブイベントや海上勤務が重なり、5,6 年ぶりにリーグ戦を観戦に行くことができました。

丁度その日、7/9、インカレの決まった試合の日。感動のあまり筆をとらざるを得ません。思えば、自分たちが現役の頃、故・佐藤一夫先輩(昭・30)が毎回襟シャツで観戦に来て下

さり、凌泳メールでの感想やお言葉を頂き嬉しかったのが懐かしく、受け継ぐというとおこがましいですが、今回は筆が進みそうなので、観戦レビューを投稿させていただきます。

7/9(土)観戦レビュー

・vs 公立大(旧市立大) 5-4 勝利

練習試合や先の試合では負け続けていたとの事。相手は4回戦が6人。そのチームワークが強いと前情報。始まってみるとボールキープ率70%。戦えてるよ！頑張れ！！3回夏の先制点バーシュート。渋い！！これはキーパー泣く！幸先良い！個人技やフロッターにやられるも、カウンターや愚直に泳ぐプレー、こちらの連携も決まり終始リードペース。

チーム力で勝ってる！！勝利！！

公立大監督は現役時代から散々泣かされた市大同期の川上翔くん。幹部学年時は負けているつもりは無いのに結果はどうしても及ばず、10何年ぶりに溜飲が下がりました。笑

試合後、「ウチが勝たせてもらったね」と彼に伝えると、「オレが現役の時負けてへんかな！」と悔しそうに。後輩たち、ありがとう！

・vs 立命館 7-7、5ペ4-2 勝利

今年の相手の戦力は未知とのこと。

しかし神大も強い。選手、マネさん、1回生(8人!)のチームワーク、雰囲気も抜群。後輩たちの強さを信じるもフタを開けると、ん??個人技の光る相手選手、狙い済ましたかのような全力カウンター、15年前に味わった立命の伝家の宝刀?懐かしい左上のスクリーン多用、洗練された退水ゾーンのパス回し。現役当時の憧れとトラウマ(?)を思い出す。1,2点のビハインドを必死に食らいつく神大。神大最良の色眼鏡抜きにしても向こうが格上感あり。パス回しでも余裕を見せつけられ、あっさり点をとられる場面もあったが、カウンターで愚直に泳ぎ、ハーフで時間がなくなっても必ず誰かがドライブでカットイン。いつか憧れたようなチーム。食らいつく神大は退誘発が上手い！ビハインドながら2点差以上には離されず食ら

いつき続け2人を永退に追い込む！チャンス！相手には明らかに格上な個人技の光る選手が居るが、バックの4回六川は決して点を与えず安定感を見せる。そして後ろからでもカウンター、場が止まれば自らカットイン！彼は攻める力も十分あるが、チームのバランスをとる姿勢に感動。同期の司馬くんを思い出し懐かしい。君が各校エースに1点もとられなかったのに僕たちが点を取れずにロースコアでよく負けましたね、、、涙

今の神大はなんと粒ぞろいか。

競泳すら初心者から始めた4回向山も得点には結びつかないながら攻守の切り替えの素早さが光る。カウンターで奥まで相手を引っ張る、掴まれても諦めずに泳いで退水誘発。こういうひとつひとつの積み重ねが勝利を引き寄せる。記録に残らない感動のプレー！主任4回谷垣も直前に中指骨折?するも試合には無事出場。シーズン前に鼓膜破ったりコンタクトつけっぱなしで網膜剥離を起こした先輩を思い出す。出場できて良かった！バーゲンセールかのように経験者が増える昨今、彼も水球初心者組だが鋭いドライブ、カウンターからの右同サイ相手を背負いながらのフックシュートには感動した。(残念ながら幻となったが)

3回エース新保の俊敏さ、1対1カットイン切り返しバックからの鮮やかなハンツーは2006年関西ベスト7の井口先輩を彷彿させて胸が熱い。先制点に続き、流れの悪かった3ピリにも濱田からのジャストパスでまたハンツー！流れを引き寄せる。3回サウスポー濱田の同サイバウンドシュート決定率100%ハットトリックは恐るべし。退水ゾーンはもう全部濱田くんフィニッシュでいいんじゃない、、、この15年、

サウスポーと言えば鳥羽校出身されど剣道部しかも GK の 2010 卒井上くん、廃部目前期に奮闘してくれた孤独なエース 2015 卒新見くん、そして黄金期創設の立役者&競泳経験者しかしまたまた GK の 2019 卒須波くんしか見てなかったので、活躍するサウスポーフィールドーに感動。(ちょっと笑い話)

初心者組の 4 回生 2 人と交代で入る茨高出身 1 回 2 人の大星くん川崎くんも大学水球なんのその、アグレッシブなプレーで大活躍。このルーキー 2 人が居なければ間違いなくここまで戦えなかっただろう。要所で光るプレイを連発。しばらく神大へは音沙汰のなかった茨高勢、平成初期のような連続インカレ出場黄金時代再来に期待。

ビハインドを追いかけ続け、ラスト 10 秒、1 点負けてる、絶妙こしかないというタイムアウト。GK 浅野もフィールドーで前に入る。

一瞬。気づいたら試合終了のブザーブザー。4 回六川の放ったミドルシュートがハンドアップにかするも、スルスルスル、、、入った！同点！！ブザー後だったか、前だったかの判定のトラウマ。自分の 4 回関西リーグで同期嶋多の放った vs 高専シュートの同点シュートが判定でブザー後に、1 点差負けのトラウマ、13 年ぶりの払しょく。ゴール判定で良かった。2019 年ラスト 1 秒で 1 部残留を決める感動の勝利を引き寄せたブザービーター恋水君が応援席に居たことも 1mm くらい関係していると思います。長くなってます、すみません。

そして 5 ペ決定戦へ。昨シーズン、2 回生で途中入部、正式レギュラーシーズン初の 3 回生 GK 浅野が 3 本目を好セーブ！！彼のガッ

ツポーズにまた感動。わずか 1 年にして間違いなく神大の守護神。4 本目を持ち前の肩幅の気迫？で枠外誘発！！

選手もきっちり決めきり、勝利！！

インカレ出場決定！応援席総立ちでした！保護者の方も涙されていました。

と、見えることばかり書いてきましたが、

島津監督の日頃の指導や采配、4 回マネの野中の笛力、貢献、マネ活動あってこそ。また姉さんを追いかける 2 回マネ鶴沢、牛尾、1 回マネ久保田窪田の日々の努力も。。。選手の発奮や日頃の SNS、ブログ更新、試合のインスタライブ、そういった心意気が人の集まる強いチームの柱になっていることでしょう。

また勝ち切る、勝ちを引き寄せる、この雰囲気はこのシーズンに向けて練り上げてきた 2-4 回生、昨今の卒業生の賜物だと思います。みっちー、ともや、かわひろ、1 回生たちも良い経験をしたね！自分の中で盛り上がりすぎて切りどころが難しいので、ここらで締めます。

思い込みと偏見と後輩バカの色眼鏡にまみれた自己満足記録でしたが、お付き合いいただきありがとうございます。

添付写真は立命館戦勝利後、金監督、現役、保護者&OB と撮影。



2022 水球インカレ観戦記

西澤 翔・平21(2009)

後輩諸君、絶望も乗り越すほどの芸術にも似た水球を体感しましたね。一流を味わったことがあるという経験は大きいです。試合後に悔しかった、と聞いて感動しました。開き続ける点差に「あんなに練習したのに…」と勝手に泣きそうになっていましたすみません。皆メンタル強いですね。更なる成長を期待しております。凌泳の皆様、時代の進歩はすごいです。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、今はアーカイブ配信なるもので、インカレの試合がご覧いただけます。

<https://www.univas.jp/article/366133/>

2022年8月30日日体 vs 神大 28:10～、ハーフ再開後、3回夏目が王者日体からもぎ取る1点を是非ご覧ください。圧倒的なDF力に神大はパスコースを防がれ、オーバーの無理パスを強いられる展開が続いておりました。これほどの差があるのかと、悔しさに選手やベンチの心中如何にと拳を握り締める中、針の糸を通すような連携で1点をもぎ取りました。「いけいけー！」と「やったー！」の掛け声は我らが金監督、ばっちり収録されています。笑ガウンを着た神大水球面は史上初でしょうか？競泳は2009年に着ていましたね。映像の記録にも残り、選手紹介もある大きな晴れ舞台に後輩たちが立ってくれていることが誇らしいです。特に野球やサッカーなど人を応援する趣味の無い人生でしたが、躍進する後輩たちを応援する人生も乙だなと、凌泳歴13年の若輩者ながら感じた次第です。



コロナ渦が続きますが、形は選びながらも、皆様と交流できる日を心待ちにしております。

応援されるチーム

玉川智嗣・平 28

2016 年卒の玉川智嗣です。

自己紹介をすると、2012 年に入部してバタフライを専門種目にしていました。また競泳主任を 2 年間務めていました。

現在は社会人として丸 7 年働いて 8 年目に突入するところですが、仕事に慣れてきた 3 年目のときにレース前の緊張感をまた味わいたいといった気持ちが芽生え始め、2018 年秋頃から京都を拠点に活動している IBIS(アイビス)というチームに入りました。

隙間時間で練習しながら今でも日水連・マスターズの試合に出場しています。

仕事やモチベーションの都合で練習頻度に波はありますが生涯ベストの更新を目標に頑張っています。

また仲間にも恵まれリレーを泳ぐ機会も多く、日本社会人選手権で 2 年連続決勝進出、日本マスターズ優勝など実績を残すことができました。

また直近では 119 歳以下区分男子 4×100m メドレーリレーで世界新記録を樹立することができました。この寄稿文とは別で世界新記録樹立のことを書いていますのでぜひご覧ください。

今回西澤先輩より寄稿の機会をいただきましたが、「個人のことだけでなくチーム紹介等も是非に」とお言葉いただきましたので、ここではチームのことを書いていこうと思います。

私の所属する IBIS は 2011 年に立ち上げられた京都を拠点に活動しているチームです。

「水泳を縁として出会った仲間を大切に、水泳を楽しみ、各々の環境の中で自分の限界に挑戦し続ける集団であること。そして社会人チームとしての誇りを持ち、京都水泳界や若手スイマーの見本となれる集団であること。」を心得として掲げています。

チーム名 IBIS の由来ですが、IBIS は鳥のトキを表していて、英名で Japanese Crested IBIS と表現されることから IBIS になりました。

創設者でチームの会長である河合東人さんが京都の高校から新潟医療福祉大学に進学されて水泳をしていたことから、第二の故郷である新潟への想いを込めてチーム名にトキを採用されています。

またトキは絶滅後に中国から親鳥の提供を受けて佐渡島で少しずつ増え続けている生き物ですが、これにちなんで IBIS がきっかけとなってマスターズスイマーを増やしていくこと、活動環境がなく困っているスイマーが活躍できる場を増やしていくことなど、トキと同じように輪を広げていくことも意味しています。

メンバーの勧誘等は一切せず、主に京都に所縁のある人たちが自らの意思で紹介を通じて入っています。元々は社会人チームとして日水連やマスターズの試合に出場していたのですが、今では大学生や高校生もメンバーにいますし、陸上競技出身者もいることから陸上のマスターズの試合に出場しているメンバーもいるなど、総勢 40 名を超えるちよっぴり変わった大所帯のチームになりました。

決まった練習日時や場所はなく、あくまで各々の拠点で練習を行っていますが、こまめに連絡を取り合ってモチベーションを高め、時には合同練習も行いながら日々競技力を高めています。また全員がフルで活動に参加しているということではなく、ライフステージやモチベーションに合わせて各々のペースで活動しています。それでも活動方針を十分に理解・実践し、それぞれ頑張っていることを全力で応援し合える深い絆で結ばれたチームだと感じています。

Youtubeで「swim Team IBIS」と検索すればレース動画を観ることができます。またInstagramで「team_ibis」と検索すれば活動の様子を見ることができますので、ぜひチャンネル登録やフォローしていただくと嬉しいです。

長くなりましたが、以上がチーム紹介になります。

このチームに入って感じたことが、「確固たる理念があり、トップがその意義を発信・行動し続け、そして全員が当たり前実践することで、周りから応援されるチームになっている」と

いうことです。文字に起こすと普通ですが、例えば実践のところでは、試合会場に行けば役員の方々にきちんと挨拶をする、後片付けやゴミ拾いを率先して行う、全力で仲間や他チームを応援するなど、毎日顔を合わせる環境にない社会人主体のチームでこれを体現できているチームはほとんどいない印象です。

これを地道に続けていると「IBISさん頑張ってるね」「IBISと一緒に泳ぎたい」など知らない人からも声をかけてもらえる機会が増えて、チームに誇りを持ってモチベーション高く活動できるようになりました。

現役のみなさんに伝えられることがあるとすれば、今一度「応援されるチームとはなんだろう?」「応援されるにはどうしたらいいのか?」「応援されるチームになるとどんなことがあるのか?」を考えてみてほしいです。

ぜひ最高のチームを作り上げたみなさんと練習やどこかの試合で一緒に泳げることがあれば嬉しいなと思っていますので、今後ともよろしくお願いいいたします。

【お便り掲示板2023】

井口靖之・平19 (2007)

2023年現在マレーシア赴任中の2007年(平成19年)卒の井口です。

100周年おめでとうございます。

同回の仲間も日本各地どころか海外にも散らばりなかなか定期的集まることも難しい所ですが、たまーに集まったり個々に遊んだりと未だにつながっているのはありがたいなと思います。

現役のみなさんもタフな経験、バカ話をして笑える時間を共有出来る仲間と時間を過ごすことで人間的な成長や生涯繋がる仲間(含む先輩や後輩)が出来ると良いなと思います。

西澤翔・平21 (2009)

13年間の乗船勤務を終え、神奈川県秦野市でリモートサラリーマンをしながら家庭菜園に勤んでおります。最近、現役体重+10kgを突破してしまい、息子2人と同じスイミングクラブに勢いで入会しました。コーチは日本女子体育大学卒の方で「ターンが雑!」「プル開いてる!」など愛溢れる指導とドSなメニューに浮足立ちながら週3回2000mを泳いでおります(まだ1週目ですが)。

月見の宴が再開された際には競泳の部にOBエントリーするのでよろしく願います。目指せ生涯ベスト半フリ28.5秒更新!

皆さん、一緒に各地で青春再燃しませんか? 10年前の高知黒潮アリーナ半フリ対決のリベンジ待ってるよ2007年競泳主任の土方君!

須波涼・平31 (2019)

2019年卒 須波です。

コロナも明けてきて、本格的に活動できるようになってきたかと思います。皆さんが思い思いの4年間を過ごせるよう、応援しています!

頑張ってください!

宮川侑佳・平31 (2019)

六甲台プールが懐かしいです~

目標達成してね! 応援しています!

島津大地・令2 (2020)

2020年卒の島津です。

現在は兵庫県スポーツ協会というところで働いています。現在でも、仕事とは別で色々な形で水球に関わっています(こんなに水球から離れない人生になるとは…)。

2023年卒の学生が卒業することにより、現役時代に私の代と被っている学生はいなくなります。私は兵庫に住んでいて、学生とも会う機会が多いので、もちろん現役の顔と名前も一致します。しかし、同期は顔も名前もあまり分からない現役ばかりになり、顔も出しにくいなという話を聞きます。過去の先輩方をみると、卒業して4・5年経ってから顔を見なくなった先輩が多いような気がします。

人が離れていくのは悲しいので、月1とは言いませんが、年に1回・数年に1回くらいは会う機会があるといいなと思っています。月見の宴や全神戸大学で水球も大会に出ているので、

可能なときに参加してもらえると嬉しいです
(大会後の飲み会だけでもいいです笑)。

その時の現役へのお願いです。知らない
OBOGさんはなかなか話にくいと思いますが、
来てくれたときはチャンスです。自分たちを応援
したいと思えるような振る舞いをして、ファン
を増やしていきましょう。詳しくはまた話しまし
ょう。

お便りという名の最近の思うことを書くような
形となりました。私自身もニュースになるような
お便りを書ければ良いのですが、今のところあ
りません。またいつか何か報告できればなと思
います。

最後になりましたが、皆さまのご多幸をお祈
りし、私のお便りとさせていただきます。現役の皆さ
ん、目標に向けてがんばってください！

戀水修平・令2 (2020)

お疲れ様です。今年も高い目標を掲げている
と思います。でも超えられない壁では決して
ないと思うし、奇跡も何回も起こしてきた、見て
きた代やと思うので今年も仰天の奇跡見せて
ください！

頑張ってください！

奥村拓也・令4 (2022)

求めることは二つです
またインカレ出場してください
黄金期を作り上げてください
また練習行きます

伊藤駿・令4 (2022)

向上心の塊のみんなは見てて楽しいです。
今年もインカレ期待しています！

五十嵐野恵・令4 (2022)

お疲れ様です。

毎週インスタで部活の様子見るの、楽しま
せてもらってます。今年はさらに集まる機会も
増えるかな??写真いっぱい撮って、みんな
で思いっきり水泳をやるチャンスを、ぜひと
も謳歌してください！

今まで必死に貯めてきた努力、絶対的自信
に変えれたらもうきつと無敵！

勤務地コロコロ変えながら応援してます。

ふぁいと！

大山凌太郎・令4 (2022)

現役の皆さん

部活に顔を出せていませんが、試合のタイ
ムや練習風景を SNS で拝見しております。

合宿もあったようですし、冬の間につけた力
をシーズンで存分に発揮してください。有観客
であれば是非観戦しに行きたいと思います。

チーム「全神戸大学」水球面活動記録（2022年4月～ 2023年3月）

公式記録ではございませんが、近年活発な凌泳会水球面の活動記録を掲載いたします。

全神戸大学水球面、略して「全神大」は 2020年、日水連に正式登録を果たしました。

黄金時代を築き上げつつあった現役メンバーは紅白戦が出来るほどに増えており、ベンチや初心者組にも試合経験をさせてあげたい、雑務、キャプテンの立場やマネジメントを任せることにより成長して欲しい、という理由のもと、OB と合同チームを組み様々な大会に出場しました。

チーム名候補は六甲会、凌泳会、チームガンジーなど色々ありましたが、当時の参加メンバーの投票で「全神戸大学」になったと記憶しています。

生涯スポーツとして、繋がるコミュニティとして、これからも水球を共に楽しみ、活動し続けられることを願っています。

主な活動記録

*○数字←OB 何年目か/ 参加者

2020年1月なみはやカップ

現役：大1：向山、大4：島津、戀水、椿、井岡、① 宮川(MG)、坪井、須波(応援)、④河本、⑩西澤

2020年11月秋季兵庫県選手権

全神大 A,B で出場(全神大正式登録)
大4：小林、角田、牧野 ①島津、大田原、恋水 ②坪井 ⑤河本 ⑫司馬、西澤 ⑬宮崎

2021年11月秋季兵庫県選手権

大4：伊藤、大杉、奥村(GK)、工藤、柳原 ①

西澤翔・平21(2009)

小林(MG) ②大田原、島津、椿 ③坪井 ⑤中野 ⑥河本 ⑬司馬 ⑭宮崎

2022年5月春季兵庫県選手権

1 回戦敗退(詳細後述)

2022年8月神大-全神大交流戦

@ポアイ(詳細後述)

2022年11月秋季兵庫県選手権

優勝！(詳細後述)

2023年1月なみはや冬季カップ 3位

大4：向山、六川、野中(MG) ①：工藤、大杉、奥村(GK)、伊藤 ②小林(MG) ③恋水、島津 ⑦河本 ⑩(菅原)

2022.5.28 春季兵庫県選手権 参戦記

決勝までいけば神大現役と戦える！と OB1年目勢 5人と意気込んだ大会であった。

しかし謎のシード位置に配されたトーナメントであったため、1回戦敗退にてたった1試合で終わってしまいなんとも不完全燃焼な大会であった。

月見の宴が台風・感染症で 2017年依頼 5年も開催されていない中、現役との紅白戦を夢見て、夜の飲み会にて再奮起する全神大であった。(想像で書いています。)

記：西澤・平21(2009)

7ヶ月の海上勤務から下船後 1週間で臨んだ大会であり、OB 2年目の角田さんと一緒に溺れていた。家族連れで参戦したが、開始 1分で退水し、3才息子に「パパ笛ピー！吹か

れて怒られとったねえ」とのコメントを貰い、練習再開の決意をした。

全神戸大学	
監督	小林 和奏
1	奥村 拓也
2	○ 西澤 翔
3	コイ水 修平
4	島津 大地
5	伊藤 駿
6	大杉 玲央
7	工藤 湊一朗
8	柳原 健人



得点者 大杉 3 恋水 2 伊藤 1 工藤 1
西澤 1 向山 1



2022.11.13 秋季兵庫県選手権@優勝！！

(記録:小林・野中)

全神大 2-4 滝川クラブ

得点者 大杉 1 谷垣 1

全神大 4-3 トリトン

得点者 大杉 2 西澤 1 向山 1

Ⓜ谷垣永退

全神大 10-0 姫路工高

得点者 向山 2 六川 2 谷垣2 恋水 1

奥村 1 伊藤 1 工藤 1

Ⓜ奥村公式戦初得点

全神大 1-0 尼北 A

得点者 大杉 1 →リーグ 1 位通過

全神大 2-2 神戸大学 5 ペ(7-6)

得点者 六川 2 (大杉 3 向山 2 六川 2)

→決勝戦

ヘルメス || 2 | 2 | 2 | 1 || 7 ||

全神大 || 2 | 0 | 4 | 3 || 9 ||



決勝戦
人生初の整列入場
(by西澤)



大活躍の凌泳0回生(大4)
全神大の今後をよろしくです

神大-全神大 交流戦@ポートアイランドプール (2022.8.13)

現役の皆さん、企画、調整ありがとうございました。久々の機会に笑顔が溢れました。



参加会員 S53 酒
井 S56 上田 H6 木
村 H9 諫山 H15 福
井 H17 中井 H18
岡 H20 宮崎,松浦
H21 西澤 H28 河
本 H29 李 H31 坪
井,宮川 R2 井岡,
戀水,島津,大田原
R3 角田,小林 R1
伊藤、大杉、奥村、
工藤、斎藤、柳原





2022 秋季兵庫県選手権

奥村 拓也・令4(2022)



22年卒の奥村拓也と申します。

2022年11月13日に行われた兵庫県戦で全神大(OB チーム)は一般の部で優勝しました。

この日集まったのは選手9人マネージャー2人の11人。OB0年目4人、1年目4人、和奏さんと戀水さん、そして大先輩の西澤さんというメンバーでした。一週間前まで現役バリバリの翔希をキャプテンに据えて、みんなやる気バッチリでした。特にOB1年目の同期は前夜から勝負師の勘を研ぎ澄ますべく、徹夜麻雀明けでの参加でした。

大会は予選とトーナメントに分かれており、予選の順位によっては上位と下位のトーナメントに分かれて順位を決定するという流れでした。

OBチームは危なげなく予選を4戦3勝で一位通過し、迎えた準決勝。相手はなんと神戸

大学の現役チーム。お互い弱点を知り尽くしたメンバー同士の戦いになりました。

もちろん練習を積んだ現役チームの方が実力は上なのですが、短期決戦では実力以上の技術が光ります。

一進一退を繰り返し、5分2ピリオドは差がつかずペナルティシュート決戦へ。

7回まで及んだ決戦はOBの勝ち！見事、決勝進出を決めました。OB戦を綺麗なプールでさせてもらい嬉しい限りでした。

決勝はつよつよおじさんチームのヘルメス。現役時も何度も苦い経験を味わった相手です。準決勝でヘトヘトになった僕たちにとって、正直勝機は薄いと感じていました。

ただ試合が始まって見ると意外と動ける！シュートが入る！1ピリオドを同点で切り返します。2ピリオドで離されますが、3ピリオドですぐに追いつく展開。同点で最終4ピリオドを迎え、

相手の攻めを間一髪で止め反撃！勝ち越し、ダメ押しの点数が入り、、、見事優勝を勝ち取りました。

この試合最も活躍したのは私キーパーの奥村でした。(これを書いている理由です笑)

多くの人に現役時代含め一番シュートを止めていた試合だったと言われる始末。ただもちろん何点も防いだ分、7点も許しました。やはり勝因は攻撃陣の途切れのない攻めでした。

この試合の得点者は大杉 3 戀水 2 伊藤 1 工藤 1 西澤 1 向山 1 と、みんなで攻めたこと

がわかると思います。みんな活躍した上で決めた優勝だったのでとても嬉しかったです。

大会がある度に、こうして集まってチームを組めるのは本当に楽しく、負けても同窓会のような気持ちなので良いですね。

私は院で修士課程に所属しており、今年一年は OB チームに貢献できそうです。諸先輩方、是非とも今までで最も強い僕をまた見に来てくださいね。そしてともに水球を楽しみましょう。

2023.1.14-15

なみはや冬季カップ

(記録: 小林、野中)

予選トーナメント①

全神大-なみはや 不戦勝

予選トーナメント②

全神大 1-0 京大 六川 1

1 位リーグ①

全神大 0-1 松任水球クラブ

1 位リーグ②くじ引きの結果勝利

全神大 2-2 立命館 大杉 1 菅沼 1

3 位決定戦 6 分×4 ピリ

全神大 || 0 | 4 | 4 | 4 || 12

乙訓ク || 4 | 3 | 1 | 3 || 11

大杉 5 島津 3 菅沼 2 向山 1 奥村 1?

ラッキーで 3 位になりました 🍀 笑

2 日間お疲れ様でした！



神戸大学ポロの始まり

凌泳メーリングリスト 2022.9.1～ 9.15 分より転載

2022.9.1 井上隆史・昭37 (1962)

谷垣さん

インカレではお疲れ様でした。

試合前、対戦相手が悪いので前田和秀君と「1点を入れて欲しいなあ」と雑談していましたが、大差の敗戦でした。

ただ、1点を得点したので、これは明日に繋がりますね。

神戸大学でポロを何時頃から始めたか定かではありませんが、6拾数年前の私の学生時代に、東大の選手が翻訳したノートを入手したので、合宿中に転記しながら勉強していたのを思い出しました。

気の遠くなる年月が経過して、日体大と対戦するまでになったと言うことですね。

(昔、日体大の横浜のプールで対戦した気もしますが、、、) 国立大学では他に筑波、名古屋、広島(不戦敗)4校出場でしたから、良くやったと言うべきでしょうね。

試合の最終映像を添付しますので、年月は問わないので、対等に戦えるように精進して貰いたいと思います。

2022.9.3 上村久治・昭35 (1960)

先日、井上君のメールに、「神戸大学でポロを何時頃から始めたか定かではありませんが・・・とあったので、私の記憶を記します。あれは確か昭和33年のことです。(私は3回生)

それまでわが水泳部は、競泳の練習が終わってから、「3商大戦に備えて水球もやらなくては」として、競泳の傍ら少しだけ水球も練習

する程度だった。一橋は競泳と水球の選手は別だったかもしれず、常に楽勝でした。

このシーズンから慶応 OB の「浜中さん」(名前は?。野田君に聞けばわかる筈)にコーチをお願いすることになった。

浜中さんから、水球競技のイロハから教えてもらったが、驚いたのは浜中さんが立ち泳ぎされると臍下のかかなりのところまで水面の上に出ることでした。

それ以来、私達は、両手でビート板を頭上に支え、アップアップするまで苦しい立ち泳ぎの練習を随分しました。

浜中さんに来ていただいた時が「神戸大学の水球のはじめ」と言えるかもしれません。少なくとも本気になったのはこれ以降でしょう。

皆さんは、当然分かっていることなのでしょうが、自らパスやシュートするにも、敵のパスやシュートを防ぐにも、この差が結果に直結しますね。

苦しいけれど、先ずこの練習が大切だと思います。

2022.9.3 上田剛弘・昭56 (1981)

上村先輩、井上先輩

昭和56年卒の上田です。

水球の歴史を教えていただき、ありがとうございます。昭和33年が目に入り、何と私が生まれる前の年の話と知り、伝統の重み、大切さを噛み締めさせていただきました。

ちょうど明日、凌泳会100周年記念大会実行委員会を開きますので、このお話は何らか

の形で残させていただきたく、長谷川会長、酒井委員長と相談させていただきます。

また、これ以外にも、その頃のお話がありましたら、是非お教えいただければ幸いです。

2022.9.3 21:03 上村久治・昭35 (1960)

上田様

年寄りの繰り言でもお役に立てて幸いです。

ついでに、古い話を加えると、凌泳会のシンボルマークである河童のデザインは、当時の水泳部長であった「古林喜楽先生」のデザインで、今も皆に愛されているのです。

実は、何年か前に倶楽部の資金確保のため作成された、そのマークが入ったTシャツを当時購入したものの、着てゆくところがなく筆筒の肥やしになっていたのですが、30日の大会の折に漸く着る機会がありました。

改めてみるとこのマークは愛くるしくて素晴らしいものですね。

2022.9.3 上田剛弘・昭56 (1981)

上村先輩

ご返信ありがとうございます。

小林喜楽先生は私の在学中に亡くなられ、送別会が開かれました。その際、先生の教え子であるミュンヘンオリンピックの金メダリスト田口信孝さんが来られてお話しさせていただいた事は一生の思い出となっています。

また、河童のマークは私の時代は、Tシャツユニフォームの背中にプリントされていたので、よく覚えています。

他にも、思い出話は大好きですので、いつでもご投稿いただければ幸いです。

2022.9.4 岡見晴児・昭33 (1958)

上村さん お久しぶりです。お元気なご様子で何よりです。メールで神戸大ポロの創生の話題を見てとても懐かしく、思わず筆を執る(?)次第です。小生の記憶ではお名前は浜中さん(?)とありますが、「植中」さんだっと思います。初めて指導を仰いだのは昭和29年六甲プールでした。当時私は1回生でポロではバックスでした。自由形の選手はフォワード、平泳ぎはキーパー、その他はバックスというポジションを与えられ球技という認識は誰も持ち合わせていなかったようにおもいます。練習初日に植中さんは私をセンターフォワードに指名されたのです。びっくりしました。私は高校バスケの強豪校にいて、部員ではなかったもののクラス対抗戦の常連で見様見真似でハンドリングやパスワークを覚えていたでしょう。まあ要するに当時の神大の実力はその程度だったのです。今思い出しても笑ってしまうようなことです

くどくど書きましたがご参考になれば幸いです。

2022.9.6 佐敷定雄・昭49 (1974)

上田さん

実行委員会ご苦労様です。

栄川先輩・井上先輩・上村先輩・岡見先輩のメールで、懐かしい話を頂きました。

すべての内容に私は拘っているようです。

私が古林喜楽先生の棺を同年配の田口君と二人で担ぎました。

山田幸雄先生の棺も担ぎました。

水球の指導では、知り合いの【峰岸】さんに金君時代に指導してもらいました。

彼はミュンヘンオリンピックの水球日本代表チームの主将でした。慶應大学水球部出身です。

当時私は三菱商事水泳部の実業団チームの泳法指導兼実業団部員として拘っておりました。夙川に住んでおられたので、神戸大学の水球をみてくれと問いかけると、すぐに承諾してくれ、プールに来てくれました。基本を正確に習得する水泳部の面々に好感を持って頂きました。

数回で明らかに上達したのを感じました。

人との繋がりは大事ですね。

児童マークの T シャツは私が資金集めで作りました。

当時三共生興に勤務されていた宮部さんに、デザイン部の敏腕女性を紹介して頂き

児童マークの金型が部室にあったので、それを使ってもらい、上等なクリーム色の生地とデザインをして原価で作って頂きました。大好評でしたよ。

今月 28 日から大阪でジャパンマスターズが始まります。マスターズ協会が

発起人は大崎会長・北村五良さん・小山さんですよ。

時間が有れば大阪で会いたいね。

2022.9.6 上田剛弘・昭56 (1981)

佐敷先輩

ありがとうございます。

本当に諸先輩から、こんなに沢山の逸話の数々を教えていただき、神大水泳部の歴史の重さをヒシヒシと感じています。

やはり 100 周年と言う節目には、何らかの仕切りをしないとイケないと痛感します。

今回の実行委員会は 11 月 20 日(日)10 時からです。もしご都合が合えば、ご参加いただき、現役生にもこの方があの佐敷先輩だと胸を張ってご紹介できます。長谷川会長も出席されますので、終了後、一席設けたいですね。

2022.9.6 野田浩志・昭36 (1961)

岡田さん

乱雑ですが必要なところを読み取ってください

野田浩志

2022.9.7 岡田重義・昭37 (1962)

野田さん

メールを転送いただき、今年のインカレ出場を決めた神戸大学水泳部ポロチームが、凌泳会会員間で話題になって居る様子を知りました。

凌泳100年史や先輩方からも神戸大学水泳部が、KRAC(神戸外人クラブ)と、神戸市灘の海岸でポロの試合をしていたとの歴史を聞いていましたが、今回転送頂いた文中には「植中耕一さん」の名前が無かったので、植中さんに関しての記憶に残っていることを下記してみます。

1) 植中 耕一さんは7回生の宇賀史郎さんが豊中高校の先輩(?)で、昭和 34 年当時の大阪梅田ビル(現在の大阪阪神百貨店南隣)オーナーだった植中さんに水球(当時はポロとは言わなかった)指導を頼みに行かれた

2) 慶応大学在学中にメルボルンオリンピック日本代表チームのゴールキーパーだった植中さんは宇賀さんの要請を聞き入れて六甲台

プールへ指導に来て頂く(当時でもハイカラな英国製の白いヒルマンを駆って)ようになった

3) 昭和34年当時の神戸大学水泳部は、六甲台プールを進駐軍に接収されていた間は、松陰女学校の飛び込みプールを借りて練習していたが、接収解除されてからは六甲台プールで水球練習を再開した

4) 昭和34年当時は8回生が最上級生だったが、9回生は、酒井、野田さんの2人だったが姫路分校在籍だったので、六甲台プールでの練習には合宿の時にしか参加できなかった

5) それまでは「水中の格闘技」だからと想像もつかなかった、パス、ドリブル、フォーメーションなどのポロ技術を植中さんから指導を受けた

6) その頃の大阪市立大学はプールを持たなかったため、三商大戦は大阪扇町プールの飛び込み用プールで行われていたが、昭和36年には勝てなかった一橋大学にも競泳、ポロ共に優勝して、久し振りに完全優勝することができ、全員が夙川のご自宅へ招いて貰い、美しい奥さんから分厚いビフテキをご馳走になった

細かい記憶は沢山ありますが、お世話になった植中さんのご葬儀に参列させて頂いたのが、わたしの小さい[恩返し]でした。

10回生 岡田

2022.9.15 米田啓祐・昭37 (1962)

メールで岡田重義さんが、ポロのことや植中さんのことをくわしく報告してくれたのでなつかしく読みました。特に岡田さんの文章の《6》

で、昭和36年に一橋に水泳もポロも勝って、完全優勝だったこと、夙川の植中さん宅にみんなよばれたことなどうれしく思いました。

その年は、植中さんは春の伊豆半島にある峰温泉での合宿にもお見えになり、春からコーチを受けました。その時みんなで記念写真を撮りました。凌泳会マスターズのホームページ「河童天国」にありましたので、植中さんの姿を思いだしていただきたく、ここに転載します。



昭和36年春 静岡県峰温泉合宿

2022.9.15 山田貴彦・昭37 (1962)

米田啓佑さん、
懐かしい写真ありがとう。

河童十国の由来となった、同期十名全員が揃った写真は、もしかするとこれ1枚しかないかも。

我々にも、こんな青春時代があったのだなと、とても嬉しくなりました。

故人となった太田 斉君を除く9名の諸兄、
まだまだ元気に頑張ろうぜ！

水しぶき 昭和は遠く なりにけり
山田貴彦

【卒部の辞】

松阪 竜希 理学部・Fly・元主将



引退から4かけ月ほど経ち水泳部での活動が懐かしく感じるほどには水泳から遠ざかる生活を送っております。あのときの熱狂をもう感じられないのかと思うと少し寂しさも感じますが、今は自分の次のステージに向けて日々の小さな喜びを大切に、目標の設定に勤しんでおります。こうした平穏な日常を過ごしていると、あんなにも多くの人間が同じ目標を達成するために、直向きに献身的に努力していたあの空間は異質で、それでいて貴重なものなのだったと深く身に染みて感じます。

2021-2022 喝采シーズンの主将を務めさせていただきました。こんな大役をお任せいただけたことは有り難いことで身に余る光栄に感じておりましたが、4年間を振り返ると本当に身に余らせてしまったなど後悔の念に駆られてしまいます。元来私は勝負事が苦手な性格で、誰かに負けて悔しいと思ったことはありませんでした。負けてもまあいいやって。だからこそ高校までの自分は個人競技としての水泳を続けてきたのだと思います。入部してすぐの私は結果としては叶いませんでしたが「全国公出場」という自分のための目標を立てて練習をしていました。しかし試合を重ねていくうちに、自分の無力さを感じるようになり独りよがりの自分じゃダメだと、チームのための泳ぎをしないと

思うようになりました。誰かのためであっても「勝ちたい」と思ったのは人生で初めてです。このときから僕の見方は自分から神大水泳部に変わりました。この想いが爆発したのが今年に関西国公立でのことです。この試合では驚異のベスト率と競り勝つレースが目立ち男子は3位となりスタンドは最高の雰囲気でしたが、私はそうは思えませんでした。阪大に負けたことが悔しすぎました。試合後のミーティングではこんなじゃあかなくて話した気がします。

今年の自分は勝負の舞台にすら立てませんでした。水泳は勝ってなんぼやと思います。チームに、誰かに、自分に闘いを挑んでこそかっこいいし、その瞬間が一番輝いている。これからも勝ち気溢れる神大水泳部の活躍を願っています。

競泳の話ばかりになってしまいましたが、自分はいくまで水泳部の主将。私自身なにもしてやれませんでした。インカレに導いてくれた水球面の島津監督・同期・後輩のことを心の底から誇りに思います。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会の先輩方、私たちの活動へのご支援ご鞭撻のほどありがとうございました。特にこの三年間の活動の殆どにおいて先輩方に直接活躍をお見せすることが叶いませんでしたが、皆様のご声援は確実に現役部員に届き活動の励みになっております。今後とも神戸大学体育会水泳部へいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。以上で私の卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

石田 絢子 国際人間科学部・Fr・元競泳主任



私の人生の8割という17年の間、生活の中心であった水泳を引退して数ヶ月が経ちました。引退するまでは、水泳のない生活にワクワクしていたのですが、いざ引退してみると何か生活に刺激が足りず、トライアスロンやハーフマラソンに挑戦しました。これらを通して、身体を動かすスポーツの楽しさを改めて実感しました。一方、一人では何か寂しさが感じられ、やはり、「誰かと一緒に」頑張れる環境があったことが素晴らしかったということに気がつきました。

大学の水泳部では、辛いこと、悲しいこと、たくさんありましたが、それでも「前向きに刺激し合える仲間がいる」神大水泳部を選んで正解でした。

私は5歳から高校までスイミングスクールに通って水泳に励んできました。そこでは様々な練習方法を学び、知っているつもりでした。しかしながら、神大水泳部に入部し、いろいろな角度から泳ぎの動画を撮り、仲間の泳ぎについて何時間もかけて意見を言い合う。そのような探究心と向上心を持って、仲間の泳ぎについても自分のことのように分析されていた先輩方に私はとても刺激を受けました。そこで、高校までの私はコーチの言うことを再現しようとしていただけで、主体的に水泳について考え、努力できていなかったのだと気づきました。自分

たちで、頭で考えて速くなる、強くなる。その面白さを教えていただいた先輩方には感謝しかありません。

そして私は、そんな先輩方に憧れ、自分だけでなく部員みんなですくになりたいと思い、競泳主任という役割をもらい、引退までの最後の1年間は、特にチームのことを考えた練習メニューを探究してきました。コロナウイルスの影響で思い通りにならなかったことはたくさんありましたが、シーズンを終えた後「絢子のメニューで速くなれた。楽しく頑張れた。」と言ってもらえた時の喜びは忘れられません。

個人としては、長年目標としていたインカレ出場を懸けたラストチャンスで金沢オープン。インカレまで0.1秒届かず悔しい思いをしたものの、一緒に金沢までついてきてくれた後輩、離れていても応援メッセージをくださった先輩方や同期たちがいることはすごく嬉しかったです。水泳は個人競技なのに、個人で戦っているわけではない。そう思えるのが神大水泳部の良いところだと思います。

春からは、大会でライバルとして戦った他大学の選手の人達とマスターズ水泳に挑戦する予定です。社会人として働きながら、どのような取り組みになるかはまだ分かりませんが、私らしく、新たなチームの仲間と大好きな水泳を楽しんでいきたいと思っています。

最後になりましたが、いつも応援し支えてくださった本間先生、金監督、凌泳会の皆様、本当にありがとうございました。これからはOGとして、頼もしい後輩たちを離れていてもつながりを感じながら今後も見守っていききたいと思っています。大変お世話になりました。

谷垣 悠 国際人間科学部・水球・元水球主任



卒論の締切に追われながら、この卒部の辞も書いております。まず、この場をお借りして、これまで水泳部の活動に多大なるご支援をいただきました、金監督、本間先生、島津監督、OB・OG の皆様に厚く御礼申し上げます。特にラストイヤーは、皆様の支援が無くては活動が成り立たないことを身に染みて感じていました。引退してからはすっかり運動もしなくなり、だらしない体への道を歩み続けています。あまり練習には行っていませんが、後輩の活躍はSNS で追っています。自分に責任がない神大の試合を見るのは気が楽で楽しいですね。笑

4 年間の振り返りでしたり、熱い想いに関してはブログの方で 9000 字ほどかけて語らせて貰いましたのでそちらを見ていただければと思います。神大水球面としての生活は長かったですが、とても充実した 4 年間でした。入学当初は高校まで続けた競泳は辞めて、水泳サークルに入っのんびり泳ごうなんて思っていた自分ですが、気づけば水球面に入部し

後にはインカレの舞台で日体大と戦っていました。なんて幸運の持ち主なんでしょう。もちろんその過程では、しんごいことの方が圧倒的に多いくらいでしたが、今振り返ってみれば楽しいものでした。

また、水球面では多くのことを学ばせていただき、人として大きく成長することができました。中でも 1 番大切なのは、物事を俯瞰的に考えることだと思います。部活として活動する中で、チームの中で自分がどのような役割を担っていて、その中で自分が最大限できることを常に考え、実行することは、自分にとっても全体にとっても有意義なことです。これは水球をする時でも一緒です。難しいことではあると思いますが、全員がこれをできる集団になれば最高のチームが作れるんじゃないかと思っています。現役の皆さんは、引退の時に「やり切った」「入部してよかった」と思える努力を続けてください！今後の活躍も期待しています。以上で私の卒部の辞とさせていただきます。改めてお世話になりました皆様、ありがとうございました。

三宅 翔 法学部・Br・元主務



この度、卒部の辞を書かせていただくことになりました、三宅 翔(みやけ かける)と申します。私がこれを執筆しているのが2022年12月であり、2週間ほど前に行われました、冬季公認という大会で現役を引退したばかりです。自分が水泳に一旦終止符を打ったのだという実感はまだ湧いてきてはいません。私の引退までの4年間の思いを引退日記の方に丹精込めて書き記しましたので、宜しければ「29秒76で得られたモノ」と検索して引退日記を一読いただければ幸いです。

私は2020年から2021年に主務を担当させていただきました。ちょうどコロナが流行して直後のタイミングであり、例年通りにはいかないことが多く、苦労の連続でした。が、本間先生や長谷川会長と協力して、初めてのオンラインでの凌泳総会や会計監査を創りあげるなど、貴重な経験をたくさんさせていただきました。

私は主務として、周りの部員以上に凌泳会の先輩方と関わる機会が多かったため、我々現役部員の日常は凌泳会の皆様のご声援なくしては成立しないことを特に実感しておりました。レースのエントリー代金やインカレ寄付金、備品などの金銭面の援助はもちろんのこと、凌泳メーリスでの激励メッセー

ジや、凌泳総会の往復はがきへの手書きの激励メッセージ、line やInstagramでの個人メッセージなど、すべてのご支援、ご声援が現役にとっての欠かせないエネルギーとなっていたと思います。改めてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

そんな憧れの先輩方が属される凌泳会員の仲間入りをさせていただく上での私の決意は、上記の先輩方の姿と同様、現役部員にありがたいと思ってもらえるような会員を目指したいということです。もちろん会費はきちんと納めますし(笑)、社会人になっても常にレース結果、日記、OB連絡に反応して激励できるような人を目指したいと思います。

春先からの社会人生活、一体どんな生活が待っているのか想像もつきませんが、神戸大学水泳部で過ごした4年間があれば何も怖いものはないと自信を持つことができます。目標を持ち、そこに向かって先輩同期後輩を巻き込みながらひたむきに頑張るその姿勢は、社会人になればいかなる場面でも求められることだと思っています。そして何より水泳部で最高の仲間恵まれました。仕事で挫折しそうになっても、水泳部の時に何度も救ってくれた同期先輩後輩が自分にはついていると考えれば、きっと私はどんな困難でも乗り越えられる気がしています。

最後になりましたが、これまで私に関わってくださったすべての凌泳会の皆様に感謝の気持ちを表し、益々の凌泳会及び神戸大学水泳部の発展、邁進をお祈りして、私の卒部の辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

廣澤 彩香 国際人間科学部・競泳 MG



プールサイドを離れてから、約4ヶ月が経ちました。部活動がなくなってしまった私は、お昼前に起きて、バイトに行き、卒論の執筆に励む刺激のない毎日を繰り返しています。年末になりますが、2022年を振り返ってみると、思い出されることはどれも水泳部での日々です。私の人生の中で、水泳に関わった時間はとてもわずかでしたが、充実していて、かけがえのないものとなりました。

改めてですが、中高で吹奏楽部に所属していた私が、水泳部でマネージャーをしようと思ったきっかけを紹介したいと思います。中高の部活のモチベーションは全て「自分のため」でした。自分が輝くため、ただそれだけでした。6年間自分のために時間を使うことを経験できたため、大学では誰かのために活動してみたいと思うようになりました。そこで新歓の時期には体育会系の部活動のマネージャーばかりを見ていたことを思い出します。その中で水泳部に惹かれた理由は今でもよくわかりません。水泳に特別興味があったわけでも、自分が泳げるわけでもありませんでした。ただ、「この人たちと4年間を過ごしたい」と私の直感が言っ

たのだと思います。優しくて、面白くて、でも水泳に真剣で、水泳の話をする姿がとてもキラキラしていて、、、ここなら私の大学生活が充実したものになるだろうと確信しました。そしてその決心は正解でした。

水泳部での活動はどれも新しいものばかりでワクワクしたことを覚えています。できないことやわからないことがほとんどで悩んだ時期もありましたが、仲間と一緒に悩んだこともいい思い出です。途中からは広報のお仕事にとてもやりがいを感じていました。自分が撮った写真を見て喜んでくれる選手がいたり、現役部員が活躍している姿を楽しみに待ってくださる先輩方がいたりして、とてもモチベーションになっていました。

最終学年では、私が入部当時に憧れた新大水泳部の雰囲気をつくっていけることができるのか、とても不安でした。うまくいかないことばかりで、同期や後輩と何度も衝突しました。それでもずっとそばにいてくれた同期マネージャーの4人には感謝しかありません。彼女らがいたから、最後まで部活を楽しむことができました。最高の状態で後輩にバトンタッチすることはできなかったけれど、それもそれで私たちらしいなと思います。私たちの経験をバネにして、後輩たちにはもっともっと水泳に打ち込んで欲しいです。

最後になりますが、金監督、本間先生、凌泳会の皆様、先輩後輩、そして同期のみんな、私の短い水泳人生に携わってくださった全ての方に感謝申し上げて、卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございます。

熱田 希弘 国際人間科学部・競泳 MG



引退してから、約 4 ヶ月が経ちました。今までの大学生活の多くの時間を水泳部で過ごしてきたので、その生活から離れて寂しさを感じつつも、今までできなかったことに時間を費やしており、残りの学生生活を満喫しています。

それでは、卒部の辞を書く機会を頂いたので、私の水泳人生を振り返ろうと思います。私が水泳に関わった期間はたったの 4 年間です。他の部員に比べてかなり短い期間ではありますが、私にとっては多くの貴重な経験をできた濃密な期間でした。大学入学まで水泳に関わったことはほとんどなく、大学新歓で先輩方に声をかけていただいて新歓ブースに話を聞きに行ったのがきっかけで、水泳部に入部しました。関わったことのないスポーツでマネージャーをすることは、自分にとっては挑戦でもありました。最初は、選手の泳ぎを見ても何も分からず、ただメニューを回してタイムを取るという仕事しかできませんでした。しかし、水泳知識を増やすために練習や試合の動画を何度も見たり選手に話を聞いたり、選手のために自分ができることを探して実行し続けました。何か 1 つのことにここまで真剣に向き合ったことは初めてで、とても楽しかったです。

そして私がさらに部活に打ち込むようになったきっかけは、チーフマネージャーを務めたことです。チーフマネージャーになってから幹部の一員として、組織を動かすことの大変さを痛感しました。しかし、同期や後輩の助けもあり遂行することができました。また、同期マネージャー 4 人に支えられながら、マネージャー 12 人を 1 年間束ねることができました。ありがとうございました。

水泳部での学びは数え切れないくらいありますが、その中の 2 つを後輩へのメッセージの意味も込めて紹介します。1 つ目は、誰かのために自分が動くことの楽しさややりがいを知ったことです。「選手が速くなり続けるために」「マネージャーが楽しくやりがいを持って部活ができるために」自分ができることは何かを考えるとやそれを実行することがこんなにも楽しくてやりがいがあるということを学びました。2 つ目は、自分の頑張りは誰かが必ず見ている、何かあったら助けてくれる仲間が水泳部にはいるということです。特にチーフマネージャーになってから、悩みを聞いてくれたり見えないうちで支えてくれていたりなど、本当に何度も同期や後輩に助けてもらいました。心強い仲間と共に部活に打ち込めたことは、私にとって一生の財産です。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会の OB・OG の皆様、ご指導・ご鞭撻のほどありがとうございました。神戸大学水泳部に入学してよかったです。以上を持って、私の卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

飯室 舞 国際人間科学部・競泳 MG



引退してから約4か月。今は水泳とは無縁の生活を送っていますが、ふと練習に行っていた日常を思い出すことがあります。去年の冬は早朝の極寒の中、爆速で駅に向かっていたな～、と笑

引退して以来、部活には顔を出していませんが、ひっそりと応援させていただいています。現役の皆さんのキラキラした笑顔や結果を見て、懐かしくも羨ましくもなります。さて、本題に入ります。大きく、私のマネージャー人生は、二つの時期に分けることができます。自分自身の選択に迷いがあった時期と、純粋に部活が楽しく充実していた時期です。私は、高校では水泳部で選手をしていたのですが、大学では何か新しいことに挑戦したいと思い、マネージャーとして水泳に関わることを決めました。しかし、選手時代とのギャップに悩み、入

部一年目で既に部活を続けるか迷ってしまっていました。一番大きかった原因は、水泳に限らず、人生で初めて人を支える立場になったことです。周囲は全力で部活に打ち込む中、明確な目標もモチベーションの保ち方も分からない私は、自分が大学でしたいことは本当にこれなのか？と、毎日のように考えている時期がありました。

私にとって転機となったのは、大学3年の時です。夏の海事キャンパスでの練習が、楽しくて楽しくてたまらなかったです。選手に頼ってもらえる機会が増え、他のマネージャーよりかなり遅れてではありますが、マネージャーとしてのやりがいを感じることができました。周囲から、“去年までと違う”、“楽しそう”、と言ってもらえるほど自分自身が大きく変わることができた時期でした。3年半の活動を通して、大人になったら二度と味わえない感情に何度もなり、二度と見ることのできない景色を見ることができました。新しい立場で部活に関わったからこそ経験できること、学べるものがたくさんありました。人生の中で、大事なことを学ばせてもらったと言っても過言ではないです。

最後にはなりますが、本間先生、金監督、凌泳会のOB・OGの方々、先輩方、同期、後輩の皆さん、私の水泳人生に携わってくださった全ての皆様に改めてこの場を借りて感謝を申し上げ、卒部の辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

小山 純 経営学部・競泳 MG



私が凌泳委員として、凌泳誌の編集をしていたのがもう 2 年前で、今度は自分が卒部の辞を書く番となり、本当に一瞬で時が経つなと驚いています。

私は、8 月末に水泳部を引退したので、ちょうど 4 ヶ月ほど経ちました。つい上で時が経つのは一瞬だと書きましたが、部活のない生活に慣れた今、部活をしていた生活がだいぶ前のことのようにも感じられ、少し不思議な感覚です。

4 年間、マネージャーとして部活に参加させていただいていましたが、今思い返しても幸せだったなとつくづく実感しています。それぞれがいろいろな思いや目標をもっていて、それに向かって頑張るみんなと一緒に部活ができたこと、一緒に喜んだり悔しがったりできたこと、本当に幸せでした。やっぱり神大水泳部のみんなが1番かっこいいと引退した今でも思います。笑

上で書いたような私自身が現役のときに感じていたことについては、引退日記でたくさ

ん書いたと思うので、今回の卒部の辞では、引退してから感じることを書こうかなと思います。

引退後1番実感しているのは、当たり前のことではありますが、神大水泳部で現役として過ごせる期間は限られていて、とても貴重なものなんだなということです。引退した今、OG 生活はいつまでも続きますが、もう現役として過ごすことは一生ないことを実感し、なんというか少しさみしいような、そんな気持ちです。笑

引退後も、現役で頑張っている後輩のみんなと会うと、「最近〇〇が調子いいんですよ〜」とか、「絶対次の試合でベスト出ます」とか逆に調子悪いとかそんな話を聞くことがあります。そういう部活の話を知ると、応援する気持ちにめちゃくちゃなるし、とても嬉しいのですが、上手く言えませんが、現役時代に比べると離れたところからの応援しかできないのが少しさみしく感じます。引退している身なので当たり前ですが笑。

みんなにほぼ毎日会って、一緒に練習して、話して、そうやって過ごせる期間は本当に一瞬で、現役にしかできないことだからこそ、後輩のみんなは今しかできない部活生活を楽しまくってほしいなと思います。

そして、私はこれからも神大水泳部1ファンとして現役のみんなのことを応援させていただきます。またみんなの話をいっぱい聞かせてください！楽しみにしています

最後になりましたが、本間先生、金監督、凌泳会の OB・OG の皆様、先輩方、同期、後輩の皆さん、関わっていた全ての方にこの場を借りて感謝を申し上げ、私の卒部の辞とさせていただきます。本当にありがとうございました

寺石 友紀 医学部・競泳 MG



水泳部を引退して半年ほどですが、マネージャーを引退した日々慣れ、卒論やバイト、旅行、昼寝などをして残りの大学生活を過ごしています。引退する前は、引退したらすることなくなるんだろうなって思っていたんですが、引退してからはそう思うこともなく、部活してないってこんな感じなんだなと思いがら過ごしています。でもやっぱり遊ぶとか集まるとなると水泳部の人が多いので、水泳部に入っていなかったら、こんなに楽しくは過ごせていないんだろうなと感じています。

私が水泳部に入ろうと思ったきっかけは部活がやりたいなと漠然と思っていたことからでした。部活に入ってから、7人も同期のマネージャーがいてすごく心強かったです。たまに自分が仕事をできずに落ち込むときもありましたが、一緒に練習にいるマネージャーの方が手伝ってくれたりして、楽しく部活をすることができました。夏は暑すぎるし、冬は朝早すぎたけど部活に行くとみんなに会えるっていうことがうれしくて私はずっと部活が楽しかったです。

こんなに部活を楽しく最後まで続けることができた一つの要因として、本間先生や幹部の人たちをはじめとする部活っていう組織を動かしてくれている人の存在が大きかったと思います。私は部活に入ってから、あまり大きい役職に就くことがなく、部活の楽しい部分だけを味わえたと思うのですが、最上回生になって少しづつ部活を支えている人たちの仕事であったり、考えている姿が見えてきて意見が合わない部分であったり、考えがうまく伝わらないところを見るが多かったなと思います。部活が楽しくできて環境っていうのはそれを作ってくれている人がいるっていうのをすごく感じました。本当にありがとうございました。

私はこの水泳部に入って目標に向かって本気で頑張ることであったり、何かを本気で打ち込んでいる人たちの中に居れたことが誇りで、本当にかっこいいなって思っていました。この中で部活をできたこと、そういう人たちにかかわれたことが本当に幸せでした。この経験は大学生活の中で一番大きな財産になりました。

最後になりますが、これまでご指導・ご支援いただいた本間先生、監督、凌泳会の皆様、先輩方に感謝申し上げます。

友定 佳那 工学部・IM



引退して4ヶ月、気づけば今年も終わろうとしています。早いですね。年々、1年が経つのが早くなっているような気がします。

最近は、研究室とアルバイト以外は特にどこにも行かず、とてもゆっくりとした、幸せな生活を送っています。すっかり水泳とは無縁の日々を過ごしており、「これが大学生か〜。」と思いながら、毎日を楽しんでおります。少し太ってきたような気もしますが、今のところは目をつぶっています。たぶんいつかダイエットします。卒論発表まで2ヶ月を切って、少し焦っていますが、来年から本気を出して頑張ることにします。

水泳部で過ごした4年間を振り返って今思うことは、「感謝」の一言です。先輩や同期、後輩の皆さんにお世話になりっぱなしだったなあと感じています。特になんの役職もない、ただの平部員である私が、のほほんと過ごせたのは、周りでいろいろな仕事してくれる仲間がいたからなんだなあと思うと、申し訳ないなあと思います。きっと大変なこともたくさんあったと思うし、たくさんご迷惑をおかけしたと思います。また、授業や研究室があつて、あまり部活に顔を出せなかったのは、本当に申し訳なかったと感じております。すみませんでした。そして、ありがとうございました。

こんな私にも、時に優しく、時に厳しくご指導してくださった先輩方、本当にお世話になりました。ありがとうございました。また、同期や後輩の皆さんにも、たくさんお世話になりました。ありがとうございました。

そして、後輩の皆さんのご活躍を、陰ながら応援しています。悔いのない、素敵な4年間を過ごせますように。

最後になりましたが、4年間を通して支えてくださいました、本間先生、金監督、活動のご支援をいただいた、凌泳会のOB・OGの皆さま、神大水泳部に関わってくださった全ての方へ、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

野中 清音 国際人間科学部・水球 MG



あんなに汗を流しながらプールサイドに立っていた引退の頃からはや4ヶ月、いつのまにか手先が凍える季節となりました。引退してからはしたいことをしたい時にできるゆるやかな生活ですが、現役時代をふと思い返すこともあります。4ヶ月前までの記憶を辿りながら、最後に少しばかり卒部の辞として書かせていただきます。

私の水球マネージャーとしての四年間は常に「楽しい」の感情にあふれていました。引退や入部を経てメンバーが入れ替わり様々な水球面を見てきましたが、どの水球面にいる自分も第一に楽しんでいた記憶が一番に浮かびます。

私にとって、チームスポーツにこんなに本気で向き合ったのは初めての経験でした。同じ団体にいる部員をこんなにひとりひとり見守ったのも、何かしら貢献したい、まっすぐに競技に向かえるように力になりたいと思ったのも、それに向けて努力を重ねたのも、いろいろな意味で初めてでした。だからとて

も思い入れが強いというか、一生忘れない4年分の思い出を得たなあと思います。

今になって思うのは、やはり何かをひたむきに頑張る時期ってとてもキラキラしているなということです。現役だった時から「引退したらこの現役時代がキラキラしてみえるだろうな～」とは思っていたけれど、やはりそうでした。悩むことも落ち込むこともあったけど、それも全てひっくるめてキラキラした青春だったなと思います。最後の最後、自分たちの集大成のタイミングまで華のあるサクセスストーリーとなり、まぶしい記憶として残っていることが一生の誇りです。

せっかくなので少しだけ最後の学生リーグについて触れておくと、インカレ出場が決まった7月9日は人生一、感動と喜びと驚きと達成感で震えた日でした。私には勿体ないのではないと思うほど華のある引退に導かれて、でもこれまでのメンバーの努力を思い返せば勿体ないとは到底思えない、最高の結果となりました。一緒にインカレ行ったメンバーがこれを読んでいるなら、繰り返すにはなるけどありがとうと伝えたいです。なんか自信持ってチームで頑張ったっていえるものがあるの、いいですね。と今となって思います。現役の皆さんも、引退したときに全ていい思い出だったと思えるよう、仲間と色々な感情を共有しながら突き進んでください。

さや姉というあだ名の似合うようなお姉さんのマネージャーになると一年の時にどこかで

言ったはずなのですが、中々お姉さんらしさは出せずじまいでした。そんな私も受け入れて求めてくれたこのチーム、この部活動にいられたこと、改めて幸せです。水球と、水泳部水球面と、そこにいる自分が大好きになった4年間でした。様々な形で関わってくださ

った金監督、本間先生、OBの方々、現役のみんな、その他大勢の方々への心からの感謝を込めて、卒部の辞とさせていただきます。

増田 夢菜 国際人間科学部・Fr



凌泳委員として先輩方の卒部の辞の編集をしたのはもう2年前の話。今こうして自分が卒部の辞を書く側になり、改めて引退したことを実感しております。

私の水泳歴は神大の中では短い方で、恥ずかしながら4泳法もままならぬ状態で引退してしまいましたので、とても語れるものではありません。練習についていけず自信を無くしたり、チームへの貢献の仕方が分からなかったり、悩むこともありました。それでも楽しく最後までやり抜くことができたのは、紛れもなく仲間のおかげです。素晴らしい人たちと出会えたこと、共に全力で水泳に取り組めたこと。本当に幸せだったと、振り返って改めて感じます。

「あなたにとって水泳とは？」これは私が3回生の時、関カレMVを作る中、向けられた問です。皆さんなら何と答えますか。私はかなり悩んだ末、「私を支える軸」と答えました。

大学生は授業や部活、サークル、アルバイトなど、それまでより自由の幅が広がります。その中で何かを4年間一人でやり抜くというのは、心が強くないと難しいように思います。でも、同じ目標を志し、共に頑張る仲間がいれば、そうではないと思います。そのような仲間に出会える場所はいろいろとあると思いますが、私はそれが水泳部でした。年齢も出身も学部も違い、水泳部に入部しなければ会うことすらなかった先輩、同期、後輩。同じ目標に向かって共に熱中し、共に悔しがり、共に喜ぶ。語彙力が足りませんが、すごいことだと思います。

大学生活の中で、水泳以外のことでたくさん壁にぶつかりました。それでもそれらを乗り越えてこられたのは、「水泳部」がぶれない軸として私の中にあり、私を支えてくれたからです。水泳部でみんなと共に努力し、最後までやり抜いたことは、私にとって大きな自信となりました。そしてこの自信は、これからの私を支えてくれるでしょう。

「あなたにとって水泳とは？」今この問を再考しても、私は同じ答えを出すように思います。今後は後輩たちの活躍をTwitterやインスタなどで陰ながら応援しつつ、私も水泳部での経験を糧に、自信を持って、次の世界で頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、これまでご指導、ご支援をくださった本間先生、金監督、凌泳会の皆様、先輩方、また私を支えてくれた同期たち、

かわいい後輩たちに感謝を申し上げまして、私の卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

向山 翔希 国際人間科学部・水球



インカレで日体到大敗を喫したあの日から今日で4ヶ月経ちました。負けて引退が嫌で後輩に混じって全国公に参加させてもらったものの散々な結果に終わった時は、正直自分と水球が嫌いになっていました。情けなく自己中な奴ですね。それでも、初めてOBとして出場した兵庫県選では、先輩方や同期と心から水球を楽しむことが出来ました。水球が嫌いにならなくてよかったです。

さて何を書くかですが、部活の振り返りに関しては1万字超の引退日記に全て詰め込まれていますので、今回は僕の素晴らしい同期の紹介でもしていこうと思います。のろけ話に胸焼けしそうな方はさっさと飛ばして次の人の卒部の辞を読むことを薦めます。

さやねのすごいところは共感力です。チームで活動すれば、熱量や考え方にそれぞれ差は生じます。それは仕方ないのですが、僕は同じ方向を向いているのを感じられる瞬間が好きでした。彼女は立場が違いながらも誰よりも選手のことを分かろうとします。この点において彼女の右に出るマネージャーはいませ

ん。だから選手はみんな信頼したし、年齢問わず愛されるマネージャーだったんだと思います。ここまで褒めすぎて気持ち悪いので言っておきますが、彼女の身長は残念ながら148cmです。

みずきのすごさを最初に感じたのは最初の関カレです。今考えると先輩に混じって試合に出場する重圧は凄かったと思いますが、彼は自慢することも大変さをアピールすることもなかったです。僕なら4年間武勇伝として語り継いでいます。彼のことを無口だと言う人はいますが冷たい人だと言われているのは聞いたことがありません。それは日々の練習や試合の中で、チームへの思いが隠しきれていなかったからでしょう。チームへの思いがない人は相手のエースを封じた後にバックからあんなにドライブできません。

がっきーは責任感の強い漢です。当たり前を当たり前維持できたのは彼が主任だったからです。人の上に立つのは本当に難しいと思います。様々な面に配慮しながら決断しなければならない、決断を下したり、チームのために必要なことを言うと、どこから批判が飛ぶこともあります。コロナ前とコロナ後で人の感覚も違います。そのバランスをとるのも大変だったと思います。それでも神大水球のために主任を全うしてくれた彼には感謝しかありません。責任感の塊です。

以上同期自慢でした。会う機会が減って悲しいですが 0 になることはないと思います。卒業旅行が楽しみです。また会いましょう。

村尾 知紀 農学部・Fr



引退して4ヶ月弱が経ちました。卒部の辞を書いている今、年末年始の休みで帰省しており、実家でだらだらと過ごしています。現在、人生で久しぶりに泳がない期間が続いていますが、やはり刺激が無い生活はあまり面白いものではありません。研究室の椅子にずっと座っているだけでは当然刺激なんてありません。

本題に入らせていただきます。振り返ってみると私の大学水泳は非常に刺激に満ちあふれたものでした。1回生の時は当然、初めての事だらけでした。その上、高校とは比べものにならない程のレベルの高さや大会での一体感は私にとってとても新鮮なものでした。入学当初は私の水泳の実力は大学水泳では到底通用するものではなく、悔しい思いをしていたのを覚えています。ただ、泳ぎについて新たな知識を得てがむしやりに練習する日々は非常に楽しかったです。2回生時にはコロナで思うように練習ができず、主要な大会もほとんど中止になってしまいましたが、自分一人で速くなるために何をすれば良いか考えるきつ

かけになり、ある意味良い経験になりました。上回生になる頃にはベストタイムも順調に更新していき、得点レースで点を取れるぐらいにはなりました。しかし私はそれだけでは全く満足できませんでした。入学当初格上だった選手に対しても勝ちたいという思いが強くなりました。やはり人間欲が出るものですね。(笑) 自分と言うのもあれですが、そういう気持ちも大事だと思います。

ラストシーズン、個人的には一番良いシーズンでした。1回生の時からの目標には届きませんでした。自分なりにやり切ったと思えました。今思えば3年半の間辞めたいと思ったことは一度もなく、苦しい記憶は思い出せませんが。(笑) そして練習でもレースでもたくさん負けましたが、その負けすらもあって良かったと感じます。

先輩、同期、後輩に自分と同じぐらい、もしくは自分よりも速い選手がいたことが非常に良かったのではないかと思います。私は環境に恵まれたなど。後輩達も良いライバルに恵まれていると思うので、お互いに成長し合ってほしいです。持論ですが、一番大事なものは負けず嫌いな気持ちだと思います。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会のOB・OGの皆様、ご指導ご鞭撻のほどありがとうございました。私の水泳に関わってくださったすべての皆様に御礼申し上げます。

森本 熱海 農学部・Fly



いきなりですが、引退した先輩や同期が口をそろえて言う「毎日が物足りない」これはマジです。毎日が締まらないうえ卒業論文に追われるストレスも重なり、私は今燃え尽きた白い灰も同然です。

引退してよかったことといえば朝が遅くなったことでしょうか。毎日、日を跨ぐまで活動し、練習が終わった時間に目が覚める。今まででは考えられなかったサイクルがどうとう当たり前になってきました。特にこれを書いている冬の時期、目が覚めてもなかなか布団から出られません。「冬はつとめて」という言葉もありますが、早朝から練習に努めて時間を有効活用していた過去の自分を褒めてあげたいです。

さて、そろそろ本題に。振り返れば入部当初の私は周りに比べ、泳力も熱意も足りていませんでした。水泳自体は楽しくて好きでしたが、団体で競い合う“大学水泳”に関しては経験がなくネガティブというか無関心でした。自分が泳げるわけでもないし、そんなに話したことがない先輩が活躍している姿を見るだけでは気持ちも上がりきらず、周りとの温度差がしんどかったです。それでも、練習を共にしていく内に、普段隣で頑張っている仲間が活躍したり一歩及ばず本気で悔しがっている姿を見て、うらやましい、自分も仲間に入りたいと、少しずつ

つ大学水泳へのモチベーションが上がってきました。

そして迎えた3年の夏、練習にもだんだんついて行けるようになり、専門種目も変えて順調に進んできましたが、あと一歩のところまでメンバー入りを逃すことになりました。この時は今までにないくらい悔しかったです。

これを機にそれまでの態度を見直し、「迷ったらしんどいほう」を心に抱いて練習に挑むようになりました。“今日の反省”も始めたし、練習以外の自主トレやストレッチなどプラスアルファの部分も毎日欠かしませんでした。この一年の頑張りだけは誰にも負けてないと思うし、今の自分の中の自信にも繋がっています。そしてラストシーズン、メンバー入りと全国公の出場権を獲得したとき、今までにないくらい嬉しかったです。悔しさで気分がどん底の時も、それを乗り越えて最高に喜んだ時も、どちらがいいとかじゃなくて、この人生の起伏すべてが水泳部で得られた宝物だと思います。もし、くすぶっている後輩がいるとしたら、何年か後に今のしんどさを笑って振り返れるように先を見据えて頑張ってください。

こんなことを書きましたが、私はメンバー入り後、気が抜けたのか体調を崩しがちになり、結局夏シーズンは不完全燃焼に終わりました。この後悔をはね飛ばすため、他の同期よりも引退を伸ばし、12月、これを書く一週間前まで現役を続けさせて頂きました。残る決断をしてからも苦しい時期が続きましたが、皆のサポートもあって最後は笑って悔いなく終わることが出来ました。ありがとうございました。真っ白い灰でも、悪くない気持ちです。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会の皆様のご指導ご鞭撻のほど本当にありがとうございました。私の水泳人生を支えてくれた皆様に御礼申し上げ、卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

六川 瑞樹 法学部・水球



引退して数か月が経ち、先日卒業までにとるべき資格を取り終えたので特にやらなければならないこともなく、日々アルバイトに励んでいます。運動不足解消のために部活に顔を出したいところですが、コロナの流行もあり、なかなかどうして重い腰があがらないものです。気持ちの上では毎日のように練習に参加しているのできっと十分でしょう。

さて、本題に入りますが、私の大学水球生活を一言で表すと「幸せ」という言葉が最もふさわしいと思います。それは、「結果」と「人」に恵まれた4年間だったと考えているからです。以下ではその理由について書き綴らせていただこうと思います。拙筆ではございますが、最後まで目を通していただくと幸いです。

「結果」について

私の代は、1年目に1部4位になり、2年目に1部4位ながらもインカレに出場することができ、3年目も1部4位となり、4年目には1部3位になり再度インカレに出場することが出来ました。改めて振り返ると、トップクラスに結果に恵まれ

た代なのではないかと思います。昨年卒業された先輩にも同じことをおっしゃっている方がいらっしゃいましたが、私はさらにそれを更新することが出来たのではないかと思います。とても楽しい4年間でした。

「人」について

私は、「人」に恵まれたことが「幸運」だと考える最も大きな要因だと思います。1回生の時から3回生の時までは尊敬できる先輩方がいらっしゃって、試合や日常生活など様々なタイミングで頼りにさせていただきました。2年生以降は、後輩たちが普段の練習や試合においてチームを支えてくれていたと思います。そして、4年間を共に過ごした同期は全員が自分とは全く違うタイプで、自分にはないものを持っていたので、彼らを意識することで私自身が大きく成長できたと思います。またOB・OGの方々には、様々な場面において直接的・間接的に支えていただきました。

幸運にもこうして「人」に恵まれた結果、私は最高に楽しい大学水球生活を送ることが出来たのだと思います。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会の皆様、ご指導・ご鞭撻のほどありがとうございました。また、私の水球人生を支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます、私の卒部の辞とさせていただきます。

現役部員紹介 凡例

氏名

- ① 学部学科
- ② 出身高校
- ③ 競泳/水球歴
- ④ ライバル
- ⑤ 趣味
- ⑥ 特技
- ⑦ 好きな練習メニュー
- ⑧ 自慢話/自慢できること
- ⑨ 将来の夢
- ⑩ 今シーズンの目標

新保 空(4回生、水球主任)専門:水球、IM



- ①経済学部経済学科
- ②金沢泉丘高校
- ③水球6年
- ④関西の水球選手
- ⑤YouTube を見る
- ⑥眠くなくても寝れる
- ⑦ゲーム形式
- ⑧全国大会で金銀銅メダルを取ったこと
- ⑨理想のパパになる
- ⑩全試合得点王

徳山 元太(4回生、主将)専門:Fr



- ①農学部
- ②大手門高校
- ③10年くらい
- ④自分(村尾侑哉岡崎ケスケスケ)
- ⑤ラーメンを巡る
- ⑥ラーメンの写真で大阪なら基本
店名が分かる
- ⑦ベンチプレス
- ⑧なんばグランド花月でバイトしている
- ⑨身長 188 cm
- ⑩インカレ!!

岡崎 圭佑(4回生)専門:Fr/Fly



- ①経済学部経済学科
- ②豊中高校
- ③11年
- ④いません
- ⑤NBA 観戦
- ⑥ボウリング
- ⑦なし
- ⑧特になし
- ⑨楽に生きる
- ⑩楽しむ

松島 優太(4回生、競泳主任)専門:Fly



- ①国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ②茨木高校
- ③21年 ④過去の自分
- ⑤温泉、シール集め ⑥なし
- ⑦なんやかんやGS ⑧我が人生
- ⑨80歳以内に生涯を終えること ⑩インカレA決勝へ、最後の挑戦

夏目 大暉(4回生)専門:水球



- ①工学部機械工学科
- ②大谷高校
- ③7年
- ④神大水泳部のみんな
- ⑤勉強
- ⑥美味しいだし巻き卵を作れる
- ⑦1対1
- ⑧日体大から得点
- ⑨お金持ち
- ⑩大活躍する！

濱田 泰地(4回生)専門:水球



- ①海事科学部
マリンエンジニアリング学科
- ②鳥羽高校
- ③6年
- ④大谷翔平
- ⑤散歩、バイト
- ⑥勉強
- ⑦練習そのものが好き
- ⑧屋外でも寝れます
- ⑨周りの人を幸せにすること
- ⑩目の前の相手に勝つ

浅野 俊太(4回生)専門:水球



- ①工学部応用化学科 ②横浜翠嵐高校
- ③2年 ④牛尾 ⑤ドラマ映画読書
- ⑥中国人モノマネ ⑦攻防練
- ⑧ヴァイオリン弾ける ⑨トランスフォーマーになる
- ⑩ウーマです。

前野 陸人(4回生)専門:Ba



- ①工学部機械工学科
- ②富岡高校
- ③16年
- ④大海陸人さん
- ⑤ゲーム(スマブラ、モンハンなど)
- ⑥懸垂
- ⑦レペ
- ⑧泉田塔一郎みたいに胸筋を動かせませす笑
- ⑨ハーレーを買う
- ⑩全国公決勝!

矢迫 恋佳(4回生)専門:SS



- ①神戸女子大学看護学部看護学科
- ②加古川東高校
- ③5年
- ④自分
- ⑤Vlog 見てモチベ上げること
- ⑥アンケートの爆速回答
- ⑦全部嫌い
- ⑧眉毛綺麗に描ける
- ⑨助産師
- ⑩長水 50Fr30 秒割り

前田 七海
(4 回生 チーフマネージャー)
専門:SS 面 MG



- ①国際人間科学部子ども教育学科
- ②津高校
- ③高校 3 年間
- ④お風呂に入る前に寝てしまう私
- ⑤物件探し
- ⑥ツムツム
- ⑦みんなが声出して頑張っているメニュー
- ⑧高校の水泳部の監督に「ええ肩してる」って笑顔で褒められたこと…。
- ⑨幼稚園の先生
- ⑩やりきった！っていう 1 年にする

村尾 侑哉 (4 回生)専門:Fr



- ①工学部機械工学科
- ②豊岡高校 ③18 年
- ④設定した目標 ⑤野球観戦
- ⑥好きな時間に起きられる
- ⑦Des
- ⑧鳥谷選手の 2000 安打を達成を現地で観戦できた
- ⑨健康に生きる
- ⑩全国公出場

棟廣 海来(4 回生)
専門:ML 面 MG



- ①国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ②姫路西高校 ③9 年
- ④自分 ⑤野球観戦
- ⑥合蹠のポーズ ⑦GS
- ⑧ほぼ食べ物の好き嫌いがいいこと
- ⑨楽しい生活をおくること
- ⑩全力でやり切る！！

太田 浩紀(3 回生、副将)
専門:IM、Fly



- ①経済学部 ②洛星高校
- ③7 年
- ④森本 恭輔
- ⑤ゴロゴロすること
- ⑥肩甲骨を出すこと ⑦Pull
- ⑧意外と料理できます ⑨お金持
- ⑩怪我に気を付けて全試合出場

森本 恭輔(3 回生、副主任)専門:Ba



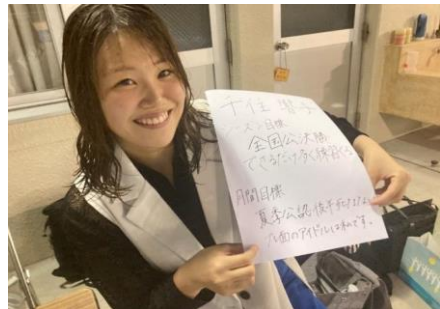
- ①経済学部 ②寝屋川高校
- ③13 年 ④りくとさん
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥ジャーキング
- ⑦ポイントレース
- ⑧ピンタを避けるのが早い
- ⑨食通
- ⑩関国、関カレ決勝進出

野崎 智仁(3 回生、主務)専門:Fly



- ①理学部惑星学科
- ②大手前高校
- ③8 年
- ④隣のコースの人
- ⑤散歩
- ⑥オセロ
- ⑦Drill
- ⑧目覚まし 1 回で起きることができる
- ⑨星が綺麗な場所に住んでのんびり過ごす
- ⑩得点レースに出る！

千住 響子(3 回生)専門:Br



- ①医学部保健学科
- ②泉陽高校
- ③17 年
- ④高校までの自分
- ⑤美味しいものを食べる
- ⑥お金の浪費
- ⑦2 班に分かれてする練習
- ⑧イカソーメンにはまりすぎてどこのイカソーメンか当てられる
- ⑨助産師
- ⑩生涯ベスト更新、筋トレ頑張る

近藤 真史(3回生)専門:Br



- ①経済学部経済学科
- ②半田高校
- ③0歳から
- ④遠藤力人・千住響子
- ⑤音楽を聴く
- ⑥大食い
- ⑦サーキット
- ⑧宅浪&併願ゼロ&共通テスト74%
- ⑨金融系(金融落ちてますけど!?)
- ⑩1ブレ2ブレ全国公標準突破(個人記録)

清川 翔紀(3回生)専門:Br



- ①国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ②茨木高校
- ③17年
- ④森本恭輔
- ⑤バイク
- ⑥書き方
- ⑦pullのメニュー
- ⑧ガンバ大阪の前座試合に出たことがある
- ⑨趣味のために働いていた
- ⑩全試合 BEST

細見 隼斗(3回生)専門:IM



- ①海洋政策科学部海洋政策科学科
- ②四条畷高校
- ③16年
- ④自分
- ⑤ラーメン、スイーツ
- ⑥電車の乗り換えダッシュ
- ⑦ショートサークル
- ⑧1年間で体重7キロの増減がある
- ⑨食通
- ⑩競り勝つ

河内 ひかる(3 回生)専門:IM 面 MG



- ①理学部惑星学科
- ②豊中高校
- ③なし
- ④毎日自分との勝負です
- ⑤無計画
- ⑥あすかとの約束に遅刻すること(2 人とも)
- ⑦マネが走る系メニュー
- ⑧約 1 か月カナダに行って
ネイティブになって帰ってきたこと
- ⑨お金持ち
- ⑩毎日元気に頑張る！

江口 あすか(3 回生) 専門:Fly 面 MG



- ①農学部資源生命科学科
- ②西京高校 ③16 年
- ④昨日の自分！QOL で勝負。
- ⑤階段の段数を数えること
- ⑥S 字ランクの運転
- ⑦タバタ。ラストだけちょっと長くするのを
よくやってしまいます。
- ⑧バイトでお皿を割らなくなった！
- ⑨縁側が似合うおばあちゃんになること
- ⑩フル単！授業も部活も無遅刻無欠席！

牛尾 帆花(3 回生、副主任) 専門:水球面 MG



- ①国際人間科学部子ども教育学科
- ②ND清心高校
- ③1 年半
- ④俊太さん
- ⑤ドラマ
- ⑥急いで駅に向かうこと
- ⑦1分間笛切り返し
- ⑧学校に櫻井翔が来たこと
- ⑨元気に生きる
- ⑩自分の強みを見つけて活かすこと

鵜澤 茜里(3 回生) 専門:水球面 MG

- ①国際人間科学部
発達コミュニティ学科
- ②岡山城東高校
- ③1 年半
- ④浅野俊太
- ⑤アニメを見ること漫画を見ること
- ⑥卵焼きを焦がさない
- ⑦アニマル
- ⑧真剣佑を見た
- ⑨太く短く生きて死ぬ
- ⑩インカレ



山本 征明(3 回生) 専門:Fr



- ①海洋政策科学部海洋政策科学科
- ②畝傍高校
- ③17 年
- ④過去の自分
- ⑤お散歩
- ⑥パブルリング
- ⑦レペ
- ⑧3 分間息を止められる
- ⑨船乗り
- ⑩生涯ベストを出す

遠藤 力人(2回生)専門:Br



- ①経済学部経済学科
- ②米子東高校
- ③17年
- ④縄田大翔
- ⑤ウィンタースポーツ
- ⑥けん玉
- ⑦ディセンド
- ⑧書道六段
- ⑨幸せな家庭を作る
- ⑩縄田大翔に勝つ

北岡 さくら(2回生)専門:Fr



- ①国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ②四条畷高校
- ③17年
- ④中学生の時の私
- ⑤食べて寝ること
- ⑥文章をつらつら書くこと
- ⑦Fin
- ⑧中学生から書き始めた練習ノートがもうすぐ30冊目になること
- ⑨言葉でアスリートを支えられる仕事をしたい
- ⑩インカレ突破

清水 恵那(2回生)専門:Ba



- ①神戸女子大学健康福祉学部
健康スポーツ栄養学科
- ②赤穂高校
- ③9年
- ④全盛期の頃の自分
- ⑤グルメ探索
- ⑥運動
- ⑦50×1dive
- ⑧体が異常に柔らかい(特に肩甲骨)
- ⑨多方面でスポーツアスリートを支えられる
人材になること
- ⑩自己ベスト更新

長光 咲良(2回生)専門:IM 面 MG



- ①神戸女子大学社会福祉学部
健康スポーツ栄養学科
- ②城星学園高校
- ③15年
- ④自分
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥早起き
- ⑦特になし
- ⑧牛乳を飲むのが早い
- ⑨栄養士
- ⑩頑張ります!!!

縄田 大翔(2回生)専門:Ba



- ①理学部物理学科
- ②姫路西高校
- ③16年
- ④過去の自分
- ⑤MV 見る
- ⑥ルービックキューブを揃えられる
- ⑦ブローケン
- ⑧TOEIC だいたい確率通り
- ⑨幸せに暮らす
- ⑩インカレ出場

千須和 佑飛(2回生)専門:Br 面 MG



- ①理学部数学科
- ②袋井高校
- ③選手:2歳一小3、中2-高3
マネ:1年目
- ④いない
- ⑤F1観戦
- ⑥大声
- ⑦GS
- ⑧美味いご飯屋を探すのが上手い
- ⑨車と家を持つ
- ⑩チームのシーズン目標達成のためにできることをする

杉山 智哉(2回生)専門:水球



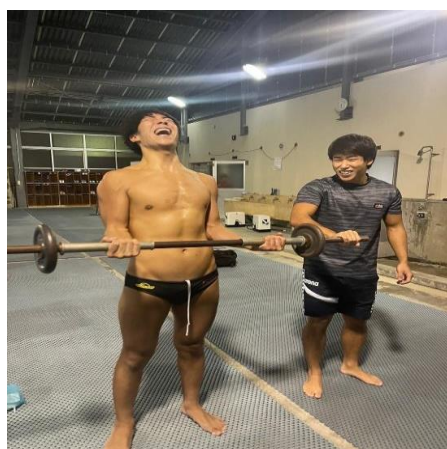
- ①農学部生命機能学科
- ②天王寺高校
- ③1年目 ④路人
- ⑤釣り・ラーメン巡り
- ⑥早歩き
- ⑦シュート連
- ⑧左指の関節が異様に柔らかいこと
- ⑨お金持ち
- ⑩水球の”プレイヤー”になる

大星 颯太郎(2回生)専門:水球



- ①経済学部経済学科
- ②茨木高校
- ③3年
- ④河上宙氣
- ⑤映画鑑賞
- ⑥大きなくしゃみをすること
- ⑦退水セット
- ⑧地元の空気がおいしい
- ⑨元気な老後を過ごす
- ⑩チームに必要な戦力になる

伊藤 路人(2回生)専門:水球



- ①海洋政策学部海洋政策学科
- ②松山北高校
- ③1年
- ④杉山智哉
- ⑤漫画・アニメ
- ⑥泳ぐこと・バスケ
- ⑦罰ゲーム(潜水ダッシュ)
- ⑧友達に恵まれたこと
- ⑨インカレに出る
- ⑩基礎を固めるシーズンにする

河上 宙氣(2回生)専門:水球



- ①経営学部経営学科
- ②帝塚山高校
- ③1年
- ④浅野俊太
- ⑤昼寝
- ⑥どこでも寝れる
- ⑦シュート練習とオールコート練習
- ⑧二重でまつげが長くて陸上なら運動神経がいいこと
- ⑨プロ野球選手
- ⑩防御率一桁台、打率3割キープ

川崎 亜瑠(2回生)専門:水球



- ①国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ②茨木高校
- ③4年目
- ④特にいない
- ⑤景色を見ること
- ⑥柔軟体操
- ⑦フローティング練
- ⑧東海オンエアをみながら寝れる
- ⑨スポーツに携わる仕事をする
- ⑩強くなる

久保田 伊織(2回生)専門:水球 MG



- ①法学部法律学科
- ②福岡高校
- ③水球マネ4年目
- ④そらさん
- ⑤ゲーム
- ⑥何時間でも寝られる
- ⑦ゲーム練
- ⑧金銭面での努力
- ⑨安定職
- ⑩笛を上達させる

窪田 理紗(2回生)専門:水球MG



- ①工学部市民工学科
- ②ND清心高校
- ③1年目
- ④ますちん
- ⑤音楽を聴くこと
- ⑥階段を早く降りること
- ⑦飛びつき×10
- ⑧家にオープンがあること
- ⑨橋職人
- ⑩水球もっと詳しくなる

【現役部員寄稿】

神戸大学体育会水泳部水球面 2回生 伊藤路人

2022年度の授業が終わり春休みを迎え、新たな学年へと上がる準備をしている頃でしょうか。コロナウイルスの流行が収まってきたと思えば、新たな株が出現し、同時に年度末にかけて徐々にインフルエンザという言葉も耳にするようになりました。学校の授業や、部活の取り組みにおいて、授業形態の変化や大会の中止という形で、コロナウイルスの影響を直接的に受けることはあまりなかったのですが、感染が急拡大したときの対応、徹底したマスクの着用など、何をすることもどこかでコロナウイルスのことを考えながらでないといけない、そんな一年間であったと感じます。3月中旬から、日本全国でマスクの着用が自由になるわけですが、生活はどのように変わっていくのでしょうか。しかし少しでも体調に異変を感じたとき、年配の方と関わる場合にはマスクを着用することなど、相手への配慮と思いやり、そして責任感のある行動がますます求められていくと思います。

本年度は、神大水球面において様々なことがありました。3年ぶりに新歓祭が行われ、自分を含め一回生が7名入りました。人数が多いとそれだけ活気のある部活となるので、そこが前年度の新チームが始まってからの大きな変化であったのではないのでしょうか。

コロナウイルスの影響を受け開催されなかった大会も多かったここ数年とは違い、ほとんどの大会に参加することができ、また他県への遠征もできるようになりました。その中で我々にとって最も大きな出来事となったのは、インカレに出場したことです。一部残留という目標を掲げて始まったシーズンでしたが、予選会ではライバル校との接戦の末勝利し、インカレへの関西からの残り一枠をつかみ取りました。これ以上ない最高の形で目標を達成し、4回生が引退を迎えることが出来ました。このような結果を残すことが出来たのも、環境を整えてくれる方たち、練習を手伝ってくれるOB、OGの皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、昨年度を超える結果を残すため、部員一同、今後もより一層精進してまいります。部活面のみならず、学習面また人間性という部分に関しましても、各々が成長していけるよう頑張りますので、ご支援ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。このようなご時世ですので体調にはくれぐれもお気を付けください。

【現役部員寄稿】

神戸大学体育会水泳部競泳面 3 回生 清川翔紀

この度は、現役部員を代表して寄稿文を書かせていただくことになりました、3 回生の清川翔紀と申します。稚拙な文章になると思いますが、現役部員の活動ができるだけ伝えることができればと思います。

昨シーズン、結果のページを見てもらえると分かると思いますが、水球面のインカレ出場、競泳でも日本選手権出場者が出るなど華々しい活躍が数多くありました。特に水球面がインカレ出場を決めた立命館とのペナルティ合戦は記憶に残る試合になったと思います。その一方で、新型コロナウイルスの影響を受け、競泳面は関カレ 3 部落ちという非常に悔しい経験もしました。もっとできるはずなのに、できない。そんなもどかしさをチーム全体として感じていたように思います。そんな中で、シーズンの残る試合では上回生を中心にベスト率の高い試合を続け、神大水泳部の強さを身にしみて感じました。

そして、今シーズン。

競泳男子「全国国公立大学選手権大会 3 位・関西国公立大学選手権大会優勝」競泳女子「関西学生選手権大会全員ベスト」という目標を立て、繁吹シーズンがスタートしました。

このスローガンである繁吹は水球で得点を決めた際、競泳でベストが出た際に上がるガッツポーズで水繁吹をたくさんあげられたらいいなという思いが込められています。

冬の強化期間も、久しぶりに開催された合宿も全員で乗り越え、夏の大会の目標達成に向けて頑張っています。

冬の間の大会においてもたくさんの大ベスト更新がみられ、そのたびに大きな繁吹が上がっています。

声出し応援も解禁となり、大会自体の盛り上がりも昨シーズンよりも感じられています。入場制限が緩和された際にはぜひ試合に足を運んでいただけたらと思います。

ほとんどの OB・OG さんが練習に来てくださる際に、大学の部活は最後に青春できる場で、一瞬で終わるとも価値のあるものだと思わってから気づくとおっしゃっていただきます。今はまだその意味をしっかりと理解できていませんが自分たちが引退した後に同じことを思えるように今を大切にしていきたいと思えます。

水球面企画 水泳部流行語大賞 水泳部でキテいる言葉を大調査！まさかあの言葉が...

編集 3 回生 鷺澤茜里

【流行語 得票数ランキング BEST3(競泳面)】

1 位 6得票「シャンクス」

メインユーザー・・・競泳面(松島、徳山)

バッタとブレで片手タッチすることを指す。

惜しくもランク外となってしまったものの、「お前もう船降りろ」や「シャンクス…腕が！」など競泳面の流行語にはワンピースネタがあふれていた。なぜ？

2 位 4 得票「お前ら最高だぜ」

メインユーザー・・・競泳面

今シーズンのスローガン「繁吹」を決める際の、スローガン候補に入っていた「お前ら最高だぜ」。ブログの最後にこの言葉があると嬉しいからという理由で考えらえた案で惜しくも今シーズンのスローガンからは落選してしまったが競泳面では流行っていたらしい。(流行ってませんとの声も聞こえたが)

3 位 3 得票「女子ライン動く」

メインユーザー・・・清川森本

男子部員が何かをやらかしたときに、女子のグループ LINE が動くことからこの言葉が生まれたそう。メインユーザーがその犯人ということか・・・。

【流行語 得票数ランキング BEST3 (水球面)】

1 位 7 得票「素でえぐい」

メインユーザー・・・大星窪田

夏に謎に大流行したこの言葉。今シーズンの流行語の大体は大星が生んだものと言っても過言ではない。使い方は適当。とりあえず、何かを言った後に「素でえぐい」と言っておけばよい。

2 位 5 得票「～って話しする？」

メインユーザー・・・1 回生

こちらも、1 回生から生まれた流行語。「○○って話しする？」、「○○って話ししとく？」、「○○って話しします？」と様々な擬態が可能。1 回生から始まったこの言葉遣いも気づけば水球面全体の流行語に・・・。

3 位 4 得票「～ニキ」

メインユーザー・・・伊藤大星

おそらく、○○先輩の変形として○○ニキという呼び名が生まれた。4 回生の浅野氏は「俊太ニキ」「しゅんニキ」などと呼ばれており、その名を他大にも轟かせている。活用形として「寿司ネキ」なども存在。

競泳面企画 水泳部〇〇ランキング 部員のみんなが投票しました！

〇悪徳商法に引っかかりそ
うな人

- 1位 前田 七海
- 2位 窪田 理紗
- 3位 棟廣 海来

〇なめられている先輩

- 1位 前野 陸人
- 2位 岡崎 圭佑
- 3位 浅野 俊太

〇単位落としてそうな人

- 1位 森本 恭輔
- 2位 新保 空
- 3位 岡崎 圭佑

〇真っ向勝負と言いつつ
ぐにズルしそうな人

- 1位 浅野 俊太
- 2位 縄田 大翔
- 3位 新保 空

〇早食いそうな人

- 1位 近藤 真史
- 2位 伊藤 路人
- 3位 山本 征明

〇第一印象と今で違って
いる人

- 1位 平野 樹
- 2位 近藤 真史
- 3位 太田 浩紀

〇時間ギリギリで生きて
そうな人

- 1位 千住 響子
- 2位 太田 浩紀
- 3位 牛尾 帆花

〇朝から元気な人

- 1位 伊藤 路人
- 2位 北岡 さくら
- 3位 河内 ひかる

〇節約術極めてそうな人

- 1位 牛尾 帆花
- 2位 北岡 さくら
- 3位 村尾 侑哉

〇老いを感じさせる人

- 1位 徳山 元太
- 2位 岡崎 圭佑
- 3位 杉山 智哉

〇ツツコミ上手い人

- 1位 岡崎 圭佑
- 2位 濱田 泰地
- 3位 村尾 侑哉

〇自分が選ばれそうなラン
キング送ってそうな人

- 1位 浅野 俊太
- 2位 徳山 元太
- 3位 近藤 真史

〇今年1番遅刻しそうな人

- 1位 千住 響子
- 2位 川崎 亜瑠
- 3位 縄田 大翔

〇お金の使い道がなさそ
うな人

- 1位 野崎 智仁
- 2位 新保 空
- 3位 村尾 侑哉

〇将来海外に住んでいそ
うな人

- 1位 河内 ひかる
- 2位 松島 優太
- 3位 川崎 亜瑠

【2022年度 水泳部活動報告書】
年間競技カレンダー

月	日	区分	大会名	会場	備考
4月	23日(土) 24日(日)	競泳	関西学生春季短水路公認記録会	秋葉山公園 県民水泳場	
5月	28日(土)	競泳	関西学生夏季公認記録会	秋葉山公園 県民水泳場	
	29日(日)	水球	2022年度兵庫県 水球春期選手権大会	尼崎北高校	
6月	4日(土), 5日(日)	水球	令和4年度京都選手権 水球競技大会	京都アクアリー ナプール	
	同日	競泳	関西学生チャンピオンシップ 水泳競技大会	丸善インテック 大阪プール	
	11日(土), 12日(日)	水球	令和4年度関西選手権 水球競技大会	丸善インテック 大阪プール	
7月	2日(土), 3日(日)	水球	関西学生選手権 水球競技大会水球競技	京都アクアリー ナプール	
	同日	競泳	関西国公立大学選手権 水泳競技大会	京都アクアリー ナプール	
	9日(土), 10日(日)	水球	関西学生選手権 水球競技大会水球競技	丸善インテック 大阪プール	
	22日(金), 23日(土), 24日(日)	競泳	関西学生選手権水泳競技大会	丸善インテック 大阪プール	
8月	10日(木), 11日(金), 12日(土)	競泳	全国国公立大学選手権 水泳競技大会	金沢プール	
	17日(水)	競泳水球	2022年度三商大戦	一橋大学小平 国際キャンパス プール	中止
	21日(日)	競泳	関西学生夏季長水路公認記録会	丸善インテック 大阪プール	
	28日(日), 29日(月), 30日(火), 31日(水)	競泳	2022年度第98回 日本学生選手権水泳競技大会	東京辰巳 国際水泳場	
	30日(火), 31日(水)	水球	2022年度第98回 日本学生選手権水球競技大会	横浜国際 プール	
9月	3日(土)	競泳水球	大阪公立大学・神戸大学定期戦	大阪公立 大学プール	

	17日(土), 18日(日)	水球	2022年度 京都選手権秋季大会	鳥羽高校	
10月	22日(土), 23日(日)	水球	2022年度 関西学生秋季水球競技大会	びわこ成蹊 スポーツ大学 アクアセンター	
	22日(土)	競泳	関西国公立大学 OB・OG選手権水泳競技大会	東和薬品 RACTABドーム	
11月	5日(土), 6日(日)	水球	第4回全国国公立大学選手権 水球競技プレ大会	筑波大学 屋内プール	
	13日(日)	水球	2022年度兵庫県選手権大会	尼崎スポーツの 森	
12月	17日(土), 18日(日)	競泳	関西学生冬季公認記録会	秋葉山公園県民 水泳場	
1月	14日(土), 15日(日)	水球	2022年度なみはやカップ 水球競技大会	東和薬品 RATAB ドーム	
	28日(土), 29日(日)	競泳	兵庫県短水路選手権 水泳競技大会	尼崎スポーツの 森	
2月	18日(土), 19日(日), 20日(月)	水球	2022年度 KCSA ウィンターリーグ	びわこ成蹊 スポーツ大学 アクアセンター	
	19日(土), 19日(日)	競泳	大体大オープン水泳競技大会	大阪教育大学	
3月	4日(土), 5日(日)	競泳	関西学生春季室内選手権水泳 競技大会	秋葉山公園 県民水泳場	

主要大会総合成績

■競泳

大会名	男子	女子
第 73.回 関西国公立大学選手権	3 位	2 位
第 96 回 関西学生選手権 水泳競技大会 (女子:第 58 回)	2 部 7 位	2 部 3 位
第 69 回 全国国公立大学選手権	6 位	7 位
第 98 回 日本学生選手権 水泳競技大会	(出場選手) 100m バタフライ 200m バタフライ 松島 優太 4×100mメドレーリレー 縄田 清川 松島 村尾	—

■水球

大会名	成績
第 96 回 関西学生選手権水泳競技大会	1 部 3 位
2022 年度 KCSA ウインターリーグ戦	5 位(参加 8 チーム)

■交流戦

2022 年度の、旧三商大戦は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

2022年度大阪公立大学・神戸大学定期戦結果

競泳男子・・神戸大学 競泳女子・・大阪公立大学 水球・・神戸大学 総合・・神戸大学

表記について

記録会に順位はありません。大会の成績に順位の表記がないものは我校選手の予選時の記録です。

<決>…決勝時の記録 <B決>…B決勝時の記録

★:ベスト(初泳ぎベストを含み、大学ベストは含めないとします。)

第29回関西学生春季短水路公認記録会 2022年4月23日～24日・秋葉山公園県民水泳場(公認25m)

ベストを更新したレースや制限記録を突破したレースが多くあったものの、チームとしての課題が明確となった試合だった。

■男子200mバタフライ

野崎 智仁 2'30"16★

松阪 竜希 2'21"51

太田 浩紀 2'07"10★

前野 陸人 2'06"40

■男子4×100m個人メドレー

新保 空 5'00"11★

細見 隼斗 4'48"60★

■男子4×100mフリーリレー

神戸大学 3'33"65

岡崎 三宅 村尾 徳山

■男子400mメドレーリレー

神戸大学 3'53"06

前野 松島 岡崎 徳山

神戸大学 3'54"04

森本 清川 太田 細見

■男子200m平泳ぎ

近藤 真史 2'34"23

清川 翔紀 2'23"91

三宅 翔 2'26"72

■男子400m自由形

岡崎 圭佑 4'16"10★

■男子100mバタフライ

野崎 智仁 1'04"83★

森本 熱海 1'00"35

前野 陸人 56"87★

松阪 竜希 1'01"05

松島 優太 52"26

■女子200m個人メドレー

千住 響子 2'30"08

■男子200m個人メドレー

細見 隼斗 2'12"37★

新保 空 2'20"61★

西 裕大 2'15"07★

太田 浩紀 2'09"77★

■女子100m自由形

増田 夢菜 1'05"13★

石田 絢子 58"43

■男子100m自由形

村尾 知紀 53"19★

■男子50m平泳ぎ

清川 翔紀 30"17★

三宅 翔 29"84★

■男子200m背泳ぎ

森本 恭輔 2'08"49

■女子4×50mフリーリレー

神戸大学 1'56"85

石田 千住 増田 友定

■男子4×200mフリーリレー

神戸大学 7'51"36

松島 徳山 前野 村尾

第 21 回 関西学生夏季公認記録会 2022 年 5 月 28 日・秋葉山公園県民水泳場(公認 25m)

久しぶりに生涯ベストを更新したレースや制限を切ったレースも多くあり、盛り上がりのある試合となった。

■女子 200m 自由形
北岡さくら 2'09"37★
石田絢子 2'05"12★

■男子 200m 自由形
長谷川聖 2'14"24★
細見隼斗 2'02"49★
徳山元太 2'01"28
岡崎圭佑 1'57"57★

■女子 400m 自由形
増田夢菜 5'23"77★

■男子 400m 自由形
岡崎圭佑 4'20"61

■女子 100m 自由形
北岡さくら 58"83★
石田絢子 58"20

■男子 100m 自由形
山本征明 55"05★
徳山元太 53"99★
村尾知紀 52"89★

■女子 50m 自由形
矢迫恋佳 32"27
■男子 50m 自由形
長谷川聖 26"94★
遠藤力人 25"90★
縄田大翔 24"92★
山本征明 24"78★
村尾知紀 24"69

■男子 100m バタフライ
野崎智仁 1'05"32

細見隼斗 59"00★
松阪竜希 1'00"68
森本熱海 59"20★
前野陸人 56"85
松島優太 52"19

■男子 200m バタフライ
野崎智仁 2'35"39
太田浩紀 2'07"28
前野陸人 2'06"89
松島優太 1'56"08★

■女子 100m 背泳ぎ
友定佳那 1'22"54★

■男子 100m 背泳ぎ
縄田大翔 58"50★

■女子 200m 背泳ぎ
友定佳那 2'57"47★

■男子 200m 背泳ぎ
森本恭輔 2'08"37

■男子 100m 平泳ぎ
近藤真史 1'09"42★
遠藤力人 1'06"44★
三宅翔 1'05"42
清川翔紀 1'04"94★

■男子 200m 平泳ぎ
近藤真史 2'31"52★
三宅翔 2'25"56
清川翔紀 2'21"61★

■女子 200m 個人メドレー
千住響子 2'26"79

■男子 200m 個人メドレー
長谷川聖 2'35"87★
新保空 2'21"19
太田浩紀 2'10"32

■女子 200m フリーリレー
神戸大学 1'51"72
石田 北岡 増田 千住

■男子 800m フリーリレー
神戸大学 7'59"79
岡崎 徳山 山本 村尾

第10回 関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会 2022年6月4日～5日・丸善インテック大阪プール(公認50m)

久しぶりの長水路の試合だったこともあり苦戦していた選手が多かった。しかし、その中でも生涯ベストや大学ベストを更新したレースが多くみられ、これからの得点レースに向けて勢いがつくような試合となった。

■女子400m個人メドレー

- ① 栢井 萌 (大阪教育) 4'58"35
- ② 山村 莉子 (大阪教育) 4'59"48
- ③ 松木 琴美 (近畿) 5'01"84

■男子400m個人メドレー

- ① 井莉 裕貴 (近畿) 4'13"82
- ② 前田 大輝 (近畿) 4'27"54
- ③ 田中 一路 (関西学院) 4'29"70
- 細見隼斗 5'02"35★

■女子200m自由形

- ① 松宮 真衣 (近畿) 2'04"08
- ② 横田 涼乃 (関西) 2'05"84
- ③ 青山 美咲 (大阪体育) 2'06"13
- 増田 夢葉 2'32"51★
- 北岡 さくら 2'14"93★

■男子200m自由形

- ① 渡邊 天馬 (近畿) 1'48"13
- ② 多鹿 正洋 (近畿) 1'51"88
- ③ 増田 達哉 (関西学院) 1'51"93
- 岡崎 圭佑 2'03"99
- 徳山 元太 2'04"55

■女子50m自由形

- ① 川岸 凜子 (大阪体育) 26"36
- ② 國友 芙緒 (同志社) 26"56
- ③ 天野 百望 (関西学院) 26"72
- 友定 佳那 31"92

■男子50m自由形

- ① 本田 海雅 (同志社) 22"85
- ② 武田 力紀 (大阪体育) 23"08
- ③ 望月 智裕 (びわこ成蹊) 23"14

三宅 翔 24"41★

村尾 知紀 24"74★

■女子200mバタフライ

- ① 木本 緋奈乃 (武庫川女子) 2'15"53
- ② 渡瀬 夢花里 (関西学院) 2'16"22
- ③ 新井はる佳 (大阪体育) 2'16"60

■男子200mバタフライ

- ① 森本 哲平 (近畿) 1'57"54
- ② 十亀 正輝 (同志社) 1'58"51
- ③ 平野 柊生 (近畿) 1'58"71
- 野崎 智仁 2'44"68★
- 太田 浩紀 2'13"86
- 前野 陸人 2'12"13
- 松島 優太 2'04"55

■女子100m背泳ぎ

- ① 渡会 円香 (同志社) 1'01"71
- ② 土本 夕愛 (びわこ成蹊) 1'04"44
- ③ 白石 楓佳 (同志社) 1'05"22

■男子100m背泳ぎ

- ① 奈須 一樹 (近畿) 56"17
- ② 岡田 幸大 (近畿) 56"48
- ③ 辻野 優輝 (近畿) 56"80
- 森本 熱海 1'10"37
- 森本 恭輔 1'02"31

■女子100m平泳ぎ

- ① 熊野 亜美 (武庫川女子) 1'11"98
- ② 戒能 朝陽 (大阪体育) 1'12"07
- ② 橋本 結衣 (近畿) 1'12"07
- 千住 響子 1'20"97

■男子100m平泳ぎ

- ① 廣本 新 (関西) 1'01"38
- ② 平井 佑典 (関西学院) 1'01"38
- ③ 森 圭佑 (大阪体育) 1'01"38
- 近藤 真史 1'12"25
- 遠藤 力人 1'09"76★
- 清川 翔紀 1'07"63
- 三宅 翔 1'08"64

■女子4×100mフリーリレー

- ① 大阪体育大学 3'52"40
- ② 近畿大学 3'52"65
- ③ 武庫川女子大学 3'54"65

■男子4×100mフリーリレー

- ① 近畿大学 3'21"52
- ② 大阪体育大学 3'23"53
- ③ 関西学院大学 3'26"05
- 神戸大学 3'42"78

村尾 三宅 山本 縄田

■女子4×100mメドレーリレー

- ① 同志社大学 4'15"31
- ② 武庫川女子大学 4'18"41
- ③ 関西大学 4'21"62

■男子4×100mメドレーリレー

- ①近畿大学 3'41"91
- ②関西学院大学 3'43"09
- ③大阪体育大学 3'44"80
- 神戸大学 4'09"73
- 縄田 清川 山本 長谷川

■女子200m個人メドレー

- ①松宮 真衣 (近畿) 2'19"34
- ②柘井 萌 (大阪体育) 2'19"43
- ③青山 美咲 (大阪体育) 2'19"91
- 千住 響子 2'35"17

■男子200m個人メドレー

- ①平野 柊生 (近畿) 2'02"66
- ②田中 一路 (関西学院) 2'05"23
- ③田中 健仁 (近畿) 2'06"03
- 細見 隼斗 2'21"07
- 太田 浩紀 2'15"80★

■女子400m自由形

- ①種村 舞雪 (近畿) 4'20"51
- ②横田 涼乃 (関西) 4'25"83
- ③坂本 晴野 (近畿) 4'28"67
- 増田 夢菜 5'31"08

■男子400m自由形

- ①渡邊 天馬 (近畿) 3'53"42
- ②今村 圭吾 (近畿) 3'58"37
- ③久保田 一矢 (近畿) 4'01"30
- 岡崎 圭佑 4'22"86

■女子100m自由形

- ①新山 くるみ (大阪体育) 58"36
- ②渡邊 美有 (武庫川女子) 58"38
- ③天野 百望 (関西学院) 58"56
- 北岡 さくら 1'01"20
- <B決>北岡 さくら 1'00"57

■男子100m自由形

- ①木本 憲大 (近畿) 50"28
- ②武田 力紀 (大阪体育) 50"86
- ③本田 海雅 (同志社) 50"94
- 徳山 元太 55"46
- 村尾 知紀 54"51★

■女子100mバタフライ

- ①國友 芙緒 (同志社) 1'00"99
- ②星山 茅奈 (近畿) 1'01"37
- ③杉山 わか葉 (同志社) 1'01"98

■男子100mバタフライ

- ①塚本 康介 (近畿) 52"73
- ②森本 哲平 (近畿) 53"13
- ③志水 建斗 (甲南) 53"56
- 野崎 智仁 1'06"84
- 松阪 竜希 1'01"99★
- 森本 熱海 1'01"69★
- 前野 陸人 58"75
- 松島 優太 54"35
- <決>松島 優太 54"36

■女子200m背泳ぎ

- ①渡会 円香 (同志社) 2'15"71
- ②土本 夕愛 (びわこ成蹊) 2'20"79
- ③白石 楓佳 (同志社) 2'21"30

■男子200m背泳ぎ

- ①奈須 一樹 (近畿) 2'01"33
- ②井狩 裕貴 (近畿) 2'01"71
- ③高 大輔 (関西学院) 2'03"36
- 森本 恭輔 2'18"18

■女子200m平泳ぎ

- ①津田 絵梨那 (近畿) 2'33"56
- ②小阪 愛音 (武庫川女子) 2'33"57
- ③橋本 結衣 (近畿) 2'34"93

■男子200m平泳ぎ

- ①廣本 新 (関西) 2'13"83
- ②今西 優太 (近畿) 2'14"07
- ③橋本 響 (同志社) 2'14"86
- 近藤 真史 2'37"24★
- 遠藤 力人 2'34"22★
- 清川 翔紀 2'29"38

■女子4×50mフリーリレー

- ①大阪体育大学 1'46"81
- ②武庫川女子大学 1'49"02
- ③大阪国際大学 1'53"12
- 神戸大学 1'58"67
- 北岡 増田 千住 友定

■女子4×200mフリーリレー

- ①近畿大学 8'29"10
- ②大阪体育大学 8'29"19
- ③武庫川女子大学 8'35"59

■男子4×200mフリーリレー

- ①近畿大学 7'28"11
- ②関西学院大学 7'35"40
- ③大阪体育大学 7'38"78
- 神戸大学 8'13"60
- 縄田 太田 細見 村尾

第 73 回 関西国公立大学選手権水泳競技大会
第 59 回 関西女子国公立大学選手権水泳競技大会
兼 第 69 回 全国国公立大学選手権水泳競技大会 関西支部予選会
2022 年 7 月 2 日～3 日・京都アクアリーナ(公認 50m)

ベストを大きく更新し、決勝に残ったり表彰台に登った選手もいた一方、予選で 9 位や 10 位という結果で惜しくも決勝を逃し、悔しい思いをした選手もおり、個人としてもチームとしても多くの収穫を得ることができた大会だった。

■女子 400m 個人メドレー

- ①豊田 光彩 (京都) 5'21"20
- ②赤沢 萌絵 (大阪公立) 5'36"16
- ③太田 ひまわり (大阪) 5'39"37

■男子 400m 個人メドレー

- ①近藤 泰吾 (大阪) 4'36"28
 - ②竹田 瞬希 (大阪教育) 4'36"76
 - ③後藤 寛貴 (京都) 4'55"95
- 細見 隼斗 5'01"65★
 〈決〉細見 隼斗 4'59"61★

■女子 200m 自由形

- ①入江 望来 (大阪教育) 2'08"52
 - ②北岡 さくら (神戸) 2'11"67
 - ③園部 由季 (和歌山) 2'16"51
- 北岡 さくら 2'16"26

■男子 200m 自由形

- ①悦過 大知 (大阪教育) 1'54"07
 - ②田中 琉太 (和歌山) 1'55"49
 - ③縄田 大翔 (神戸) 1'56"17★
- 縄田 大翔 1'58"84★
 岡崎 圭佑 2'01"95★
 徳山 元太 2'07"16

■女子 50m 自由形

- ①石田 絢子 (神戸) 27"22★
 - ②清川 柚紀 (大阪教育) 28"26
 - ③堀内 咲歩 (大阪公立) 29"02
- 石田 絢子 27"34★

■男子 50m 自由形

- ①道越 光星 (大阪公立) 23"13
 - ②大崎 達也 (大阪教育) 23"58
 - ③大前 翔太郎 (大阪) 23"94
- 村尾 知紀 24"71★
 三宅 翔 24"91
 山本 征明 25"52★
 〈決〉村尾 知紀 24"33★
 〈決〉三宅 翔 24"59

■女子 200m バタフライ

- ①熊川 ひなた (京都) 2'23"59
- ②中西 梨予 (大阪公立) 2'30"81
- ③平嶋 美月 (大阪) 2'39"83

■男子 200m バタフライ

- ①松島 優太 (神戸) 2'03"15
 - ②堀上 諒馬 (大阪教育) 2'06"65
 - ③大塚 悠智 (大阪教育) 2'08"45
- 松島 優太 2'06"14
 前野 陸人 2'12"11
 太田 浩紀 2'10"82★
 〈決〉前野 陸人 2'11"38
 〈決〉太田 浩紀 2'13"64

■女子 200m 背泳ぎ

- ①福井 梨香子 (大阪) 2'24"43
 - ②千葉 喬子 (大阪公立) 2'35"06
 - ③福武 由花 (大阪) 2'43"60
- 〈決〉友定 佳那 3'05"59

■男子 200m 背泳ぎ

- ①福島 悠貴 (大阪公立) 2'11"52
 - ②南谷 研志 (大阪公立) 2'12"07
 - ③森本 恭輔 (神戸) 2'15"01
- 森本 恭輔 2'17"78
 森本 熱海 2'33"16★

■女子 200m 平泳ぎ

- ①勝野 花菜 (大阪公立) 2'43"15
- ②千住 響子 (神戸) 2'47"48
- ③松本 和海 (大阪) 2'54"57

■男子 200m 平泳ぎ

- ①樫根 滉太郎 (大阪教育) 2'17"37
 - ②木原 陸 (大阪) 2'21"83
 - ③清川 翔紀 (神戸) 2'25"23★
- 清川 翔紀 2'28"22
 遠藤 力人 2'33"97
 近藤 真史 2'37"03★

■女子 4×50m フリーリレー

- ①大阪教育大学 1'54"96
 - ②神戸大学 1'55"18
- 友定 北岡 石田 千住
 ③大阪大学 1'56"17

■男子 4×100m フリーリレー

- ①大阪教育大学 3'30"69
 - ②神戸大学 3'32"56
- 松島 徳山 縄田 村尾
 ③大阪公立大学 3'32"84

■女子4×100mメドレーリレー

- ①大阪大学 4'40"35
②大阪公立大学 4'41"39
③神戸大学 4'43"71
石田 千住 北岡 増田

■男子4×100mメドレーリレー

- ①大阪教育大学 3'49"20
②大阪大学 3'54"41
③神戸大学 3'56"58
縄田 三宅 松島 村尾

■女子200m個人メドレー

- ①豊田 光彩(京都) 2'28"98
②千住 響子(神戸) 2'31"62
③藤澤 依里子(大阪教育) 2'31"80

■男子200m個人メドレー

- ①近藤 泰吾(大阪) 2'07"77
②竹田 瞬希(大阪教育) 2'11"41
③太田 浩紀(神戸) 2'13"96★
太田 浩紀 2'15"17★
細見 隼斗 2'19"64★
新保 空 2'23"88★
〈決〉細見 隼斗 2'18"27★

■女子400m自由形

- ①入江 望来(大阪教育) 4'34"34
②園部 由季(和歌山) 4'48"34
③太田 ひまわり(大阪) 5'05"83
増田 夢菜 5'31"95

■男子400m自由形

- ①悦過 大知(大阪教育) 4'04"46
②田中 琉太(和歌山) 4'05"12
③堀上 諒馬(大阪教育) 4'10"83
岡崎 圭佑 4'23"87

■女子100m自由形

- ①石田 絢子(神戸) 59"86★
②北岡 さくら(神戸) 1'00"25
③清川 柚紀(大阪教育) 1'01"43
〈決〉増田 夢菜 1'07"50

■男子100m自由形

- ①道越 光星(大阪公立) 51"33
②岡山 雅(大阪公立) 52"74
③二宮 亮太(大阪教育) 53"48
村尾 知紀 54"21★
徳山 元太 55"82
山本 征明 56"47★
〈決〉村尾 知紀 53"56★

■女子100mバタフライ

- ①熊川 ひなた(京都) 1'05"78
②中西 梨予(大阪公立) 1'07"04
③平嶋 美月(大阪) 1'09"30

■男子100mバタフライ

- ①松島 優太(神戸) 54"69
②生部 悠樹(大阪教育) 55"81
③日下 和希(京都) 56"06
松島 優太 56"27
前野 陸人 59"23
森本 熱海 1'01"62★

■女子100m背泳ぎ

- ①福井 梨香子(大阪) 1'06"38
②中村 優月(滋賀県立) 1'12"64
②岡山 華音(滋賀) 1'12"64
友定 佳那 1'25"64
〈決〉友定 佳那 1'25"13

■男子100m背泳ぎ

- ①福島 悠貴(大阪公立) 59"42
②縄田 大翔(神戸) 59"47★
③梅井 一輝(大阪公立) 1'01"03

縄田 大翔 1'01"26★

- 森本 恭輔 1'02"12
〈決〉森本 恭輔 1'02"50

■女子100m平泳ぎ

- ①藤澤 依里子(大阪教育) 1'14"11
②勝野 花菜(大阪公立) 1'16"26
③松本 和海(大阪) 1'21"07

■男子100m平泳ぎ

- ①樫根 滉太郎(大阪教育) 1'02"85
②木原 陸(大阪) 1'05"32
③西山 京吾(大阪) 1'05"46
遠藤 力人 1'10"04
清川 翔紀 1'07"99
三宅 翔 1'08"28
〈決〉清川 翔紀 1'07"74

■女子4×100mフリーリレー

- ①神戸大学 4'10"87
石田 北岡 千住 増田
① 大阪大学 4'18"14
③大阪教育大学 4'18"35

■男子4×200mフリーリレー

- ①大阪教育大学 7'49"34
② 京都大学 7'58"54
③大阪大学 8'01"63
神戸大学 8'04"28
岡崎 縄田 村尾 松島

■男子総合成績
3位

■女子総合成績
2位



**第96回関西学生選手権水泳競技大会
第58回関西女子学生選手権水泳競技大会
兼第98回日本学生選手権水泳競技大会 関西支部予選会
2022年7月22日～24日・丸善インテック大阪プール(公認50m)**

新型コロナウイルスが部内で蔓延した影響により、この2週間活動ができず、そして試合に全員出場することができなかった。結果として男子は3部降格してしまった。しかしそれでも各自が今のベストを尽くすことができた。

■女子50m自由形

- ①小島 奈々 (天理) 27"09
- ②石田 絢子 (神戸) 27"41
- ③高橋 美沙姫 (大阪国際) 27"77
- 北岡 さくら 28"85
- 石田 絢子 27"64
- <決>北岡 さくら 28"52

■男子50m自由形

- ①道越 光星 (大阪公立) 23"31
- ②大前 翔太朗 (大阪) 23"98
- ③十田 一輝 (大阪国際) 24"23

■女子400m自由形

- ①入江 望来 (大阪教育) 4'31"01
- ②荒井 春海 (天理) 4'49"07

- ③太田 ひまわり (大阪) 5'02"41
- <決>増田 夢菜 5'41"50

■男子400m自由形

- ①天野 壮裕 (甲南) 4'07"06
- ②久慈 大翔 (立命館) 4'08"75
- ③杉山 門世 (立命館) 4'09"75
- 岡崎 圭佑 4'33"47

■女子200mバタフライ

①水竹 愛美 (大阪国際) 2'31"77

■男子200mバタフライ

①川崎 甲斐 (立命館) 2'05"11

②川畑 章馬 (立命館) 2'06"91

③中野 雄太 (立命館) 2'07"62

太田 浩紀 2'15"84

<決>太田 浩紀 2'13"40

■女子200m背泳ぎ

①東海 友理子 (天理) 2'24"37

②千葉 喬子 (大阪公立) 2'35"04

③清水 恵那 (神戸女子) 2'35"74

<決>友定 佳那 3'06"46

■男子200m背泳ぎ

①下家 快斗 (甲南) 2'08"16

②中嶋 聡志 (大阪国際) 2'08"21

③今中 万裕 (立命館) 2'10"23

森本 恭輔 2'26"48

■女子100m平泳ぎ

①藤澤 依里子 (大阪教育)

1'13"80

②勝野 花菜 (大阪公立) 1'17"49

③松本 和海 (大阪) 1'20"14

■男子100m平泳ぎ

①近藤 泰吾 (大阪) 1'02"94

②森 耀平 (立命館) 1'03"59

③相浦 友希 (甲南) 1'03"65

遠藤 力人 1'10"00

三宅 翔 1'10"31

■女子4×100mフリーリレー

①天理大学 4'01"12

②神戸大学 4'12"10

石田 北岡 千住 増田

③大阪国際大学 4'14"40

■男子4×100mフリーリレー

①甲南大学 3'29"91

②立命館大学 3'30"52

③京都大学 3'35"28

神戸大学 3'39"53

縄田 三宅 岡崎 太田

■女子200m自由形

①中村 百恵 (天理) 2'06"81

②中村 ゆらら (大阪国際)

2'10"84

③石田 絢子 (神戸) 2'14"93

増田 夢菜 2'34"18

石田 絢子 2'13"54

<決勝>増田 夢菜 2'33"30

<決>石田 絢子 2'14"93

■男子200m自由形

①天野 壮裕 (甲南) 1'55"84

②杉山 門世 (立命館) 1'56"46

③早矢仕 幸佑 (立命館) 1'57"39

岡崎 圭佑 2'04"42

縄田 大翔 2'02"65

■女子100mバタフライ

①小塚 美輝 (天理) 1'03"94

②野瀬 理沙 (天理) 1'04"40

③熊川 ひなた (京都) 1'05"52

■男子100mバタフライ

①川崎 甲斐 (立命館) 55"82

②日下 和希 (京都) 56"32

③川畑 阜馬 (立命館) 56"42

前野 陸人 59"60

<決>前野 陸人 59"58

■女子200m個人メドレー

①豊田 光彩 (京都) 2'25"31

②福井 梨香子 (大阪) 2'25"82

③藤澤 依里子 (大阪教育)

2'28"48

<決>千住 響子 2'36"17

■男子200m個人メドレー

①志水 建斗 (甲南) 2'01"79

②柴垣 光佑 (立命館) 2'07"35

③近藤 泰吾 (大阪) 2'08"72

新保 空 2'24"42

細見 隼斗 2'21"02

太田 浩紀 2'15"60

<決>太田 浩紀 2'14"91

■女子800m自由形

①荒井 晴海 (天理) 9'59"25

②水竹 愛美 (大阪国際) 10'18"98

■女子4×100mメドレーリレー

①天理大学 4'30"04

②大阪大学 4'40"20

③大阪公立大学 4'43"64

神戸大学 4'47"42

石田 千住 北岡 増田

■男子4×100mメドレーリレー

①甲南大学 3'48"70

②立命館大学 3'51"51

③大阪大学 3'54"34

神戸大学 4'03"61

縄田 三宅 太田 村尾

■女子400m個人メドレー

①豊田 光彩 (京都) 5'17"75

②小野 ひなた (天理) 5'23"33

■男子400m個人メドレー

①志水 建斗 (甲南) 4'29"92

②柴垣 光佑 (立命館) 4'33"94

③小西 大翔 (甲南) 4'34"48

新保 空 5'12"54★

細見 隼斗 5'05"09

友定 佳那 1'28"04

三宅 翔 2'35"92

■女子1000m自由形

- ①中村 百恵 (天理) 58"27
- ②小島 奈々 (天理) 1'00"36
- ③高橋 美沙姫 (大阪国際) 1'00"45
- 北岡 さくら 1'00"98
- <決>北岡 さくら 1'00"61

■男子1000m自由形

- ①道越 光星 (大阪公立) 51"15
- ②十田 一輝 (大阪国際) 52"77
- ③岡山 雅 (大阪公立) 52"79
- 村尾 知紀 54"74

■女子1000m背泳ぎ

- ①小塚 美輝 (天理) 1'06"35
- ②東海 友理子 (天理) 1'07"31
- ③福井 梨香子 (大阪) 1'07"48

■男子1000m背泳ぎ

- ①下家 快斗 (甲南) 58"93
- ②福島 悠貴 (大阪公立) 59"58
- ③中嶋 聡志 (大阪国際) 1'00"33
- 森本 恭輔 1'02"98
- 縄田 大翔 1'02"72

■女子2000m平泳ぎ

- ①勝野 花菜 (大阪公立) 2'45"19
- ②千住 響子 (神戸) 2'49"43
- ③松本 和海 (大阪) 2'54"81
- <決>千住 響子 同上

■男子2000m平泳ぎ

- ①相浦 友希 (甲南) 2'17"46
- ②森 耀平 (立命館) 2'17"92
- ③藤山 朋紀 (立命館) 2'22"67
- 遠藤 力人 2'33"28

■女子4×50mフリーリレー

- ①天理大学 1'49"58
- ②神戸大学 1'53"22
- 石田 北岡 千住 増田
- ③大阪国際大学 1'54"94

■男子4×200mフリーリレー

- ①甲南大学 7'42"94
- ②立命館大学 7'45"36
- ③京都大学 7'55"69
- 神戸大学 8'10"98
- 縄田 太田 岡崎 村尾

■男子総合成績

7位

■女子総合成績

3位



第69回全国国公立大学選手権水泳競技大会 2022年8月10日～8月12日・金沢プール(公認50m)

先月の部内における新型コロナウイルス流行の影響で泳ぎ込めなかったものの、今ある力をすべて出し切ることができた。

■女子400mメドレーリレー

- ①筑波大学 4'12"39
 - ②鹿屋体育大学 4'19"03
 - ③愛知教育大学 4'19"62
- 神戸大学 4'42"26
石田 千住 北岡 増田

■男子400mメドレーリレー

- ①筑波大学 3'39"44
 - ②鹿屋体育大学 3'45"11
 - ③大阪教育大学 3'48"42
- 神戸大学 3'53"19
縄田 清川 松島 村尾

■女子400m個人メドレー

- ①三浦 理音(筑波) 4'49"60
- ②山下 ひなた(筑波) 4'51"45
- ③岡 莉子(鹿屋体育) 4'57"76

■男子400m個人メドレー

- ①杉浦 涼一(筑波) 4'28"09
 - ②三浦 恵太(筑波) 4'28"45
 - ③堀内 健裕(鹿屋体育) 4'29"66
- 新保 空 5'16"13
細見 隼斗 5'07"33

■女子200m自由形

- ①中村 実夢(筑波) 2'02"45
 - ②今村 涼花(筑波) 2'03"72
 - ③端野 咲紀(鹿屋体育) 2'04"30
- 増田 夢葉 2'31"07★
北岡 さくら 2'12"45

■男子200m自由形

- ①水上 瑠日(鹿屋体育) 1'51"94
- ②宮本 直輝(筑波) 1'52"01

③悦過 大知(大阪教育) 1'53"95

- 徳山 元太 2'07"75
- 岡崎 圭佑 2'04"40
- 縄田 大翔 1'57"45

■女子50m自由形

- ①込山 瞳(筑波) 25"74
 - ②久保田 梨琉(鹿屋体育) 25"75
 - ③土井 香凜(筑波) 25"76
- 石田 絢子 27"39
<決>石田 絢子 27"22

■男子50m自由形

- ①岩崎 世那(筑波) 22"87
 - ②道越 光星(大阪公立) 23"00
 - ③田中 一光(鹿屋体育) 23"23
- 山本 征明 25"54
三宅 翔 24"92
村尾 知紀 24"79

■女子200mバタフライ

- ①後野 真衣(鹿屋体育) 2'12"50
- ②有村 咲希(鹿屋体育) 2'15"25
- ③泉 遥叶(筑波) 2'15"88

■男子200mバタフライ

- ①小林 拓(筑波) 1'59"65
 - ②前原 優真(鹿屋体育) 2'03"83
 - ③松島 優太(神戸) 2'05"28
- 前野 陸人 2'12"29
松島 優太 2'06"38
<決>松島 優太 同上

■女子200m背泳ぎ

- ①井田 真由(筑波) 2'18"12
- ②山下 ひなた(筑波) 2'19"21

③大鐘 結衣(愛知教育) 2'21"22

- 友定 佳那 3'10"76

■男子200m背泳ぎ

- ①三浦 玲央(筑波) 2'02"73
 - ②中園 剛志(鹿屋体育) 2'05"39
 - ③柳 遥貴(岡山) 2'08"50
- 森本 恭輔 2'17"23

■女子200m平泳ぎ

- ①高橋 奈々(筑波) 2'31"41
 - ②平林 優花(筑波) 2'32"23
 - ③安藤 綾美(愛知教育) 2'33"81
- 千住 響子 2'52"83

■男子200m平泳ぎ

- ①間島 亮太郎(筑波) 2'12"11
 - ②榎田 大己(鹿屋体育) 2'13"54
 - ③直江 篤樹(鹿屋体育) 2'14"07
- 近藤 真史 2'39"33
遠藤 力人 2'34"50
清川 翔紀 2'29"51

■女子4×50mフリーリレー

- ①筑波大学 1'42"58
 - ②鹿屋体育大学 1'45"26
 - ③愛知教育大学 1'48"09
- 神戸大学 1'53"40
石田 北岡 千住 増田

■男子4×100mフリーリレー

- ①筑波大学 3'23"89
 - ②鹿屋体育大学 3'27"01
 - ③岡山大学 3'27"22
- 神戸大学 3'32"96
松島 縄田 三宅 村尾

■女子200m個人メドレー

- ①三浦 理音 (筑波) 2'20"06
- ②吉原 杏実 (筑波) 2'20"61
- ③泉 遥叶 (筑波) 2'21"69
- 千住 響子 2'39"10

■男子200m個人メドレー

- ①三浦 恵太 (筑波) 2'03"70
- ②杉浦 涼一 (鹿屋体育) 2'06"20
- ③近藤 泰吾 (大阪) 2'07"68
- 細見 隼斗 2'21"00

■女子400m自由形

- ①端野 咲紀 (鹿屋体育) 4'22"25
- ②今村 涼花 (筑波) 4'22"60
- ③岡 莉子 (鹿屋体育) 4'23"89

■男子400m自由形

- ①水上 瑠日 (鹿屋体育) 3'57"50
- ②岩城 優太 (筑波) 3'58"16
- ③宮本 直輝 (筑波) 4'01"30
- 岡崎 圭佑 4'27"85

■女子1000m自由形

- ①久保田 梨琉 (鹿屋体育) 56"43
- ②中村 実夢 (筑波) 56"80
- ③賀部 寿音 (筑波) 57"71
- 増田 夢菜 1'07"53
- 北岡 さくら 1'01"59
- 石田 絢子 59"87
- <決>石田 絢子 1'00"00

■男子1000m自由形

- ①道越 光星 (大阪公立) 51"26
- ②田中 一光 (鹿屋体育) 51"32
- ③別所 輝 (名古屋工業) 51"40
- 徳山 元太 56"11
- 村尾 知紀 54"05

■女子1000mバタフライ

- ①飯塚 千遥 (筑波) 58"78
- ②後野 真衣 (鹿屋体育) 1'00"85
- ③関根 滯央 (愛知教育) 1'01"68

■男子1000mバタフライ

- ①小林 拓 (筑波) 53"90
- ②小池 翔 (筑波) 54"74
- ③伊藤 陽哉 (東京都立) 54"74
- 森本 熱海 1'02"13
- 前野 陸人 58"95
- 松島 優太 55"22
- <決>松島 優太 54"91

■女子1000m背泳ぎ

- ①井田 真由 (筑波) 1'03"49
- ②片桐 珠実 (筑波) 1'04"22
- ③大鐘 結衣 (愛知教育) 1'04"92
- 友定 佳那 1'28"60

■男子1000m背泳ぎ

- ①三浦 玲央 (筑波) 55"54
- ②平野 洋康 (富山) 56"37
- ③古屋 璃空 (筑波) 56"61
- 森本 恭輔 1'03"37

縄田 大翔 1'00"16

■女子1000m平泳ぎ

- ①高橋 奈々 (筑波) 1'10"92
- ②安藤 綾美 (愛知教育) 1'11"97
- ③平林 優花 (筑波) 1'12"31

■男子1000m平泳ぎ

- ①間島 亮太郎 (筑波) 1'01"18
- ②榎田 大己 (鹿屋体育) 1'01"61
- ③後藤 旭登 (九州) 1'02"35
- 遠藤 力人 1'10"57
- 三宅 翔 1'09"40
- 清川 翔紀 1'07"68

■女子4×100mフリーリレー

- ①筑波大学 3'48"64
- ②鹿屋体育大学 3'50"92
- ③愛知教育大学 4'00"04
- 神戸大学 4'10"80
- 石田 北岡 千住 増田

■男子4×200mフリーリレー

- ①鹿屋体育大学 7'33"04
- ②筑波大学 7'33"24
- ③大阪教育大学 7'46"24
- 神戸大学 7'55"55
- 縄田 村尾 岡崎 松島

■男子総合成績

6位

■女子総合成績

7位



第 10 回関西学生夏季長水路公認記録会 2022 年 8 月 21 日・丸善インテック大阪プール(公認 50m)

ベスト率が高い試合とは言えなかったが、自己ベストを大きく更新する選手もいて、日々の練習の成果が目に見えた試合であった。また4回生の引退レースもあり、最後の勇姿を全員で応援しようとする様子も見られ、とても良い雰囲気の中で試合に参加できた。

■女子 50m 自由形
増田 夢菜 30"10★

■男子 50m 自由形
村尾 侑哉 25"51★
山本 征明 25"25

■女子 200m 個人メドレー
千住 響子 2'35"79

■男子 200m 個人メドレー
長谷川 聖 2'40"98★
縄田 大翔 2'12"67★

■男子 100m バタフライ
野崎 智仁 1'09"90
細見隼斗 1'01"79★
松阪 竜希 1'02"98
太田 浩紀 59"43★
山本 征明 59"43★
前野 陸人 58"48

■男子 100m 背泳ぎ
森本 恭輔 1'03"39

■男子 100m 平泳ぎ
近藤 真史 1'11"95
遠藤 力人 1'09"88
清川 翔紀 1'08"04
三宅 翔 1'08"61

■女子 100m 自由形
北岡 さくら 1'00"48

■男子 100m 自由形
村尾 侑哉 56"38
徳山 元太 55"85
縄田 大翔 53"71★

■男子 400m 自由形
野崎 智仁 5'02"28★
岡崎 圭佑 4'24"82

■男子 400m 個人メドレー
長谷川 聖 6'04"43★

■男子 200m バタフライ
松阪 竜希 2'25"23★
前野 陸人 2'15"68

■男子 200m 平泳ぎ
清川 翔紀 失格
遠藤 力人 2'36"82
近藤 真史 2'39"74

■女子 200m 自由形
北岡 さくら 2'12"05

■男子 200m 自由形
細見 隼斗 2'06"64
岡崎 圭佑 2'01"81★

■男子 400m フリーリレー
神戸大学 3'50"28
清川 野崎 岡崎 縄田
神戸大学 3'47"67
森本 細見 徳山 遠藤



第 98 回 日本学生選手権水泳競技大会 2022 年 8 月 28 日～31 日・東京辰巳国際水泳場(公認 50m)

神戸大学からは、100m バタフライ、200m バタフライ、男子 400m メドレーリレーに出場した。納得のいく結果ではなかったが、日本のトップレベルの選手の泳ぎを直接見ることができたため、今回のレースの反省点も含め、収穫の多い大会となった。

■女子 50m 自由形

- ①池江 璃花子 (日本) 25"09
- ②今牧 まりあ (早稲田) 25"37
- ③神野 ゆめ (中京) 25"39

■男子 50m 自由形

- ①松本 周也 (中京) 22"13
- ②今野 太介 (早稲田) 22"19
- ③須田 悠介 (早稲田) 22"32

■女子 100m 自由形

- ①池江 璃花子 (日本) 54"26
- ②池本 凧沙 (中央) 54"35
- ③神野 ゆめ (中京) 55"05

■男子 100m 自由形

- ①田中 大寛 (早稲田) 49"33
- ②須田 悠介 (早稲田) 49"39
- ③伊藤 裕馬 (山梨学院)
49"45

■女子 200m 自由形

- ①池本 凧沙 (中央) 1'58"99
- ②永島 遥 (東洋) 2'00"23
- ③今井 美祈 (中京) 2'01"05

■男子 200m 自由形

- ①田中 大寛(早稲田) 1'48"42
- ②柳本 幸之介(日本) 1'48"79
- ③石崎 慶祐 (日本) 1'48"91

■女子 400m 自由形

- ①難波 実夢 (近畿) 4'07"43
- ②小堀 倭加 (日本) 4'09"73
- ③古八 優季 (中京) 4'11"10

■男子 400m 自由形

- ①井本 一輝 (中央) 3'48"71
- ②田淵 海斗 (明治) 3'49"91
- ③黒川 紫唯 (近畿) 3'50"36

■女子 800m 自由形

- ①難波 実夢 (近畿) 8'35"65
- ②小堀 倭加 (日本) 8'37"03
- ③古八 優季 (中京) 8'38"54

■男子 1500m 自由形

- ①井本 一輝 (中央) 15'14"59
- ②本山 空(新潟医福)15'28"14
- ③庭野 直樹 (明治) 15'28"77

■女子 100m 背泳ぎ

- ①秀野 由光 (神奈川) 1'01"03
- ②山崎 光 (新潟医福) 1'01"56
- ③渡会 円香 (同志社) 1'01"89

■男子 100m 背泳ぎ

- ①柳川 大樹 (明治) 54"32
- ②眞野 秀成 (日本) 54"64
- ③三浦 玲央 (筑波) 55"03

■女子 200m 背泳ぎ

- ①秀野 由光 (神奈川) 2'12"29
- ②又木愛紗(日本体育)2'12"81
- ③関口 真穂 (法政) 2'13"52

■男子 200m 背泳ぎ

- ①西小野皓大 (中京) 1'57"74
- ②眞野 秀成 (日本) 1'58"29
- ③柳川 大樹 (明治) 1'58"76

■女子 100m 平泳ぎ

- ①今井 月 (東洋) 1'06"99
- ②浅羽 栞 (早稲田) 1'07"14
- ③緒方 温菜 (中央) 1'07"78

■男子 100m 平泳ぎ

- ①間島 亮太郎 (筑波) 1'00"00
- ②平河 楓 (早稲田) 1'00"26
- ③本田 航平 (日本体育)
1'00"49

■女子 200m 平泳ぎ

- ①今井 月 (東洋) 2'23"02
- ②宮坂 倭乃 (明治) 2'25"58
- ③浅羽 栞 (早稲田) 2'25"66

■男子 200m 平泳ぎ

- ①佐藤 翔馬 (慶応義塾)
2'08"46
- ②深沢 大和 (慶応義塾)
2'10"49
- ③平河 楓 (早稲田) 2'11"09

■女子 100m バタフライ

- ①飯塚 千遥 (筑波) 58"40
- ②津田 萌咲 (新潟医福) 58"82
- ③廣下 菜月 (中京) 58"84

■男子 100m バタフライ

- ①石川 慎之助 (日本) 51"84
- ②西田 拓郎 (神奈川) 51"92
- ③塚本 康介 (近畿) 52"62
- 松島 優太 54"69

■女子 200m バタフライ

- ①内田かりん(神奈川) 2'08"64
 ②山岸 琴美(東洋) 2'09"02
 ③林 希菜(同志社) 2'09"18
- 男子 200m バタフライ
 ①本田 灯(日本) 1'54"06
 ②森本 哲平(近畿) 1'55"95
 ③寺門 弦輝(日本) 1'56"95
 松島 優太 2'05"83
- 女子 200m 個人メドレー
 ①松本 信歩(早稲田) 2'11"04
 ②石原 愛依(神奈川) 2'13"48
 ③佐藤 梨央(青山学院) 2'14"55
- 男子 200m 個人メドレー
 ①小方 颯(日本) 1'58"10
 ②松本 周也(中京) 1'58"52
 ③井狩 裕貴(近畿) 1'58"86
- 女子 400m 個人メドレー
 ①梶本 一花(同志社) 4'40"30
- ②佐藤 梨央(青山学院) 4'42"93
 ③室木 未菜(神奈川) 4'46"03
- 男子 400m 個人メドレー
 ①本田 灯(日本) 4'11"29
 ②小方 颯(日本) 4'13"26
 ③寺門 弦輝(日本) 4'13"69
- 女子 4×100m フリーリレー
 ①中京大学 3'41"64
 ②東洋大学 3'43"33
 ③早稲田大学 3'44"65
- 男子 4×100m フリーリレー
 ①日本大学 3'16"69
 ②早稲田大学 3'17"47
 ① 中京大学 3'18"85
- 女子 4×200m フリーリレー
 ①中京大学 8'02"94
 ②東洋大学 8'03"35
- ③日本大学 8'04"52
- 男子 4×200m フリーリレー
 ①日本大学 7'11"06
 ②近畿大学 7'17"26
 ② 明治大学 7'18"22
- 女子 4×100m メドレーリレー
 ①中京大学 4'02"81
 ②早稲田大学 4'03"02
 ③明治大学 4'05"64
- 男子 4×100m メドレーリレー
 ①日本大学 3'35"92
 ②早稲田大学 3'36"23
 ③明治大学 3'36"38
 神戸大学 3'54"17
 縄田 清川 松島 村尾

2022年度大阪公立大学・神戸大学定期戦 2022年9月3日(土)大阪公立大学プール(25m)

- 男子・混合 400m メドレーリレー
 ①大阪公立大A 4'17"34
 ②神戸大A 4'21"18
 森本 遠藤 野崎 村尾
 ③神戸大B 4'26"16
 前野 清川 新保 北岡
 神戸大水球 5'03"05
 伊藤 川崎 大星 杉山
- 女子 50m 自由形
 ①北岡さくら(神戸) 29"05
 ②勝野 日菜(大阪公立) 29"65
 ③赤沢 萌絵(大阪公立) 31"38
- 矢迫 恋佳 31"59
- 男子 50m 自由形
 ①徳山 元太(神戸) 25"86
 ②縄田 大翔(神戸) 26"01
 ③香月 佑太(大阪公立) 26"90
 伊藤 路人 29"30
 浅野 俊太 30"40
 杉山 智哉 28"08
 夏目 大暉 29"07
- 女子 100m 背泳ぎ
 ①千葉 喬子(大阪公立) 1'16"07
- ②堀内 咲歩(大阪公立) 1'17"59
- 男子 100m 背泳ぎ
 ①下里 航生(大阪公立) 1'07"87
 ②前野 陸人(神戸) 1'08"12
 ③福本 雄大(大阪公立) 1'11"05
 清川 翔紀 1'15"37
 長谷川 聖 1'22"12
- 男女 200m 個人メドレー
 ①村尾 侑哉 2'27"70

②遠藤 力人 2'29"60

③早川 祥生 2'31"29

■男子400mフリーリレー

①大阪公立大 A 3'53"93

②神戸大 A 3'56"57

森本 新保 岡崎 縄田

③神戸大 B 4'01"82

清川 野崎 徳山 村尾

■女子1000m平泳ぎ

①赤沢 萌絵(大阪公立) 1'31"51

②久井 花恋(大阪公立) 1'40"39

■男子1000m平泳ぎ

①村尾 侑哉(神戸) 1'13"25

②縄田 大翔(神戸) 1'15"00

③榎原 繁彰(大阪公立)

1'19"05

森本 恭輔 1'26"93

徳山 元太 1'18"10

■女子1000m自由形

①勝野 花菜(大阪公立)

1'07"06

②中西 梨子(大阪公立)

1'09"77

③矢迫 恋佳(神戸) 1'11"99

■男子1000m自由形

①前野 陸人(神戸) 57"71

②長谷川 聖(神戸) 1'00"08

③野崎 智仁(神戸) 1'03"82

■男女1000mバタフライ

①南谷 研志(大阪公立) 1'00"3

②遠藤 力人(神戸) 1'07"74

③福島 悠貴(大阪公立)

1'03"04

■混合200mフリーリレー

①神戸大 1'49"69

松島 徳山 矢迫 長谷川

②大阪公立大 1'56"74

第16回関西学生冬季公認記録会

2022年12月17日～18日・秋葉山公園県民水泳場(公認25m)

全体のベスト率が高く、一人ひとりのベストに全員で喜び合う雰囲気がとても素晴らしくて、新シーズン1発目の試合として良いスタートが切ることができた。

■女子200m自由形

北岡 さくら 2'08"14

■男子200m自由形

長谷川 聖 2'13"64

野崎 智仁 2'13"16★

村尾 侑哉 2'00"55★

岡崎 圭佑 2'01"31

縄田 大翔 1'50"52★

松島 優太 1'49"65

■男子50m背泳ぎ

森本 恭輔 28"29★

■男子400m個人メドレー

伊藤 路人 5'03"99★

太田 浩紀 4'42"66★

■男子50m自由形

細見 隼斗 失格

村尾 侑哉 24"41★

徳山 元太 24"73★

山本 征明 24"57

■女子100m平泳ぎ

千住 響子 1'14"57

■男子100m平泳ぎ

近藤 真史 1'08"53★

遠藤 力人 1'04"78

三宅 翔 1'05"95

清川 翔紀 1'03"33★

■女子100mバタフライ

北岡 さくら 1'02"46★

■男子100mバタフライ

森本 熱海 1'00"24

前野 陸人 56"00★

松島 優太 52"42

■女子 200m 背泳ぎ
清水 恵那 2'23"84★

■男子 200m 背泳ぎ
森本 恭輔 2'07"98

■男子 400m フリーリレー
神戸大学 3'39"22
野崎 山本 細見 縄田
神戸大学 3'29"05
松島 徳山 前野 太田

■女子 200m 個人メドレー
清水 恵那 2'28"05★
千住 響子 2'28"11

■男子 200m 個人メドレー
長谷川 聖 2'31"81
伊藤 路人 2'20"54
太田 浩紀 2'09"89

■男子 50m 平泳ぎ
近藤 真史 31"92★

三宅 翔 29"76★

■男子 400m 自由形
野崎 智仁 4'43"09★

■女子 100m 背泳ぎ
清水 恵那 1'05"52★

■男子 100m 背泳ぎ
細見 隼斗 1'01"84★
森本 恭輔 59"28
縄田 大翔 56"84★

■男子 200m バタフライ
前野 陸人 2'07"45

■女子 100m 自由形
矢迫 恋佳 1'09"13★
北岡 さくら 58"32

■男子 100m 自由形
村尾 侑哉 53"08★
山本 征明 55"03
岡崎 圭佑 53"56★
徳山 元太 53"59★

■男子 200m 平泳ぎ
近藤 真史 2'30"29★
遠藤 力人 2'21"11★
清川 翔紀 2'19"40★

■男子 50m バタフライ
森本 熱海 26"15★

■男子 400m メドレーリレー
神戸大学 3'54"05
森本 遠藤 山本 徳山

神戸大学 3'43"50
縄田 清川 松島 前野

■女子 200m フリーリレー
神戸大学 1'59"01
北岡 千住 江口 棟廣

■男子 800m フリーリレー
神戸大学 7'44"65
縄田 徳山 山本 松島



2022 年度兵庫県水球春季選手権大会
2022 年 5 月 29 日・尼崎北高校



新入生が加わった初の公式試合であった。公式戦初得点を決める者もあり、チームとしての課題を見つけつつも新戦力が加わり次が楽しみな試合であった。

◇試合結果

VS 神戸水球(コールド)

	1	2	3	4	計	得点	新保
神大	6	5	1		12		大星
神水	1	1	0		2		川崎
							谷垣
							向山
							六川
							夏目
							濱田

VS ヘルメス

	1	2	3	4	計	得点	夏目
神大	1	3	1	1	6		谷垣
ヘル	3	1	3	2	9		六川
							濱田

VS 尼崎北高校

	1	2	3	4	計	得点	新保	7
神大	7	5	5	5	22		夏目	4
尼北	0	1	1	0	2		川崎	3
							向山	3
							谷垣	1
							六川	1
							濱田	1
							大星	1
							杉山	1

令和4年度京都選手権水球競技大会
2022年6月4日～6月5日・京都アクアリーナプール



普段あまり対戦することのない相手と闘うことができ、良い経験になった。広い試合会場で4P全出場となった選手もいた。

◇試合結果

VS 京都踏水会(コールド)

	1	2	3	4	計	得点	新保	7
神大	5	4	4		13		六川	2
踏水	0	3	0		3		夏目	2
							向山	1
							大星	1

VS 西京高校

	1	2	3	4	計	得点	新保 2
神大	0	2	2		4		夏目 1
西京	8	3	6		17		大星 1

VS 大阪大学

	1	2	3	4	計	得点	大星 2
神大	4	1			5		向山 1
阪大	2	3			5		新保 1 夏目 1

令和4年度関西選手権水球競技大会
2022年6月11日～6月12日・大阪プール



2週連続の試合となり、強敵相手との試合が続いた。点差が広がる試合が多かったが、関西学生選手権につながる試合となった。

◇試合結果

VS 龍谷大学(コールド)

	1	2	3	4	計	得点	新保 2
神大	2	0	0	0	2		
龍谷	5	3	6	3	17		

VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1	2	3	4	計	得点	新保 3
神大	1	3	3	2	9		濱田 3
び成	2	4	5	4	15		向山 1
							六川 1
						大星 1	

VS 関西学連選抜 OB

	1	2	3	4	計	得点	大星 4
神大	4	3	0	2	9		夏目 2
関西	5	1	0	2	8		向山 1 六川 1 濱田 1

2022 年度関西学生選手権水泳競技大会水球競技

2022 年 7 月 2・3 日・京都アクアリーナプール

2022 年 7 月 9・10 日・丸善インテック大阪プール



一部残留を目標に挑んだ関西学生選手権であったが、目標を超えインカレ出場を決めることができた。たくさんの応援の中、接戦を勝ち切り、選手マネージャー共にチーム一丸となって戦いぬいた大会である。

◇試合結果

VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1	2	3	4	計	得点	六川 1
神大	2	1	1	0	4		新保 1
び成	3	4	3	2	12		夏目 1 濱田 1

VS 大阪公立大学

	1	2	3	4	計	得点	新保 2
神大	1	0	2	2	5		夏目 2
公立	0	2	1	1	4		大星 1

VS 立命館大学

	1	2	3	4	P	計	得点	新保 4 濱田 3 六川 2 夏目 1 大星 1
神大	1	3	1	2	4	11		
立命	2	3	1	1	2	9		

VS 龍谷大学

	1	2	3	4	計	得点
神大	0	0	0	0	0	
龍谷	2	4	2	5	13	

VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1	2	3	4	計	得点	新保 5 夏目 2 谷垣 1
神大	2	2	3	1	8		
び成	8	2	4	8	22		

一部 3 位

2022 年度第 98 回日本学生選手権水球競技
2022 年 8 月 30 日～9 月 1 日・横浜国際プール



夢の舞台で王者日本体育大学と闘えたことを光栄に思う。

ここで得た経験を糧に来年度もこの場に戻ってこられるよう精進していきたい。

◇試合結果

VS 日本体育大学(コールド)

	1	2	3	4	計	得点	夏目 1
神大	0	1			1		
日体	14	15			29		

2022 年度大阪公立大戦
2022 年 9 月 3 日 ・大阪公立大学



3年ぶりの開催となった大阪公立大戦だが、公立大、競泳等多くの人との交流の機会となった。これからも大会が開催されることを願う。

◇試合結果

VS 大阪公立大

	1	2	3	4	計	得点	濱田 9
神大	6	9	6	4	25		夏目 4
							川崎 4
							新保 3
大阪公立大	6	2	3	2	14		大星 3
							向山 2

2022 年度京都選手権秋季大会

9月17日,18日 鳥羽高校

新体制となって初めての公式戦。初の試合フル出場だった 1 回生も2点以上得点するなど、様々な反省点はあったものの、たくさんの収穫があった大会であった。

◇試合結果

vsYMCA(6分 2P)

	1	2	計	得点	伊藤 2 新保 1 大星 1 川崎 1
神大	3	2	5		
YMCA	0	1	1		

vs 乙訓高校

	1	2	計	得点	夏目 4 新保 3 大星 2
神大	4	5	9		
乙訓高校	1	0	1		

Vs 稲生高校

	1	2	計	得点	夏目 4 新保 2 杉山 1
神大	3	5	8		
稲生高校	1	0	1		

Vs 乙訓クラブ(5分4P)

	1	2	3	4	計	得点	夏目 2 新保 1 川崎 1 杉山 1 大星 1
神大	1	1	3	1	6		
乙訓クラブ	2	2	3	0	7		

Vs 大谷高校

	1	2	3	4	計	得点	夏目 3 川崎 3 新保 1 大星 1
神大	3	2	3	0	8		
大谷高校	1	0	1	0	2		

2022 年度関西学生秋季水球競技大会

10月22日,23日 びわこ成蹊スポーツ大学 アクアセンター

今シーズンの目標を達成するために超えなければならない壁の高さを実感しながら、悔しい結果となってしまった関西秋季。今後の練習に影響を与える、重要な大会となった。

vs 関西学連選抜(5分 4P)

	1	2	3	4	計	得点	夏目 4 大星 2 新保 1 川崎 1 伊藤 1
神大	1	2	3	3	9		
学連選抜	8	2	4	6	20		

vs 大阪大学

	1	2	3	4	計	得点	新保 7 大星 6 夏目 4 川崎 2 伊藤 1
神大	6	5	6	3	20		
阪大	1	1	1	2	5		

vs 立命館・大阪公立大学

	1	2	3	4	計	得点	新保 5 夏目 3 川崎 2 伊藤 1 大星 1
神大	4	2	6	2	12		
立命館・ 大阪公立	3	4	6	4	17		

第4回全国国公立大学選手権水球競技プレ大会

11月5日,6日 筑波大学屋内プール



普段の大会では試合することがほとんどない関東の大学と水球ができた貴重な大会であった。実力的には格上の筑波大学と試合ができたのもよい経験であった。

vs 一橋大学(10分 2P)

	1	2	計	得点	夏目 2 大星 1
神大	3	0	3		
一橋大学	0	2	2		

vs 京都大学

	1	2	計	得点	夏目 3 新保 2 伊藤 1
神大	4	2	6		
京大	3	3	6		

vs 筑波大学

	1	2	計	得点	
神大	0	0	0		
筑波大学	9	8	17		

vs 千葉大学(8分 4P)

	1	2	3	4	計	得点	新保 5 大星 2
神大	1	0	2	4	7		
千葉大学	4	3	2	6	17		

2022 年度兵庫県選手権大会

11 月 13 日 尼崎スポーツの森

偶然にも全神大と試合をすることができた本大会。ペナルティ合戦の末に敗北し、全神大は今大会で優勝した。

vs 神戸水球(5 分 2P)

	1	2	計	得点	夏目 2 大星 2
神大	1	3	4		
神戸水球	3	1	4		

vs トライ

	1	2	計	得点	夏目 3 新保 2 浅野 1 伊藤 1 杉山 1
神大	4	4	8		
トライ	2	0	2		

vs 大谷高校

	1	2	計	得点	夏目 3 新保 2 大星 1 伊藤 1
神大	3	4	7		
大谷高校	2	0	2		

vs 全神戸大学

	1	2		計	得点	夏目 3 新保 3 大星 2
神大	2	0	PS6	8		
全神大	1	1	PS7	9		

vs 大阪大学(4 分 4P)

	1	2	3	4		計	得点	夏目 5 大星 4 新保 3
神大	3	3	3	0	PS3	12		
阪大	2	4	1	2	PS2	11		

2022 年度なみはやカップ水球競技大会

1 月 14 日,15 日 東和薬品 RACTAB ドーム

試合時間自体が短いということもあってか、急展開が多く起こる試合となった。今シーズン倒さなければならぬ相手である立命館大学にペナルティ合戦で敗北するという悔しい結果となった。

vs 新世会(4 分 1P)

	1	計	得点	新保 2 川崎 1
神大	3	3		
新世会	2	2		

vs 京都大学

	1	計	得点	新保 1 濱田 1
神大	2	2		
京大	1	1		

vsCNK

	1	計	得点	伊藤 1
神大	1	1		
CNK	6	6		

vs 公立大学

	1	計	得点	夏目 1
神大	1	1		
公大	3	3		

vs 立命館大学(4分 4P)

	1	2	3	4		計	得点	新保 2 夏目 2 濱田 2 杉山 1 伊藤 1
神大	2	3	1	3	PS1	10		
立命館	3	0	2	4	PS2	11		

2022 年度 KCSA ウィンターリーグ

2月18日,19日,20日 びわこ成蹊スポーツ大学 アクアセンター

格上の相手に対しても、そこまで実力差がない相手に対しても接戦まで持ち込む印象が強かった今大会。強豪のびわこ成蹊スポーツ大学にも、3Pまで勝っていたものの最終的に逆転されてしまった。

vs立命館大学(6分 2P)

	1	2	計	得点	新保 2 川崎 2 濱田 1 杉山 1
神大	3	3	6		
立命館	4	4	8		

vs 関西学連選抜

	1	2	計	得点	新保 1 夏目 1 大星 1
神大	2	1	3		
学連選抜	6	4	10		

vs 京都大学

	1	2	計	得点	濱田 2
神大	1	1	2		
京大	1	1	2		

vs 大阪産業大学

	1	2	計	得点	新保 2 濱田 2 大星 2 夏目 1 杉山 1
神大	3	5	8		
大産	1	2	3		

vs びわこ成蹊スポーツ大学(6分 4P)

	1	2	3	4	計	得点	夏目 3 伊藤 2 川崎 2 大星 2 新保 1
神大	2	4	2	2	10		
びわこ	1	3	3	6	13		

vs 関西学院大学

	1	2	3	4	計	得点	夏目 5 新保 1 濱田 1
神大	3	1	1	2	7		
関学	1	2	1	2	6		

vs 京都大学

	1	2	3	4	計	得点	夏目 3 新保 2 大星 2
神大	3	1	2	1	7		
京大	2	1	0	0	3		

vs 大阪大学

	1	2	3	4	計	得点	大星 5 新保 3 杉山 2 夏目 2 伊藤 1 川崎 1
神大	2	3	2	7	14		
阪大	2	1	2	1	6		



リレーエッセー(第17回)

リレーエッセーは平成19年度号からスタートし、今号で第17回になり、のべ80名の会員にご出筆いただきました。リレー経緯は次の通りです。(敬称略)

平成卒世代男性		
第1回(平成19年度号)		甲野 賢(平2)
第2回(平成20年度号)	森 宣幸(平16)	羽瀬 智文(平2)
第3回(平成21年度号)	信田 泰弘(平17)	↓
第4回(平成22年度号)	↓	
第5回(平成23年度号)	岡 一成(平18)	當麻 尚正(平3)
第6回(平成24年度号)	加藤 晃裕(平19)	一越 健治(平4)
第7回(平成25年度号)	宮崎 仁志(平20)	富村 英三(平5)
第8回(平成26年度号)	司馬 竜也(平21)	木村 一也(平6)
第9回(平成27年度号)	↓	高橋 一弘(平7)
第10回(平成28年度号)	中務 晶太(平25)	小柳 勝義(平8)
第11回(平成29年度号)	真志田 仁(平25)	諫山 大介(平9)
第12回(平成30年度号)	新見 卓也(平27)	濱出 憲一郎(平11)
第13回(平成31年度号)	松田 龍介(平27)	井畑 陽平(平12)
第14回(令和2年度号)	河本 昌樹(平28)	青木 浩介(平4)
第15回(令和3年度号)	中野 樹(平29)	中畑 寛之(平5)
第16回(令和4年度号)	李 将太(平29)	松島 英樹(平6)
第17回(今号)	須波 涼(平31)	

平成卒世代女性		
第1回(平成19年度号)		小笠原 陽子(昭50)
第2回(平成20年度号)	河原 あや(平17)	川本 典子(昭51)
第3回(平成21年度号)	西川 弥穂(平18)	星合 正子(昭53)
第4回(平成22年度号)	濱本 有紀(平19)	桑本 万里(昭55)
第5回(平成23年度号)	砂留 沙季子(平21)	土井 紀子(昭57)
第6回(平成24年度号)	上田 久美子(平19)	中北 路代(昭58)
第7回(平成25年度号)	田染 茉莉子(平20)	山中えみこ(昭60)
第8回(平成26年度号)	↓	↓
第9回(平成27年度号)	加藤 優(平23)	松本 典子(昭61)
第10回(平成28年度号)	末森 香織(平21)	渡辺 久美子(昭61)
第11回(平成29年度号)	福永 真希(平19)	近藤 えり(昭63)
第12回(平成30年度号)	米田 晃士(平17)	岡崎 景子(平元)

第13回(平成31年度号)	松本 章子(平18)	西村 美和(平元) ※多忙のため未掲載
第14回(令和2年度号)	金居 菜緒(平23)	加地 恵(昭63)
第15号(令和3年度号)	渡辺 祥子(平24)	松平(枝澤) 百合子(平3)
第16回(令和4年度号)	平 佳苗	

商船大OB・OG「みずむし会」		
第1回(平成19年度号)	西村 尚 ※多忙のため未掲載	
第2回(平成20年度号)		本間 正信 (海事科学部教員)
第3回(平成21年度号)		沖浦 征治(11N)
第4回(平成22年度号)	恵美 裕(平9)	石田 憲治(昭47)
第5回(平成23年度号)	加藤 亮二 (平20・海事科学部)	※山浦 高幸(昭63) にお願いしておりましたが 出筆いただけませんでした。 格谷 隆(平 3)
第6回(平成24年度号)	※石田 達朗	
第7回(平成25年度号)	(平18・海事科学部)	
第8回(平成26年度号)	にお願いしておりましたが事情により 出筆いただけませんでした。	
第9回(平成27年度号)		
第10回(平成28年度号)	↓	
第11回(平成29年度号)	西村 尚(平 6) ※未掲載	
第12回(平成30年度号)	柳瀬 啓(平 4)	
第13回(平成31年度号)	中山 勝之(平 5)	
<p>(お知らせ)</p> <p>平成15年に神戸大学と神戸商船大学が統合され、これを機に「みずむし会」の会員も任意で凌泳会に参加していただく運びとなりました。平成19年に始まったこのリレーエッセーでは、みずむし会から凌泳会にご参加くださった会員と積極的に交流を図るために、4レーンあるリレーの1つとして、『商船大OB・OG「みずむし会」』(※海事科学部含む)を設けてまいりましたが、実際にリレーが難しくなったこともあり、13回の回を重ねてその役割を終えたと判断し、第13回をもってリレーを終了することに致しました。悪しからず御了承ください。</p>		

昭和卒世代男性		
第1回(平成19年度号)		石井 義章(昭27)
第2回(平成20年度号)	島崎 昌彦(昭62)	野田 浩志(昭36)
第3回(平成21年度号)	川原田 貢(昭61)	林 荘八郎(昭38)
第4回(平成22年度号)	長崎 真人(昭59)	前田 和秀(昭40)
第5回(平成23年度号)	谷水 利行(昭59)	真喜志 好一(昭41)
第6回(平成24年度号)	吉岡 宏之(昭59)	宮部 高博(昭42)
第7回(平成25年度号)	浦野 敏明(昭60)	↓
第8回(平成26年度号)	坂田 純孝(昭60)	熊岡 禎二(昭44)
第9回(平成27年度号)	↓	玉置 明(昭45)

第10回(平成28年度号)	吉田 不二彦(昭60) ※未掲載	井上 与志男(昭45)
第11回(平成29年度号)	↓	以西 吉一(昭45)
第12回(平成30年度号)	南谷 昌宏(昭60)	菱田 徹(昭45)
第13回(平成31年度号)	原田 久富美(昭62)	岩切 博(昭46)
第14回(令和2年度号)	後呂 忠詳(昭63) ※未掲載	大橋 進(昭46) ※未掲載
第15回(令和3年度号)	↓	↓
第16回(令和4年度号)		

水球面の夜明け

須波 涼・平31(2019)

李先輩よりご指名を賜りました、平成最後の卒業となりました須波です。

卒業後すぐに新型コロナウイルスの流行等があったこともあり、なかなか部活動・現役の方との交流には顔を出せていませんが、SNS・ブログなどでその活躍は拝見しています。せっかくこのような機会を頂きましたので、4年間を振り返ってみたいと思います。

その前に近況報告でもさせていただきます。現在は大阪に住んでおり、相変わらずの生活です。とあるデパートで勤務しています。新型コロナのパンチもあり、斜陽業界と騒がれて久しいですが、なんとか各社経営を立て直せるよう、頑張ろうとしています。私も一員として、何とか立て直せるように尽力しているところです。

さて本題の振り返り、に入ります。

突然ですが僕らの4年間の最終成績は「学生リーグ1部昇格」でした。関学大との入替戦、第4ピリオド終了の瞬間、一つ雲を突き抜けた感じがしました。飛行機

に乗っているとき、地上の景色が見えなくなっ

て雲しか見えなくなる、みたいな感じです。あの日は晴れた京都大プールでしたね。最後の1分間くらいでしょうか、今でも鮮明に覚えています。4年間いろんな人にお世話になって、ようやく一つの結果を出すことが出来ました。

私は2回生夏のリーグ戦が終わり、当時4回生であった中野先輩たちの引退と同時に水球面主任へと任命されました。2年間水球面の一応トップとして勤めていたわけです。

今当時のブログなど振り返っていますが、主任らしいことは一つもしていなかったし、こんなことを言うと怒られそうですが・・・しようもしていなかったのかもしれませんが。特段リーダーシップをとったり、ひいては背中で語る・・・などは一切なかったでしょう。

ただ私の行動のエネルギーとなっていたのはやはり「一部昇格を狙う」という一つの目標でした。負けても次こそは、来年こそは、というマインドだけは捨てずに戦い抜きました。

1・2年目のリーグ戦は人員もかつかつ、けが人が出れば一発でアウトという状態で臨んだり、沈められながらおぼれそうになりながら、とんでもないスコアでの敗戦など、毎週土日の京都大学への足取りがとても重かったのを覚えています。でもそこで腐心せず、やってこれた。今思えばドン底ですが、まさに今の黄金期を迎える水球面にとって夜明けを迎えようとしているタイミングだったのでしょ。

3年目、因縁の相手大阪市立大に1点差で敗れ、屈辱の思いでラストに向けて走り出したとき「このままじゃ終わられへん」燃えに燃えました。しょうもないまま終わられへん、勝負は来年や、と。

色々縁もあって編入で島津君・椿君が入ってきてくれたりなど、非常に優秀かつ個性派の後輩たちも4年目には揃い、ついに「これならやれる、戦える」と確信しました。

まさに激動の4年間でした。ドラマチック。

李先輩の話を少しだけなぞると、李先輩が引退し、私が引退したあとの今も水球面の活動は続いています。たくさん部員もいて、インカレ出場など目覚ましい活躍です。

まさに黄金期。

偉大なOBの先輩方が過ごした時間、私が在籍した4年間の上に今の現役部員の方々の活躍があるのだと思うと、少しだけですがほっとした気持ちになります。最後までやってきてよかったと。

今卒業した身として記憶にあるのはやっぱりあの瞬間、あの時、という刹那的なものです。他にも色んな他愛もない会話をしたり、どうでもいい時間を過ごしたりもあつたと思いますが、その時間が絶えずここまで積み重なってきたから、今の水球面は続いているのだと思います。今の現役部員の方たちにも、そのような他愛もない時間を大切にして活動を続けていってもらえればと思います。そうすれば、きっと水球面もずっと続いていくものと思います。

以上、稚拙な文章で大変恐縮ですが、最後までお読みいただきありがとうございました。

さて次のバトンは・・・悩みに悩みましたが、まさに今も続く黄金期の立役者、現役時代は濃い4年間を送ったであろう島津君にお願いしたいと思います。なりあきら、よろしくね！

前年度レビュー			
テーマ	競泳面の目標		責任者
目標	男子: 関西学生 2 部 3 位, 全国国公立 8 位入賞 女子: 関西国公立団体権獲得, 関西学生全員決勝&人ベスト率 100%		
実施計画		実際の実施内容	
9 月	長期 OFF, 準備期 (Form 固め) チーム練, Swim Camp	9 月	長期 OFF, 準備期 (Form 固め) チーム練, Swim Camp
10 月	日本学生選手権 準備期, 基礎持久力期, 量的ハード期, チーム練	10 月	日本学生選手権 準備期, 基礎持久力期, 量的ハード期, チーム練
11 月	セントラル移行, ウェイト開始 量的ハード期, 質的ハード期, チーム練	11 月	セントラル移行, ウェイト開始 量的ハード期, 質的ハード期, チーム練
12 月	関西学生冬季公認記録会 年末強化期間 質的ハード期, テーパー期	12 月	関西学生冬季公認記録会 泳ぎ納め, 年末強化期間 質的ハード期, テーパー期
1 月	和歌山県短水路, 兵庫県短水路, 京都短水路(いずれも任意) 基礎持久力期, 量的ハード期	1 月	兵庫県短水路(任意) 基礎持久力期, 量的ハード期 チーム練
2 月	わかやまオープン, 兵庫県冬季公式(いずれも任意) 量的ハード期, 質的ハード期, テーパー期	2 月	春休み強化期間 (Part1) 量的ハード期 質的ハード期 テーパー期
3 月	関西学生春季室内選手権 強化合宿 (やしろ会館) 量的ハード期, 質的ハード期	3 月	関西学生春季室内選手権 国際大会日本代表選手選考会 春休み強化期間 (Part2) 量的ハード期, 質的ハード期
4 月	関西学生春季短水路選手権 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期	4 月	関西学生春季短水路選手権 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期
5 月	GW 強化練 関西学生夏季公認記録会	5 月	GW 強化練, ロング練 関西学生夏季公認記録会
6 月	関西学生チャンピオンシップ	6 月	関西学生チャンピオンシップ 金沢オープン(任意) 強化期間 (2部練, ロング練)
7 月	関西国公立大学選手権 (Short Taper), 関西学生選手権 (Long Taper)	7 月	関西国公立大学選手権 (Short Taper), 関西学生選手権 ロング練
8 月	全国国公立大学選手権 (Short Taper), 夏季長水路	8 月	全国国公立大学選手権 (Short Taper), 夏季長水路
9 月	日本学生選手権		日本学生選手権

目標の達成結果(成果)	男子:関西国公立3位, 関西学生2部7位, 全国国公立6位 女子:関西国公立3位, 関西学生2部3位, 全国国公立7位
実施しての感想(発見・反省)	<p><良かった点>部員全員のモチベーションアップのため、定期的に目標確認と練習計画の共有を行った。これにより、各人が必要なトレーニングを考えることができ、練習前後に部員同士誘い合って+αでウエイトトレーニング・補強トレーニングに積極的に取り組める雰囲気作りに繋がったと感じている。冬場は種目別練習(チーム練)を行うことで、限られた練習時間の中でも泳ぎに関する意見交換ができたのではないだろうか。また、夏場は練習メニューを距離別に分けることで、様々な競技レベルの選手それぞれに必要な練習を行う機会が設けられたと思う。</p> <p><悪かった点>春休みやGWなど例年であれば泳ぎ込みを行う時期にコロナにより十分な活動ができず、練習量が不足してしまった。その分、部員全員で毎日の補強トレーニングの量やバリエーションを増やすことで身体作りに励んだが、レースの後半や中長距離種目におけるペース配分の部分で課題があるように感じられた。今後は陸上トレーニングをより増やす、外部の長水路プールで練習を積む、冬場の任意試合には積極的に出場する等を行い、さらなるレベルアップと部員のモチベーション維持に努めたい。後輩たちの活躍を願っている。</p>
今後の課題	身体作り・夏場の得点レースに向け長水路プールでの練習

前年度レビュー				
テーマ	チームの連携を高める		責任者	谷垣 悠
目標	1部残留			
実施計画		実際の実施内容		
冬～ 春季	<p>・個人の能力を引き上げ、全員が勝負できるチームになる。</p> <p>・実戦練習の直後にミーティングを開き、映像を確認・修正といったサイクルを繰り返すことでわからないことを共有し、なくすようにする。また、月1回の定例ミーティングではテーマを決めて、担当者1人が講義をするという形で選手、マネージャー全員が知識をつけ、実戦に活かす。</p> <p>落ちた泳力を取り戻す。陸上のトレーニングでは、腹筋、体幹トレーニングなどの補強に加え、主に筋肥大のトレーニングを行うことで、1部の他大学との体格差を埋める。外部プールの練習では本番の試合を想定し、様々な戦術を試す。</p>	冬季	セントラルでの朝練は昨年同様実施すると共に、外部での他チームとの練習量を大幅に増やすことで、冬でも水球ができる環境を確保した。また、週1回程度の頻度でミーティングを開き、練習や試合の映像を確認しながら経験者から初心者へアドバイスをすることで技量の差を埋める時間を設け、チームの戦力アップをおこなった。	
		春季	対面、SNS両方での新歓活動を積極的におこない選手7名、マネージャー2名の計9名の新入生を獲得することができた。うち経験者2名が入部し、チームの即戦力として活躍し、全体のレベルアップにつながった。	

夏季	<p>新歓では、経験者初心者問わず、多くの新入部員を獲得し、チームの存続に努める。</p> <p>海事プールの練習では、1vs1や競り合いをすることで個々の能力の底上げを行う。</p> <p>六甲台の練習では、フルでコートを使えることを活かした練習メニューを取り入れ、体力の向上、チームの連携力の向上を狙う。また、積極的に他大学との練習を組み、試合の感覚を常に持ち続ける。</p>	夏季	<p>また、海事での練習に加え、尼崎北高校での合宿に参加し、実践感覚を身につけることを意識した。</p> <p>六甲台で試合の中の様々な状況を想定したメニューを実施した。</p> <p>数多くの試合に出場し、学生リーグに向けて個人、チームの両方の課題を認識し改善に取り組む繰り返しをおこなった。集中して多くの接戦を制し、1部3位でインカレに出場した。インカレでは日本体育大学と対戦し、大敗したものの大きな収穫を得た。</p>
目標の達成結果(成果)	1部3位インカレ出場(目標達成)		
実施しての感想(発見・反省)	<p><良かった点></p> <p>学生リーグまで、他チームとの練習や試合を通して見つけた課題を自分達の練習で改善し、再び他チームとの試合で試すことの繰り返しを何度も重ねることで、強いチームを作ることができた。後輩たちには、この経験を活かしてさらに強くなることを願っている。</p> <p><悪かった点></p> <p>単純に練習量、ミーティングの回数を増やすだけでは、モチベーションの低下を招いてしまうことも考慮すべきであった。</p>		
今後の課題	部員獲得、戦力強化		

前年度レビュー			
テーマ	競泳 or 水球 面の目標		責任者
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの状況が改善されてきつつも以前のように行事等を通常開催することは困難であるため、代替的な方法での開催を模索する。 ・対面での部員勧誘の機会が減っているため、インスタグラムやツイッターでの発信を増やし、部員の確保に努める。 		
実施計画		実際の実施内容	
<p>・行事等について</p> <p>昨年度はコロナウイルスによる未曾有の事態で、凌泳総会や月見の宴をはじめとして全ての行事が開催できなかった。今年度は現時点で凌泳総会こそオンラインで開催できたものの、月見の宴は中止となっている。現在も学外関係者の学内への立ち入りは禁止されており、追出しコンパなど、従来の形式での開催</p>		<p>・行事等について</p> <p>凌泳総会については昨年度と同様、オンラインでの開催となった。また、追出しコンパについても同様現役部員のみでの開催となったが、学内施設の利用が可能だったため昨年度よりも長時間の開催ができた。また、市大戦改め大阪公立大戦を開催することができた。感染対策のため基本的にOBOGの観戦はできず、現役生の</p>	

<p>ができない状況である。そこで学外施設やオンラインなどを利用してなるべくOB、OGの方々と現役部員とが交流できる機会の確保ができるよう努める。</p> <p>・SNSについて</p> <p>学外での大会は基本的に無観客での開催が続いている。ツイッターやフェイスブックでの結果報告はなされているものの、以前と比べると依然として活動状況が外部に開かれていない状況である。既存の媒体でのライブ配信などを通じてより臨場感のある活動報告ができないか模索する。また、六甲祭がオンラインでの開催となったり、対面での新歓や活動の体験参加が許可されなかったりと、部員の増加がなかなか見込まれない状況である。この問題に関しても既存のアカウントでの発信を増やし、より活動状況を明瞭な状態にすることで解決を図る。</p> <p>・その他業務について</p> <p>合宿や他大学との合同練習などが許可され、昨年度と比べると可能な活動の幅が広がった。副務との協力のもと、部員がストレスなく円滑に活動できるよう努める。また前主務が充足させたマニュアル類のさらなる充足に努める。</p>	<p>みでの開催となったが、両校ともに大会を楽しむことができ、来年度以降の本格的再開に向けて良いきっかけとなったのではないかと思う。</p> <p>・SNSについて</p> <p>新たな取り組みについては特に行っていないが、ツイッターやインスタグラムなど既存の媒体での積極的な発信ができた。フェイスブックについては一時的に発信が途絶えた時期があったなど、問題もあった。</p> <p>・その他業務について</p> <p>自身が苦勞した点を踏まえて、後任に対する引継ぎ資料としてマニュアルを充足させた。また、凌泳会 100 周年記念大会開催に向けて準備を進めた。</p>
<p>目標の達成結果(成果)</p>	<p>概ね達成できた。</p>
<p>実施しての感想(発見・反省)</p>	<p><良かった点> 中止されていた行事を再開するきっかけを作れたこと。</p> <p><悪かった点> 郵送などにコストがかかりすぎた点。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>デジタル化</p>

目標設定と実施計画			
テーマ	競泳面 目標	責任者	松島優太
目標	男子: 全国国公立 3 位、関西国公立優勝、全員生涯ベスト更新 女子: 関カレ全種目ベスト率 100%		
実施計画			
<p>2022 年</p> <p>9 月 長期 OFF, 新体制スタート</p> <p>10 月 日本短水路選手権 基礎力養成期, フォーム固め</p> <p>11 月 セントラル移行, ウェイト開始 量的ハード期, フォーム固め</p> <p>12 月 ジャパンオープン, 関西学生冬季公認記録会 質的ハード期, テーパー期, 年末強化期間</p> <p>2023 年</p> <p>1 月 和歌山県短水路, 兵庫県短水路, 京都短水路(いずれも任意) 基礎力養成期, 量的ハード期</p> <p>2 月 わかやまオープン, 兵庫県冬季公式(いずれも任意) 量的ハード期</p> <p>3 月 関西学生春季室内選手権, 強化合宿(秋葉山) 強化期間</p> <p>4 月 関西学生春季短水路選手権, 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期</p> <p>5 月 関西学生夏季公認記録会 GW 強化期間, 質的ハード期, テーパー期</p> <p>6 月 関西学生チャンピオンシップ 質的ハード期, テーパー期</p> <p>7 月 関西国公立大学選手権, 関西学生選手権</p> <p>8 月 全国国公立大学選手権, 夏季長水路</p> <p>9 月 日本学生選手権</p>			

テーマ	水球面 目標	責任者	新保 空
目標	インカレ出場		
実施計画			
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力を引き上げ、全員が勝負できるチームになる。 ・試合後にミーティングを開き、映像を確認することで、課題を発見し、修正するといったサイクルを繰り返す。 ・また、新入生獲得を目的に含めた遠征や練習試合を行うことを計画している。 <p>〈冬期〉</p> <p>セントラルの朝練では、水球に活きる練習メニューを採用し、基礎泳力を養う。陸上のトレーニングでは、腹筋、体幹トレーニングなどの補強に加え、主に筋肥大のトレーニングを行うことで、他大学との体格差を埋める。外部プールの練習では本番の試合を想定し、様々な戦術を試す。</p> <p>〈春期〉</p> <p>新歓では、実際に水球を体験して面白さを知ってもらい、経験者初心者問わず、多くの新入部員を獲得し、チームの存続に努める。</p> <p>新入生に基本的なルールやフットワークなど、基礎を教える。</p> <p>学生リーグに向けて試合経験を積み、チームの完成度を高めていく。</p> <p>〈夏期〉</p> <p>1対1などの個人技術を高めるとともに、接戦のケースなど、試合のそれぞれの場面を意識した練習を取り入れ、チームの連携力の向上を狙う。また、積極的に他大学との練習を組み、試合の感覚を常に持ち続ける。</p> <p>〈秋期〉</p> <p>基礎的な体力、技術の向上を狙う。</p> <p>積極的に大会に参加することでライバル校の実力を把握すると共に新チームとしての戦い方を模索し、弱点を克服する。</p>			

目標設定と実施計画			
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスにより開催できなかった行事の復活 ・現役部員の活動のサポート 	責任者	野崎智仁
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの状況が改善されつつあり、大学側の規制も緩和されつつある今、コロナ前の行事の復活に努める。 ・現役部員の活動のサポートに尽力する。 		
実施計画			
<ul style="list-style-type: none"> ・行事等について 昨年度は月見の宴をはじめとして主要の行事が開催できなかった。今年度は現時点で凌泳総会こそオンラインで開催できたものの、月見の宴は中止となっている。昨年度よりもコロナウイルスによる規制が緩和され学内での活動が一部出来るようになった今、コロナ禍前の行事の復活に努めていきたい。 ・現役部員の活動のサポートについて 活動の制限が緩和されつつあり、現役部員の練習の環境を今までよりもより良くできると考えている。具体的には、夏の試合に向けて長水路での練習場所の確保、夏の海事プールの練習環境や冬の陸上トレーニングの練習環境の改善などが挙げられる。練習環境を改め、現役部員の活躍の手助けとなるように努めていきたい。 ・その他業務について 合宿や他大学との合同練習などが許可され、昨年度と比べると可能な活動の幅が広がった。副務との協力のもと、部員がストレスなく円滑に活動できるよう努める。 			

歴 代 10 傑

平成20年号から、神戸商船大学と神戸大学の歴代10傑を統合しました。

神戸商船大学歴代10傑は『凌泳』平成18年度号・平成19年度号に掲載されております。ご了承ください。

なお、統合に際しましては注意をはらっておりますが、間違い等のご指摘がございましたら、ご連絡ください。

【男子】*印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです。

50m自由形

1	倉田和俊	H31	23"83(L)
2	中路尋貴	H26	24"12(L)
3	PavanMattia	H31	24"16(L)
4	中田晃輔	R3	24"18(L)
5	村尾知紀	R4	24"33(L)
6	三宅翔	R4	24"41(L)
7	佐伯義樹	H29	24"59(L)
8	瀬下幸成	H30	24"66(L)
9	門隆一	R3	24"72(L)
10	森圭祐	H30	24"76(L)

8	楠原達樹	H27	1'58"81(L)
9	段野光宏	H21	1'59"22(L)
10	平川 翔	H25	1'59"71(L)

400m自由形

1	楠原達樹	H27	4'06"26(L)
2	安倍健登	H24	4'10"24(L)
3	矢野尊彦	H25	4'13"24(L)
4	橋本竜馬	H28	4'15"00(L)
5	恵田寧人	H31	4'18"37(L)
6	橋本昌昂	H27	4'18"46(L)
7	山田凌平	H28	4'18"51(L)
8	阪本清一郎	H24	4'18"65(L)
9	玉川智嗣	H27	4'18"79(L)
10	段野光宏	H21	4'19"11(L)

100m自由形

1	松島優太	R3	52"01(L)
2	倉田和俊	H30	52"59(L)
3	中路尋貴	H27	52"79(L)
4	井出健太	H24	52"99(L)
5	中田晃輔	R3	53"33(L)
6	村尾知紀	R4	53"56(L)
7	縄田大翔	R4	53"71(L)
8	PavanMattia	H31	53"74(L)
9	橋本竜馬	H29	53"98(L)
10	矢野尊彦	H24	54"00(L)

200m自由形

1	松島優太	R3	1'53"91(L)
2	井出健太	H24	1'55"65(L)
3	縄田大翔	R4	1'56"17(L)
4	矢野尊彦	H25	1'56"92(L)
5	橋本竜馬	H29	1'57"23(L)
6	安倍健登	H25	1'57"45(L)
7	西田和也	H31	1'58"24(L)

800m自由形

1	高見維吹	H30	8'54"18(L)
2	土方了輝	H19	9'12"06(L)
3	槇尾 晋	H18	9'29"05(L)
4	福岡達信	H8	9'29"12(L)
5	宮岡孝和	H14	9'29"43(L)
6	*松本照生	H1	9'30"01(L)
7	古谷拓裕	S63	9'36"80(L)
8	高橋克哉	H13	9'43"43(L)
9	山田 篤	H7	9'44"40(L)
10	藤本博之	H3	9'45"90(L)

200m蝶泳

1	松島優太	R3	2'02"30(L)
2	西田和也	H31	2'04"46(L)
3	玉川智嗣	H24	2'06"09(L)
4	魚住周平	H29	2'09"33(L)
5	前野陸人	R3	2'10"24(L)
6	小齋一彰	H17	2'10"65(L)
7	太田浩紀	R4	2'10"82(L)
8	槇尾 晋	H20	2'13"42(L)
9	加藤亮	H19	2'14"78(L)
10	小南裕明	H5	2'14"84(L)

1500m自由形

1	楠原達樹	H27	15'54"26(L)
2	高見維吹	H30	16'55"69(L)
3	橋本昌昂	H28	16'57"64(L)
4	安倍健登	H23	17'23"77(L)
5	矢野尊彦	H22	17'31"54(L)
6	玉川智嗣	H26	17'32"24(L)
7	宮岡孝和	H15	17'40"70(L)
8	田中 光	H25	17'43"60(L)
9	福岡達信	H9	17'49"01(L)
10	槇尾 晋	H20	17'58"89(L)

100m背泳

1	森 圭祐	H30	58'00(L)
2	櫻田侑佑	H23	58"40(L)
3	田中 光	H27	58"69(L)
4	縄田大翔	R4	59"47(L)
5	大海陸人	R3	1'00"12(L)
6	平川 翔	H25	1'00"52(L)
7	志賀寛和	R3	1'01"35(L)
8	西田憲史	H11	1'01"90(L)
9	森本恭輔	R3	1'02"05(L)
10	北御門祥平	H24	1'02"61(L)

100m蝶泳

1	松島優太	R3	53"54(L)
2	西田和也	R2	56"12(L)
3	玉川智嗣	H26	56"90(L)
4	魚住周平	H30	58"11(L)
5	前野陸人	R3	58"32(L)
6	安倍健登	H27	59"16(L)
7	田中 光	H27	59"27(L)
8	山本征明	R4	59"43(L)
8	太田浩紀	R4	59"43(L)
10	加藤亮二	H19	59"92(L)

200m背泳

1	櫻田侑佑	H23	2'06"58(L)
2	田中 光	H27	2'06"85(L)
3	大海陸人	R3	2'11"35(L)
4	森 圭祐	H30	2'11"37(L)
5	西田憲史	H11	2'12"86(L)
6	平川 翔	H25	2'12"94(L)
7	森本恭輔	R3	2'13"87(L)
8	北御門祥平	H24	2'15"03(L)
9	櫻田侑佑	H20	2'16"72(L)
10	井阪嘉伸	H27	2'18"97(L)

100m平泳

1	峯浦 楽	R3	1'03"97(L)
2	山田凌平	H29	1'04"71(L)
3	北野 怜	H26	1'05"43(L)
4	三宅翔	R3	1'06"79(L)
5	今瀬将太	H26	1'07"16(L)
6	平松亮祐	H31	1'07"46(L)
7	清川翔紀	R3	1'07"54(L)
8	林 佑樹	H24	1'07"90(L)
9	後藤駿介	H23	1'08"46(L)
10	吉竹 望	H25	1'08"81(L)

400m個人メドレー

1	小齋一彰	H17	4'43"25(L)
2	山田凌平	H30	4'44"76(L)
3	高見維吹	H29	4'44"92(L)
4	楠原達樹	H26	4'46"71(L)
5	櫻田侑佑	H21	4'50"16(L)
6	安倍健登	H27	4'51"83(L)
7	田中 光	H24	4'53"38(L)
8	玉川智嗣	H27	4'53"79(L)
9	橋本竜馬	H27	4'53"89(L)
10	橋本昌昂	H28	4'54"16(L)

200m平泳

1	峯浦 楽	R3	2'17"95(L)
2	山田凌平	H30	2'19"59(L)
3	北野 怜	H26	2'22"26(L)
4	清川翔紀	R4	2'25"23(L)
5	後藤駿介	H23	2'27"82(L)
6	佐藤健太	H27	2'28"09(L)
7	林 佑樹	H24	2'28"85(L)
8	今瀬将太	H25	2'29"14(L)
9	藤尾幸平	H11	2'30"37(L)
10	三宅翔	R3	2'30"53(L)

400mリレー

1	中田・門 村尾・松島	R3	3'32"13(L)
2	松島・徳山・ 縄田・村尾	R4	3'32"56(L)
3	松島・縄田・ 三宅・村尾	R4	3'32"96(L)
4	佐伯・橋本 宇田・倉田	H29	3'34"06(L)
5	門・森 山田・倉田	H30	3'34"20(L)

200m個人メドレー

1	山田凌平	H30	2'09"13(L)
2	縄田大翔	R4	2'12"67(L)
3	小齋一彰	H17	2'12"78(L)
4	櫻田侑佑	H23	2'12"91(L)
5	高見維吹	H30	2'13"67(L)
6	安倍健登	H25	2'13"75(L)
7	太田浩紀	R4	2'13"96(L)
8	矢野尊彦	H24	2'14"85(L)
9	橋本竜馬	H27	2'15"56(L)
10	阪本清一郎	H24	2'17"54(L)

800mリレー

1	矢野・楠原 安倍・井出	H24	7'49"93(L)
2	安倍・楠原 平川・矢野	H25	7'51"55(L)
3	井出・安倍 阪本・矢野	H24	7'52"44(L)
4	矢野・平川 玉川・安倍	H25	7'54"19(L)
5	安倍・田中 玉川・楠原	H27	7'54"61(L)

400mメドレーリレー

1	大海・峯浦 松島・中田	R3	3'49"43(L)
2	大海・峯浦 松島・門	R3	3'51"18(L)

3	森・山田 西田・倉田	H30	3'51"82(L)
4	縄田・清川 松島・村尾	R4	3'53"19(L)
5	森・山田 魚住・門	H30	3'54"12(L)

【女子】

従来5傑までの掲載でしたが、平成20年度以降ランクイン分は、10 傑まで掲載します

50m自由形

1	石田絢子	R4	27"22(L)
2	中山尚美	H27	27"42(L)
3	見浪早紀	H30	27"79(L)
4	北岡さくら	R4	27"97(L)
5	井ノ本宙	H25	28"37(L)
6	田中理恵	H 8	28"54(L)
7	砂留沙季子	H18	28"65(L)
8	片山南瀬	H28	28"85(L)
9	加藤 優	H21	29"35(L)
10	多田羅美帆	H11	29"76(L)

100m自由形

1	石田絢子	R3	2'09"3(L)
2	北岡さくら	R4	2'11"67(L)
3	片山南瀬	H27	2'14"93(L)
4	田中理恵	H10	2'16"82(L)
5	中川優花	H31	2'18"93(L)
6	見浪早紀	H28	2'19"95(L)
7	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
8	河原あや	H15	2'23"42(L)
9	諸岡 舞	H24	2'24"39(L)
10	川上景子	S62	2'26"40(L)

100m自由形

1	中山尚美	H28	59"80(L)
2	石田絢子	R4	59"86(L)
3	北岡さくら	R4	1'00"25(L)
4	井ノ本宙	H27	1'00"51(L)
5	見浪早紀	H30	1'00"88(L)
6	砂留沙季子	H18	1'01"69(L)
7	田中理恵	H 8	1'02"18(L)
8	片山南瀬	H27	1'02"55(L)
9	五十嵐野恵	H30	1'02"78(L)
10	中川優花	H31	1'04"98(L)

400m自由形

1	石田絢子	H31	4'39"38(L)
2	見浪早紀	H31	4'47"12(L)
3	井ノ本宙	H27	4'47"51(L)
4	片山南瀬	H27	4'50"08(L)
5	五十嵐野恵	H31	4'53"15(L)
6	田中理恵	H10	4'57"16(L)
7	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
8	中川優花	H30	5'03"27(L)
9	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
10	河原あや	H16	5'07"46(L)

800m自由形

1	見浪早紀	H30	9'38"48(L)
2	石田絢子	H31	9'50"28(L)
3	五十嵐野恵	H30	10'01"19(L)
4	片山南瀬	H28	10'13"03(L)
5	中川優花	H30	10'21"38(L)
6	大橋愛子	H31	11'12"59(L)
7	増田夢菜	H31	12'31"99(L)

100m背泳

1	見浪早紀	H30	1'06"21(L)
2	難波みどり	H24	1'09"67(L)
3	中山尚美	H27	1'10"35(L)
4	井ノ本宙	H27	1'11"11(L)
5	片山南瀬	H27	1'11"12(L)
6	中川優花	H29	1'11"58(L)
7	石田絢子	R4	1'11"12(L)
8	五十嵐野恵	R3	1'11"90(L)
9	田中理恵	H10	1'12"68(L)
10	西川弥穂	H15	1'14"09(L)

200m蝶泳

1	見浪早紀	H31	2'26"31(L)
2	村山依子	H8	2'30"67(L)
3	寺井美穂子	H3	2'33"05(L)
4	西原萌笑	H30	2'34"73(L)
5	坂東美枝	S57	2'44"77(L)
6	諸岡 舞	H24	2'54"54(L)
7	横野恵理香	H14	2'57"86(L)
8	松田美加	H26	2'58"97(L)
9	川上景子	S60	3'00"02(L)
10	南谷夏未	H24	3'21"45(L)

200m背泳

1	見浪早紀	H30	2'27"10(L)
2	五十嵐野恵	R3	2'31"51(L)
3	片山南瀬	H28	2'34"25(L)
4	難波みどり	H24	2'35"07(L)
5	中川優花	H29	2'35"68(L)
6	田中理恵	H10	2'36"51(L)
7	下奥鈴佳	H31	2'39"73(L)
8	渡辺祥子	H23	2'41"69(L)
9	中山美穂	H12	2'43"11(L)
10	村上美和	S63	2'48"40(L)

100m平泳

1	井ノ本宙	H28	1'12"68(L)
2	千住響子	R3	1'18"51(L)
3	山本奈穂	H8	1'21"19(L)
4	鳥山比呂子	H27	1'21"65(L)
5	佐藤 文	H24	1'22"54(L)
6	臼井景子	H21	1'25"40(L)
7	大橋愛子	R3	1'25"61(L)
8	番場順子	H8	1'26"70(L)
9	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)
10	宮下静子	S63	1'27"57(L)

100m蝶泳

1	見浪早紀	H30	1'04"47(L)
2	西原萌笑	H30	1'07"50(L)
3	寺井美穂子	H4	1'08"02(L)
4	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
5	村山依子	H8	1'09"69(L)
6	坂東美枝	S57	1'14"30(L)
7	横野恵理香	H14	1'16"71(L)
8	松田美加	H25	1'21"08(L)
9	諸岡 舞	H23	1'24"06(L)
10	小松容子	H22	1'27"97(L)

200m平泳

1	井ノ本宙	H28	2'35"46(L)
2	千住響子	R4	2'47"48(L)
3	佐藤 文	H24	2'58"43(L)
4	山本奈穂	H9	2'59"59(L)
5	鳥山比呂子	H27	3'01"51(L)
6	清水めぐみ	H13	3'01"97(L)
7	番場順子	H8	3'02"17(L)
8	臼井景子	H21	3'03"36(L)
9	西原萌笑	H30	3'03"67(L)
10	大橋愛子	R3	3'04"20(L)

	西原・見浪		
--	-------	--	--

200m個人メドレー

1	井ノ本宙	H27	2'24"31(L)
2	五十嵐野恵	R3	2'29"58(L)
3	千住響子	R4	2'31"62(L)
4	中山尚美	H27	2'33"79(L)
5	田中理恵	H10	2'34"05(L)
6	中川優花	H29	2'36"89(L)
7	西原萌笑	H28	2'41"08(L)
8	加島宏子	H8	2'41"73(L)
9	寺井美穂子	H3	2'43"40(L)
10	諸岡 舞	H24	2'44"86(L)

200mリレー

1	中山・片山 見浪・井ノ本	H28	1'51"15(L)
2	中山・片山 西原・井ノ本	H27	1'52"05(L)
3	見浪・中川 片山・中山	H30	1'52"19(L)
4	石田・北岡 千住・増田	R4	1'53"22(L)
5	中山・中川	H29	1'54"01(L)

400mメドレーリレー

1	見浪・井ノ本 西原・中山	H28	4'29"80(L)
2	片山・井ノ本 西原・中山	H27	4'32"36(L)
3	見浪・五十西 原・中山	H30	4'34"81(L)
4	中川・五十嵐 見浪・石田	H31	4'39"72(L)
5	中川・中山 西原・見浪	H29	4'40"37(L)

400m個人メドレー

1	五十嵐野恵	H31	5'23"43(L)
2	田中理恵	H10	5'32"51(L)
3	西原萌笑	H30	5'43"67(L)
4	加島宏子	H8	5'48"97(L)
5	諸岡 舞	H24	5'50"66(L)
6	川上景子	S62	5'53"00(L)
7	井美穂子	H3	5'54"07(L)
8	番場順子	H7	5'55"99(L)
9	渡辺祥子	H23	6'03"57(L)
10	大橋愛子	H31	6'43"99(L)

400mリレー

1	五十嵐・片山 見浪・中山	H30	4'04"86(L)
2	中山・片山 見浪・井ノ本	H28	4'06"66(L)
3	石田・中川 五十嵐・見浪	H31	4'09"51(L)
4	五十嵐・中川 見浪・中山	H30	4'09"70(L)
5	石田・北岡 千住・増田	R4	4'10"80(L)

水球歴代戦績

平成20年度号から、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

(注)・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載を基に、昭和63年度以降を抜粋したものです。

・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。

・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。

・平成22年度以降は関西学生水球春季リーグがなくなったため、得点の集計の対象は関西学生水球選手権の試合のみとしています。

	関西学生 水球リーグ戦	関西学生 水球リーJr 戦	日本学生選手権	チーム得点王
昭和 63 年度	2 位	2 位	初戦敗退 vs 専修大	林 均 20 点
平成元年度	5 位	4 位	—	西島 淳一 21 点
平成 2 年度	2 位	2 位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44 点
平成 3 年度	2 位	優勝	初戦敗退 vs 日体大	木村 一也 54 点
平成 4 年度	不明	不明	不明	不明
平成 5 年度	優勝	5 位	初戦敗退 vs 中央大	木村 一也 43 点

	関西学生 水球リーグ戦	関西学生 水球秋季戦	日本学生選手権	チーム得点王
平成 6 年度	1 部 6 位	8 位	—	大場 理世 13 点
平成 7 年度	2 部優勝	6 位	—	井村 大智 33 点
平成 8 年度	2 部優勝	2 回戦敗退	—	塚本 善隆 59 点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生選手権	チーム得点王
平成 9 年度	3 位	3 位	ベスト 16 vs 鹿児島経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58 点
平成 10 年度	3 位	2 位	初戦敗退 vs 中央大	塚本 善隆 37 点

平成 11 年度	1 部 2 位	1 部 2 位	初戦敗退 vs 早稲田	塚本 善隆 37 点
平成 12 年度	1 部 5 位	2 部優勝	—	中島 太平 54 点
平成 13 年度	4 位	5 位	—	中井 秀昭 28 点
平成 14 年度	5 位	7 位	—	中井 秀昭 28 点
平成 15 年度	2 部優勝	6 位	—	篠原 康彦 40 点
平成 16 年度	不明	4 位	—	井口 靖之 29 点
平成 17 年度	3 位	3 位	初戦敗退 vs 成蹊大	井口 靖之 31 点
平成 18 年度	2 位	2 位	ベスト 16 vs 大阪大学 vs 立命館	井口 靖之 39 点
平成 19 年度	5 位	5 位	—	畠山 秀一 20 点
平成 20 年度	6 位	7 位	—	西澤 翔 22 点
平成 21 年度	8 位	8 位	—	山崎 友 18 点

	関西学生選手権	日本学生選手権	チーム得点王
平成 22 年度	7 位	—	藤丸 晃弘 20 点
平成 23 年度	6 位	—	新見 卓也 15 点
平成 24 年度	7 位	—	新見 卓也 12 点
平成 25 年度	7 位	—	新見 卓也 25 点
平成 26 年度	7 位	—	新見 卓也 24 点
平成 27 年度	8 位	—	李 将太/河本 昌樹 6 点
平成 28 年度	10 位	—	李 将太 21 点
平成 29 年度	10 位	—	戀水 修平 34 点
平成 30 年度	5 位	—	戀水 修平/ 大杉 玲央 20 点
平成 31 年度	4 位	—	島津 大地 40 点
令和 2 年度	4 位(関西学生秋季水球競技大会)	1 回戦敗退 vs 筑波大	新保 空/ 大杉 玲央 16 点
令和 3 年度	4 位	—	大杉 玲央 15 点
令和 4 年度	3 位	1 回戦敗退 vs 日本体育大学	新保 空 13 点

令和4年度 凌泳総会 議事録

令和4年度5月29日

1. 黙祷 ・水泳部並びに凌泳会の発展に寄与された諸先輩に対して黙祷を捧げた。

2. 会長挨拶 ・長谷川会長より挨拶(以下要約) 昨年に引き続き、致し方ないとはいえオンラインという形で開催できて嬉しく思います。新入部員の皆さんも入部したからにはぜひとも最後まで在籍していただいて、水泳生活に全うしていただけたらと心から願っております。コロナの状況で試合や練習など大変だと思いますが、頑張っていたかと思っております。

3. 水泳部長挨拶本間部長より挨拶(以下要約)

コロナ前ほどまでは戻っていないが、最近ようやく制限が緩和されてきました。現在の大きな制限としては学外者を施設内に入れないという方針があるので、神戸大以外の学生との交流や一緒に活動することが制限されてしまっている状態でございます。このような状況ですが頑張って参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4. 昨年度経過報告 ・長谷川会長より昨年度経過報告(以下要約) コロナによってほとんど活動できませんでした。100周年記念大会の委員会が昨年秋から再始動しております。

5. 議事 ・第一号議案 審議 資料を参照のこと 昨年度会計

・監査報告:決算承認 ※凌泳会の発送費は手続きのために増加。

※水泳部への援助金は剰余金を含め補助に充てる。

・第二号議案 審議 資料を参照のこと 凌泳会役員人事案:承認 新任 幹事 呉竹 正人 様 (凌泳マスターズ担当) 幹事 西澤 翔 様 (凌泳編集担当) 支援幹事 井上 聡 様 (中部支部長)

・第三号議案 審議 資料を参照のこと 本年度活動方針案:承認

※凌泳会 100周年記念全国大会の推進
※インカレ出場に対する応援活動の実施、寄付金を募る

※名簿の内容の充実 ・第四号議案 議案資料を参照のこと

本年度予算案:承認

※セントラルウェルネスクラブの使用料が今年から有料

6. 報告事項 ・長年、神大水泳部の幹事兼監督を務めていただいている金監督が、神戸大学水泳部はもちろん、兵庫県水泳界にも多大な貢献をされたことにより、功労者表彰を受賞されました。

・凌泳会 100周年記念大会に向けた活動資料を参照のこと

7. 水泳部 報告

・令和三年度決算報告:承認 (資料を参照のこと)

・令和四年度予算案、説明:承認(資料を参照のこと)

・令和四年度の活動方針 他

競泳男子本年度目標:

「関カレ 2 部 3 位」、

「全国公 8 位入賞」

競泳女子本年度目標:

「関国団体権獲得」、

「関カレ全員決勝&人ベスト率 100%」

水球本年度目標:

「1 部残留」

水泳部主将松阪より挨拶

(以下要約)

現在、少しでも良い結果を先輩方に届けたいというモチベーションを下に日々活動しております。昨今の状況から先輩方のお目

に直接かかることは叶いそうにありませんが、確実に先輩方の声援は私たちに届いており、私たちの背中をあと押ししてくれるものとなっておりますので今後とも神大水泳部をよろしくお願い致します。

・令和四年度新入部員自己紹介 他

8. ご参加いただいた OBOG の皆様より挨拶

本間部長・長谷川会長・酒井副会長・桑本副会長・金監督・呉竹様・甲野様・格谷様・恵美幹事・西澤様・上田様

以上

文責:野崎智仁

令和3年度 凌泳会決算報告書

令和3. 4. 1～令和4. 3. 31

＜収入の部＞ (単位:円)

科目	予算額	実績額	予算差額	備考
会費	1,200,000 (150名)	1,252,000 (159名)	52,000	前年比 -8,000円 新入会員12名/会費納入対象者422名
寄付金	300,000	384,000 (47件)	84,000	前年比 +32,900円
小計	1,500,000	1,636,000	136,000	参考: 令和2年度 1,611,100
雑収入	10	11	1	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	1,124,917	1,124,917		
合計	2,624,927	2,760,928	136,001	

【参照】会員総数560名(会費免除者121、夫婦会員17、準会員32)

＜支出の部＞

總會	30,000	66,826	36,826	總會中止案内
凌泳誌作成発送	250,000	309,895	59,895	凌泳印刷、発送
月見の宴	60,000	28,530	-31,470	月見の宴中止
会費督促	20,000	16,551	-3,449	督促状作成・発送(12月郵送)
郵便振込手数料負担	20,000	15,162	-4,838	支払い手数料等
銀行振替手数料負担	70,000	71,455	1,455	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	1,000,000	1,136,000	136,000	7月・年度末に分割して出金。予算実績差額を加算。
全国大会積立	20,000	20,000	0	H24年度より再スタート(累計20万円)
その他、事務連絡、雑費	20,000	6,610	-13,390	振込手数料、事務連絡通信費、メール維持費等
小計	1,490,000	1,671,029	181,029	
次年度繰越金	1,134,927	1,089,899	-45,028	
合計	2,624,927	2,760,928	136,001	

※監事による会計監査済みの印

令和4年4月9日

凌泳会監事 酒井 正人 印

令和4年度 凌泳会予算案

令和4. 4. 1～ 令和5. 3. 31

＜収入の部＞ (単位:円)

科目	予算額	対前年実績	備考
会費	1,250,000 (155名)	-2,000	新入会員20名 会費納入対象者433名
寄付金	300,000	-84,000	
小計	1,550,000	-86,000	
雑収入	10	-1	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	1,089,899	-35,018	
合計	2,639,909	-121,019	

【参照】会員総数578名(会費免除者128、夫婦会員17、準会員32)

＜支出の部＞

總會	60,000	-6,826	連絡用
凌泳誌作成発送	300,000	-9,895	凌泳印刷、発送
月見の宴	60,000	31,470	月見の宴案内状発送等
会費督促	20,000	3,449	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	20,000	4,838	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	-1,455	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助※	1,000,000	-136,000	6月・年度末に分割して出金
その他、事務連絡、雑費	20,000	13,390	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費、メール維持費、交通費等
小計	1,550,000	-121,029	
次年度繰越金	1,089,909	10	
合計	2,639,909	-121,019	

※会費納入目標以上の分は増額し、未達の場合は減額する

・全国大会積立20万円、名簿発行積立費10万円別途あり

令和3年度 神戸大学体育会水泳部 決算報告書

(R3.4/1~R4.3/31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	実績額	備考
前年度繰越金		¥2,341,740	¥2,341,740	
現役負担	部費	¥720,000	¥588,000	前期¥6,000*57+¥4,000*3 後期¥6,000*39
	合宿費	¥2,100,000	¥0	コロナウイルス感染予防のため中止
	競泳エントリー選手負担分	¥350,000	¥299,900	コロナウイルスの影響で中止となった試合があったため
	セントラル利用料部員負担分	¥0	¥585,000	¥15,000*39
学校助成金	育友会助成金	¥107,000	¥97,000	
	学生活動支援金	¥195,000	¥270,000	海神会活動支援金¥80,000含む
凌泳会	凌泳会現役援助金	¥1,000,000	¥1,136,000	
雑収入	受け取り利子、行事の部費 振り替え	¥2,000	¥24	
収入合計		¥6,815,740	¥5,317,664	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	実績額	備考
試合出場関係費	日本水泳連盟登録費	¥140,000	¥139,840	
	競泳試合関係費	¥1,100,000	¥720,830	コロナウイルスの影響で中止となった試合があったため
	水球試合関係費	¥300,000	¥122,600	コロナウイルスの影響で中止となった試合があったため
	合宿費	¥2,100,000	¥0	コロナウイルス感染予防のため中止
	プール使用料	¥200,000	¥1,221,785	セントラルスポーツ利用料負担のため
	体育会費	¥50,000	¥38,000	¥1000*38
	通信費	¥4,000	¥3,380	
	燃料費	¥10,000	¥1,818	六甲台灯油代
	交通費	¥5,000	¥58,830	代表選考会新幹線代
	備品購入費	¥100,000	¥77,194	ストップウォッチ代
	消耗品	¥15,000	¥711	
	雑費	¥2,000	¥151,785	追いコンプレゼント代、印刷代、飛行機キャンセル代、新歓出展料
	全国公補助金	¥200,000	¥0	
	次年度繰越金	¥2,589,840	¥2,780,891	
支出合計		¥6,815,740	¥5,317,664	

※凌泳会監事による監査済みの印

令和4年4月9日

凌泳会監事 酒井正人



令和4年度 神戸大学体育会水泳部 予算報告書

(R4.4/1~R5.3/31)

〈収入の部〉

科目	内訳	予算額	対前年実績	備考
前年度繰越金		¥2,780,891	¥439,151	
現役負担	部費	¥498,000	¥-90,000	前期 ¥6,000*50 後期 ¥6,000*33
	合宿費	¥1,980,000	¥1,980,000	¥60,000*33
	競泳エントリー選手負担分	¥300,000	¥100	
	セントラル利用料部品負担分	¥495,000	¥-90,000	¥15,000*33
学校助成金	育友会助成金	¥97,000	¥0	
	学生活動支援金	¥270,000	¥0	
凌泳会	凌泳会現役援助金	¥1,000,000	¥-136,000	
雑収入	受け取り利子、行事の部費振り替え等	¥2,000	¥1,976	
収入合計		¥7,422,891	¥2,105,227	

〈支出の部〉

科目	内訳	予算額	対前年実績	備考
試合出場関係費	日本水泳連盟登録費	¥120,000	¥-19,840	
	競泳試合関係費	¥900,000	¥179,170	
	水球試合関係費	¥300,000	¥177,400	
合宿費		¥1,980,000	¥1,980,000	通常通り実施予定
プール使用料		¥1,100,000	¥-121,785	
体育会費		¥33,000	¥-5,000	
通信費		¥4,000	¥620	
燃料費		¥3,000	¥1,182	
交通費		¥5,000	¥-53,830	
備品購入費		¥75,000	¥-2,194	
消耗品		¥10,000	¥9,289	
雑費		¥25,000	¥-126,785	
全国大会援助金		¥50,000	¥50,000	インカレ以上の大会出場援助
次年度繰越金		¥2,817,891	¥37,000	
支出合計		¥7,422,891	¥2,105,227	

※凌泳会監事による監査済みの印

令和4年4月9日

凌泳会監事 酒井正人



第97回 日本学生選手権水泳競技大会(競泳競技) 会計報告

令和3年10月7日～10月10日東京辰巳国際水泳場にて実施、選手1名、マネージャー1名の計2名で参加。

収入	金額	詳細
現役預り	¥0	
チケット販売	¥0	
寄付金	¥208,000	
補助金	¥0	
打ち上げ代	¥0	
合計	¥208,000	

支出	金額	詳細
交通費	¥36,330	
宿泊費	¥12,875	
チケット購入	¥0	
エントリー代	¥6,220	
諸経費	¥0	
現役払い戻し	¥0	
次年度繰越金	¥152,575	
合計	¥208,000	

※凌泳会監事による監査済みの印

令和4年4月9日

凌泳会監事 酒井正人



お願いします！

神戸大学体育会水泳部／凌泳会



お引越したら届け出を！

お引越しをなさる場合は、最寄りの郵便局に転出届を出しましょう。また、インターネットでも届け出ができます。

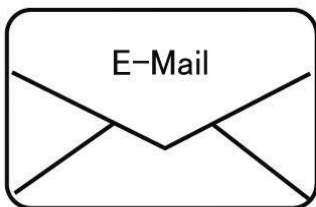
<https://welcometown.post.japanpost.jp/etn/ETN00S10MMC.do>

また、凌泳会では住所を確認するために、年に2回、ハガキで出欠等の返信をお願いしています。転居された場合は必ずハガキに新しい連絡先をご記入の上、ご返送ください。

連絡先調査にご協力を！

現在約70名の連絡先不明会員がいらっしゃいます。また、毎年新たに宛先不明になる会員が発生します。

不明会員本人から連絡がない場合、同期や卒業年が前後の会員にお電話で消息をお聞きする場合がありますので、ご協力ください。



メールアドレスの登録にご協力ください

凌泳会では、インターネットによるコミュニケーションの拡大をすすめています。現在、会員のメールアドレス判明率は40%台。これでは中核となる連絡手段として使えません。

まだメールアドレスをご登録いただけていない方は、是非登録してください。また変更した時ご連絡ください。

kobeswim@gmail.com までご連絡ください。

凌泳会 Facebook のご紹介

神戸大学体育会水泳部(凌泳会)のアカウントでは、試合行事や行事の様子を中心に、様々な情報を掲載しております。また、OB・OGの皆さまからも発信いただけます。ぜひご参加ください。

(<https://www.facebook.com/groups/1668600773460033/>)

凌泳会 LINE オープンチャットのご案内

凌泳会用 LINE オープンチャットを開設しています。

LINEのお名前とは別に、参加するためのニックネームを登録できますので、お名前と卒部年次にて、是非ご参加いただき、交流にご活用ください。



凌泳メーリングリストの転記も行っており、現役活動記録もノートにてご覧いただけます。

水泳部 SNS のご紹介

水泳部では現在競泳面と水球面それぞれ Twitter、Instagram のアカウントがあり、練習日記や部員の様子などを掲載しています。現役の様子をのぞくことができますので、ぜひご覧ください。

・競泳面

Twitter @kobeswim



Instagram @kobeswim_kyoei



KOBESWIM_KYOEI

・水球面

Twitter @kobe_waterpolo



Instagram @kobewaterpolo



KOBEWATERPOLO



凌泳会

100周年記念

～第8回全国大会～

1. 日 時: 令和5年9月17日(日)13時～
2. 会 場: 六甲台「出光講堂」、「さくら」
3. 参加費: お一人10,000円(同伴者6,000円)
※上記参加費にはTシャツ代、懇親会代が含まれています。
4. 次 第: 次の通り
 - 第1部 記念式典(13時)
 - ・凌泳会 100年を振り返って
 - ・凌泳会 HP リニューアル、凌泳マスターズ・河童天国の統合お披露目
 - ・パネルディスカッション 他
 - 第2部 懇親会(15時30分～)
5. 記念品:
 - 記念パンフレット(20ページ程度)
 - 記念Tシャツ(当日参加頂けない会員も購入いただけます)
 - ・色: 生地は黒、文字イラストはオレンジ
 - ・意匠: 胸位置に神戸大学の学章、背面は右写真の通り
 - ・サイズ: LL、L、M
 - ・価格: 1着5,000円、2着目からは3,000円
6. 問合せ先: 上田 剛弘(昭56年卒、幹事長)
e-mail: takechan4608@gmail.com、tel: 090-6666-8430

編集後記

鵜澤 茜里・3回生/水球

凌泳誌作成という、重要な仕事を任せていただきましたが、改めて私たちが、いかに普段からOB、OGの皆様に支えられているかに気付かされた機会にもなりました。

拙い部分もあるかもしれませんが楽しんで読んでいただければと思います。

細見 隼斗・3回生/競泳

凌泳誌の作成を担当することができて光栄に思います。少ない人数で完成させられたのは、先輩やOB・OGの皆様の支えがあったからです。いつも水泳部の活動を支えていただきありがとうございます。皆様にも少しでも楽しんでいただけたら幸いです。

令和5年5月19日発行

発行所 神戸市灘区六甲台町2

凌泳会

原稿等送付先 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学体育会水泳部 宛

会費等振込先 郵便振替 口座番号 01110-5-11841

加入者名 神戸大学凌泳会

銀行振込 三井住友銀行 三宮支店(店番 410)

普通預金 口座番号 952461

口座名 神戸大学凌泳会

編集責任者 鵜澤茜里・牛尾帆花・近藤真史・細見隼斗

発行責任者 鵜澤茜里・牛尾帆花・近藤真史・細見隼斗

印刷所 〒577-0052 大阪府東大阪市新喜多2丁目2番6号

有限会社 アイエム出版社

TEL:(06)4308-6113

